

2018年度
日本語教育実習（国外）
報告書

愛知県立大学日本語教員課程

本報告書刊行によせて

2018 年度の本学日本語教員課程の「日本語教育実習(国外)」は、学術交流協定大学であるロシアのシベリア連邦大学で実施しました。

英語もあまり通じない、そして日本語を話せる人はほとんどいない、キリル文字に囲まれたロシアでの生活は、ことばがまったく通じない場所で生活しなければならない日本語学習者が体験するコミュニケーションの困難さを、身をもって理解する貴重な機会になったと思います。

今回、多くの学びに繋がる本実習を実施できたのは、シベリア連邦大学日本センターのスタッフの皆様、英語・日本語学科の先生方、学生のみなさん、ほかにも多くの方々のお力添えのおかげです。

また、国際関係学科の半谷史郎先生が、昨年度にひきつづき、さまざまなご助言をしてくださったおかげで、今年も安心して実習をスタートすることができました。ご協力くださったすべての皆様に感謝申し上げます。

外国語学部国際関係学科 教授 宮谷 敦美

本実習は、2018 年度日本語教育実習経費により、実施されたものです。

2018 年度 日本語教育実習(国外)報告書

目 次

本書刊行によせて	宮谷敦美 i
1. 実習の概要		
ロシア・シベリア連邦大学での日本語教育実習	宮谷敦美 2
2. 会話活動		
全員初めての教室活動	牧 茜里 8
初めての会話教室活動－教案作成から実施まで－	北川 華 16
教室活動での学びについて	加藤知宏 32
冬休みの過ごし方	渡部汐里 39
「会話」を楽しむことができた、2回目の教室活動	森早貴子 51
3年生1回目の教室活動	渡部汐里 58
悔いの残った、初めての教室活動	森早貴子 71
学習者とのコミュニケーションを深める	北川 華 80
有意義な教室活動とは	牧 茜里 90
書物・ネットより現地の情報が有意義	加藤知宏 98
3. 日本文化紹介		
書道うちわ	森早貴子・加藤知宏 106
切り絵うちわ	渡部汐里 109
マンガ・アニメ系うちわ	北川 華 111
応援うちわ	牧 茜里 114
4. プロジェクトワーク		
プロジェクトワークの楽しさ	加藤知宏 118
クラスノヤルスクの2つのシンボル	森早貴子 119
「インスタ映え」を探して	渡部汐里 121
クラスノヤルスクの雑貨店巡り	北川 華 122
クラスノヤルスク住民のおすすめ飲食店	牧 茜里 124
プロジェクトワークの成果物	 125

5. それぞれの学び

何もかもが初めてだった国外実習を終えて	北川 華	128
国外実習を終えて思うこと	渡部汐里	130
参加してよかったですと思えた国外実習	森早貴子	132
自己覚知	加藤知宏	134
少し成長しました。～考える力と生活力 UP～	牧 茜里	136

6. 帰国報告会

帰国報告会アンケート結果	140
--------------	-----

1. 実習の概要



ロシア・シベリア連邦大学での日本語教育実習

宮谷 敦美

2018年度の「日本語教育実習（国外）」は、愛知県立大学の海外学術交流協定大学であるロシア、シベリア連邦大学で9月10日（月曜日）から21日（金曜日）に実施された。シベリア連邦大学での実習は、2017年度にひきつづき、2回目の実施である。

この実習は、日本語教育実習（国内）を履修済み、または並行履修している学生が参加できる。本年度は、5名の学生が参加した。実習の事前準備講座は、5月上旬から9月にかけて月2回程度、ゼミ形式で行い、授業時間外には、インターネット・ポートフォリオシステムを活用し議論を深めていった。

実習生が取り組んだ活動は、①トピック会話、②日本文化紹介、③ロシア人学生とのプロジェクトワークである。①②は、実習生が教室活動を設計し実施するものであるが、③のプロジェクトワークは、シベリア連邦大学の学生と共に学ぶ形式をとった。アクティブラーニングやPBL型学習が教育現場で取り入れられるようになってきているが、実際に学習経験をしたことがない活動を設計することは大変難しい。そこで、留学生との共修であるプロジェクト型学習を本実習で体験することで、プロジェクトワークの運営方法について考えることにした。

1. 実習プログラム

月日	時間	内容
9月9日（日）	6:30 8:40 13:45 17:10 18:35	成田空港 集合 成田発（S7航空） ノボシビルスク到着 教案の確認と日本文化紹介シミュレーション ノボシビルスク出発 クラスノヤルスク到着、寮へ移動
9月10日（月）	9:00 14:00	寮の手続き 日本センターで顔合わせ キャンパスツアー、キャッシングなど
9月11日（火）	8:30～9:20 9:40～11:30 14:15～14:50 16:00～17:30 18:00～19:30 20:00～20:30	観察記録のつけかた説明 2年生①、2年生②シミュレーション @寮 プロジェクトワークのシミュレーション @寮 プロジェクトワーク① 日本文化紹介① プロジェクト振りかえり
9月12日（水）	12:00～13:35 15:00～16:00 16:20～17:20	2年生① 担当：牧、記録：森 2年生①振りかえり @寮 3年生①シミュレーション @寮

9月13日(木)	8:30~10:05 10:15~11:10 12:00~13:35 15:20~16:20 16:30~17:30	3年生① 担当:渡部、記録:北川 3年生①ふりかえり @日本センター 2年生② 担当:北川、記録:加藤 2年生②ふりかえり @寮 3年生②シミュレーション
9月14日(金)	10:15~11:50 13:45~14:45 16:00~18:00	3年生② ふりかえり @寮 3年生② 担当:森、記録:渡部 人形劇場見学と人形制作ワークショップ
9月15日(土)	8:30~9:50 11:00~ 午後から	2年生③、3年生③シミュレーション @寮 中央市場見学 ホームステイ
9月16日(日)	夕方まで 18:00~20:00	ホームステイ コンサート鑑賞@オペラ イ バレタ
9月17日(月)	8:30~10:05 10:15~11:50 13:00~15:00 16:00~17:00	2年生③ 担当:加藤、記録:牧 3年生③ 担当:北川、記録:森 2年生③、3年生③ふりかえり 2年生④シミュレーション @寮
9月18日(火)	終日	自由行動
9月19日(水)	12:00~13:35 14:00~15:00 15:30~17:30 17:30~17:50 18:00~19:30	2年生④ 担当:渡部、記録:北川 2年生④ふりかえり @日本センター 2年生⑤、3年生④シミュレーション @日本センター プロジェクトワーク②直前確認 プロジェクトワーク②
9月20日(木)	8:30~10:05 10:20~11:20 12:00~13:35 14:00~15:00 15:15~16:15 18:00~19:30	3年生④ 担当:牧、記録:加藤 3年生④ふりかえり 2年生⑤ 担当:森、記録:渡部 2年生⑤ふりかえり @日本センター 3年生⑤シミュレーション プロジェクトワーク③
9月21日(金)	10:15~11:50 12:00~13:00 17:00~18:30 18:30~19:30	3年生⑤ 担当:加藤、記録:牧 3年生⑤ふりかえり @日本センター 日本文化紹介② @日本センター さようなら交流会 プロジェクト成果発表 @日本センター
9月22日(土)	~15:00 19:15 20:45 23:00 7:35	市内観光 クラスノヤルスク発 ノボシビルスク着 ノボシビルスク発 成田着、解散

2. シベリア連邦大学英語・日本語学科2、3年生を対象としたトピック会話授業

実習生は、2年生（初中級）と3年生（中級）を対象としたトピック会話の授業を1回ずつ担当した。1名が教室活動全体の記録を取り、他の3名は、学習者の会話のパートナーとして補助に入った。教案準備では、まず自分で決めた授業のトピックについて、学習者と話したいことをリストアップし、実際にロシア人の学習者に対する質問事項と、自分自身の説明をどのようにおこなうか、文型や表現を考慮に入れつつ考えた。その後レベルにあわせてミニトピックを絞りこみ、導入方法や具体的なタスクと教材の作成を行った。

[会話授業のトピック一覧]

回	2年生（初中級）	3年生（中級）
1	トピック「食事」 ①昨日の食事 ②家庭料理、 ③食事マナー	トピック「冬の過ごし方」 ①冬の困りごと ②防寒対策 ③風邪の予防と治療法
2	トピック「私の気に入り」 ①お菓子 ②学食	トピック「習いごと」 ①子どもの頃にやっていた習いごと ②人気の習いごととイメージ ③将来子どもにやらせたい習いごと
3	トピック「誕生日（名の日の祝い）」 ①誕生日パーティー ②誕生日プレゼント選択 ③名の日の祝い	トピック「私の気に入り」 ①買い物をする際に重視すること ②重視する点に合致する品物やお店
4	トピック「冬の過ごし方」 ①この前の冬にしたこと ②次の冬にすること・したいこと ③冬の楽しみ	トピック「食事」 ①日本の飲食店の種類 ②クラスノヤルスクのおすすめ飲食店
5	トピック「習いごと」 ①子どもの頃の習いごと ②人気の習いごととイメージ	トピック「年末年始」 ①クリスマス ②年末 ③新年

3. シベリア連邦大学日本センターにおける日本文化紹介活動

今年の日本文化紹介活動のテーマは「うちわ」にし、2回実施した。「うちわ」に関する概要説明は東弘子教員が担当し、実習生は、学習者とさまざまなうちわを作成するワークショップを企画・担当した。学生が企画したワークショップは、「書道を取り入れたうちわ作成」「切り絵うちわ作成」「マンガ・アニメを取り入れたうちわ作成」「応援うちわ作成」である。日本文化紹介活動では、①「文化」をステレオタイプで扱わないこと、②手をうごかしながら、話し合い、参加者個々の経験を引き出しながら

ら、新しい「ものの見方」を得られるような「相互交流型」活動を設計することを目指した。

4. シベリア連邦大学学生とのプロジェクトワーク

今回取り組んだのは、シベリア連邦大学に留学する日本人学生のための「クラスノヤルスク紹介リーフレット作成」プロジェクトである。日本語教育実習生 5 名と、シベリア連邦大学の学生 3、4 年生 7 名が参加した。実習生とロシア人学生が 2~3 人で 1 つのテーマ（自然、食事、買い物など）について、取材を行い、観光案内を作成した。

5. 参加学生

外国語学部ヨーロッパ学科ドイツ語圏専攻	4年	牧 茜里
外国語学部国際関係学科	4年	北川 華
外国語学部国際関係学科	4年	森 早貴子
外国語学部国際関係学科	4年	渡部 汐里
教育福祉学部社会福祉学科	4年	加藤 知宏

2. 会話活動



全員初めての教室活動

牧 茜里

1. 実施内容

私は進行役として、2年生の教室活動(第1回)を2018年9月12日(水)12:00~13:35に実施した。今回参加してくれた学習者は6人で、学習者2人とサポーター1人のグループを3つ作った。メイントピックは「食事」に設定し、①昨日の食事②家庭料理③食事マナーのサブトピックで教室活動を行った。

メイントピックを「食事」に設定した一番の理由は、食事は身近で話しやすいトピックだと考えたからだ。ほとんどの人が毎日食事をしていて、平等に個々の情報がある点に魅力を感じた。サブトピックは、ガイドブックでは分からないリアルなロシアの家庭料理事情に興味があったことから「家庭料理」を、学習者が日本に来たときに役立つことを紹介したいという考えから「食事マナー」を、そしてこれら「食事」に関するトピックについて話すために導入として身近な「昨日の食事」のサブトピックを、それぞれ設定した。

今回の教室活動におけるコミュニケーション目標は「日本とロシアの家庭料理を知る」「日本の食事マナーを知り日本センターに寄付するマナーブックを作成する」で、これをベースに学習項目を設定した。

2. 教室活動案の作成

今回の教室活動に向けて、何度も教室活動案を修正した。まず一番初めに作成した教室活動案では、①昨日の3食についてよく話しそうな学習者を2人指名して全体に発表してもらう、②日本の献立(1汁3菜)を紹介してから、ロシアの家庭料理における献立の基本をペアで考えてもらい、その後ロシアの家庭料理で理想の献立を同じペアで作成する、③日本の食事マナーについて話すペアと、ロシアの食事マナーについて話すペアを各2ペア決めた。そして、日本の食事マナーについては、日本のダメな食事マナーの絵カードを配りその意味をペアで予想し、2つのペアで考えたことをシェアした上で、グループ内でおもしろいものを5つピックアップする。ロシアの食事マナーについては、「してはいけないこと」「しなくてはならないこと」をペアで出し合った後、2つのペアで考えたことをシェアし、おもしろいもの5つピックアップした。その後、全体シェアするという活動を設計していた。しかし、この教案では問題だらけであった。

まず①の問題点は、よく話す学習者に発話機会が偏っているという点と個人が全体で発表するプレッシャーを学習者に与えている点である。また学習者全員が3食食べているとは限らないことや3食について話すと時間がかかってしまうことを考慮し、最終版ではペアで昨日の1食について話し合うというワークに変更した。次に②の問題点は、理想とされる献立が現実の家庭料理とは異なり、各家庭で差があるという点である。そのため最終版では献立という枠組みを取り外し、好きな家庭料理を日本人とロシア人で紹介し合うというワークに変更した。こ

ちらも学習者が気軽に発話しやすいようにペアワーク→全体シェアという流れにした。また学習者間のインフォメーションギャップを作るため、各グループの日本人に好きな家庭料理を聞く→グループを再編成し新しいグループで自分が聞いた日本の家庭料理を他の学習者に紹介し合うというワークにした。最後に③の問題点は、日本の食事マナーチームとロシアの食事マナーチームで活動時間に差が生じてしまうこと、ロシアの食事マナーチームの新しい学びが少ないことであった。また、日本の食事マナーチームの「絵カードのマナーの意味を予測する」というのは、日本人でも難しいワークであった。そのため最終版では、日本の食事マナーについて全ペアに絵カードを配布し、「してはいけないこと」か「しなくてはならないこと」を予想した後に全体でシェアするというワークに変更した。また、このワークをする意味を持たせるために日本センターに寄付する「日本の食事マナーブック」を作成するという目的をたてた。

3. 教室活動の実施

実際の教室活動では、学習者の人数や学習者からの質問、各ワークの活動時間など活動案通りにはいかないことだらけであった。気をつけて実施できたことは、時間の管理である。また、学習者からの質問にも慌てず応えられるよう努めた。実際に活動を行ってみて大変だったことは、進行役とサポーターの両立である。進行役には、全体への指示やプリントの配布などのタスクがある。今回進行役としてこれらのタスクを実施している間に、自分がサポーターを務めるグループの学習者を待たせることになってしまった。また、ペア(グループ)ワークでは各グループで盛り上がりや活動時間が予想よりも大きく異なっていて、他のペアに気をつかいながら自分のペアとの発話を進めるというのは、まだ教室活動に慣れていない私には無理があつたと感じた。そして、一番大きなミスは 1 種類のプリントを忘れてしまったことである。結局他のプリントで対応できたが、このプリントを探している間も学習者を待たせてしまい、自分自身も焦りはじめてしまった。準備の大切さを痛感した。

4. ふりかえりで学んだこと

ふりかえりでは、自分自身では気づけなかった改善点をたくさん知ることができた。また今回の国外実習で最初の教室活動だったこともあり、進行役・サポーターとしてのふるまいについて新しく学ぶことが多かった。まず、進行役としての改善点としては大きく 2 つあった。1 つ目は、言動のくせである。自分自身の話し方が早口であったことや、指示が一方的で学習者とのインタラクションがなかったこと、沈黙時に焦って自分ばかりがたたみかけるように話してしまっていたことにふりかえりで気がついた。また私は学習者の頷きやあいづちを鵜呑みにしてしまっていたが、学習者に説明をした際、本当に分かったかの確認作業が必要であることを知った。そして 2 つ目は、準備をおこたらないことである。前述したプリントの用意もそうだが、提示する紙をあらかじめスムーズに貼れる状態にしておいたり、自分や学習者の動きを予測して席の配置をしたり、事前にできることは全てやっておくという心得を学んだ。サポーターとしての改善点は、発話の際にはまず自分から話すということ、グループワークでは雑談をするのではなく常に学習者の学習を考えることであった。このふりかえりでのフィードバックは、その後の国外実習で活かすことができたと思う。

【資料】教室活動案

教室活動案(2年生・第1回) 赤字は実際に行った際の変更点

担当者	牧茜里
トピック	メイン:食事 サブ :①昨日の食事 ②家庭料理 ③食事マナー
学習項目	「私は～が好きです」「～と～」「～してはいけません」 「～しなくてはならない」
コミュニケーション目標	日本とロシアの家庭料理を知る／日本の食事マナーを知り 日本センターに寄付するマナーブックを作成する
教具・教材	ワークシート(①ウォーミングアップ 1枚、②家庭料理インタビュー用 1枚…左上に 1~4 の番号入り日本用／ロシア用③日本の食事マナーを表すイラスト 5 つ×4 種類 1 枚)／語彙プリント(調理法の語彙プリント 1 枚 + 食材の語彙プリント 1 枚)／北川さんの味覚語彙シート 4 枚／A3 用紙／マーカー

ウォーミングアップ(昨日の食事)

活動時間	活動目標	活動内容	必要な教材・注意すべき点
0	・日本人の目標 …学習者の身近な食事について知る／学習者の目標…他の学習者の食事について知る ・4 課「(人)は(時間)に V ます。」	ファ「こんにちは。私は愛知県立大学の牧茜里です。今日は日本とロシアの食事について話しましょう。」 ファ「私は、昨日の夜 7 時に○○と△△を食べました。寮で食べました。(人)さんと食べました。みなさんは、昨日の夜に何を食べましたか。グループで話しましょう。」	実際は 3 人グループ×2、4 人グループ×1(各グループ日本人 1 人含む) A3 用紙提示(あらかじめワークシートと同じ表 & 自分の答えを記入したものを用意)
5	・6 課「(人)は何を V ますか。」「(人)は(場所)で V ます。」「それから」	→ワークシート①配布 →5 人グループ×3、4 人グループ×1 の合計 4 グループ作る ◎各グループ内の発話例 サ「私は、昨日の夜 7 時に○○と△△を食べました。寮で食べました。(人)さんと食べました。学習者 A さんは、昨日	※5 人(学習者 4 人+サポート 1 人)1 グループはサポートが 1 人、合計 4 人。

		<p>の夜に何を食べましたか。」</p> <p>学習者 A「私は、昨日の夜 8 時にボルシチを食べました。家で食べました。家族と食べました。」</p> <p>サ「お母さんのボルシチ、いいですね。それから、他に何か食べましたか。」</p> <p>学習者 A「サラダを食べました。」</p> <p>サ「サラダですね。これで全部ですか。」</p> <p>学習者 A「はい。」</p> <p>サ「では学習者 A さん、学習者 B さんに昨日の夜に何を食べたか、聞いてみてください。」</p> <p>学習者 A「学習者 B さんは、昨日の夜に何を食べましたか。」</p> <p>同じく学習者 B が学習者 C に、学習者 C が学習者 D に昨日の夜何を食べたか聞くようサポート者が指示していく。</p> <p>☆ファシリテーター前方に戻る</p> <p>ファ「みなさん、昨日の夜何を食べたか分かりましたか。では、みなさんの中で一番料理の数が多い人は誰ですか。1 人教えてください。まず、このグループで一番料理の数が多いのは誰ですか。」</p> <p>…手を挙げるジェスチャー → グループ内 1 人が挙手</p> <p>ファ「いくつですか。」</p> <p>学習者 C「4 つです。」</p> <p>ファ「4 つですか。では次この</p>
20		
25		

		グループ。一番料理の数が多いのは誰ですか。」…同上	
--	--	---------------------------	--

家庭料理

活動時間	活動目標	活動内容	必要な教材・注意すべき点
25	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の家庭料理とロシアの家庭料理を知る。 ・23 課「～とき、～」 ・12 課「～の中で～がいちばん(形容詞)です」 ・「私は～が好きです」 	<p>ファ「私は家でお母さんのごはんを食べるとき、3つ食べることが多いです。私はお母さんの料理の中で、肉じゃががいちばん好きです。肉じゃがを食べるとき、ごはんと味噌汁も一緒に食べます。」ではここからは、家族の料理について話しましょう。まずは同じグループの日本人にインタビューしてみましょう。」</p> <p>→ワークシート②配布 語彙プリント 配布 現在作られているグループのまま各サポーターにインタビュー</p> <p>◎各グループ内の発話例 渡部さん「みなさん紙の質問を使って、私にインタビューしてください。」 学習者 A「(サポーター)さん、家族の料理の中で何がいちばん好きですか。」 渡部さん「コロッケです。」 …コロッケの写真を4人に配る 学習者 B「コロッケはどんな味ですか。」 渡部さん「しょっぱいです。」 学習者 C「コロッケには何が入っていますか。」 渡部さん「じゃがいもと牛肉とパン粉が入っています。」 学習者 D「コロッケの調理法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・肉じゃがの写真をA3用紙に貼ったものを提示
30			<ul style="list-style-type: none"> ・肉じゃが(牧) コロッケ(渡部さん) 餃子(北川さん) ラザニア(加藤さん) の写真×5枚 (学習者配布用4枚+サポーター用1枚)

45		<p>はなんですか。」 渡部さん「じゃがいもと牛肉とパン粉を揚げます。」 学習者 A「コロッケはどんな時に食べますか。」 渡部さん「コロッケは、特別ではないときに食べます。」 学習者 B「コロッケを食べるとき、ほかに何を食べますか。」 渡部さん「ごはんとサラダを食べます。」 ☆ファシリテーター前方に戻る フア「では、グループを変えます。新しいグループで、インタビューした料理を紹介しましょう。ここ(プリントの左上を指しながら)が 1 の人はここに集まってください。2 の人はここに集まってください。3 の人はここに集まってください。4 の人はここに集まってください。」 フア「1 番の人から、料理紹介してください。」 学習者 1「渡部さんの好きな料理はコロッケです。(渡部さんから配布されたコロッケの写真を見せながら)コロッケには、じゃがいもと牛肉とパン粉が入っています。じゃがいもと牛肉とパン粉を揚げます。コロッケは、とくべつではないとき食べます。渡部さんは、コロッケと一緒に、ごはんとサラダを食べます。」 学習者 4まで紹介終える フア「では、誰の家の料理を一番食べたいですか。グループで 1 人決めてください。」</p>	グループ 1~4 が完成
55			
60			

		<p>→3分で決める。</p> <p>ファ「このグループは誰の家の料理を一番食べたいですか。」</p> <p>...全グループに聞く</p> <p>「では、日本に来たら(人気だった料理を紹介した人)さんの家にみんなでいきましょう。私も、ロシアの料理が食べたいです。今度は、みなさんの家族の料理を教えてください。」</p> <p>ワークシート②ロシア用配布</p> <p>ファ「ここに皆さん的好きな料理を書いてください。」</p> <p>ファ「では、このようにグループで発表してください。」</p> <p>◎各グループ内の発話例</p> <p>学習者「私は、ボルシチが好きです。お母さんが作ります。ボルシチは特別ではないときに食べます。」</p> <p>2人指名して聞く。</p>	
65	70		<p>A3に書いたもの提示</p> <p>「好きな料理(私は～がいちばん好きです)作る人(～は(家族の名前)が作ります。)どんなときに食べる?(～は特別なときにたべます)」</p>

食事マナー

活動時間	活動目標	活動内容	必要な教材・注意すべき点
75	<ul style="list-style-type: none"> ・「：～してはいけません」「～しなくてはならない」 ・日本の食事マナーを知る(...完成した本を日本センターに置きたい。) 	<p>ファ「私は、肉じゃがを食べるとき、箸を使います。箸を使うとき、箸をなめてはいけません。それから、ごはんを食べるとき、さらをもたなくてはなりません。ここからは、日本の食事マナーについて話します。」</p> <p>ワークシート③配布</p> <p>ファ「紙に書いてある絵が、しなくてはならないものとしてはいけないもの、どちらかペアで話し合ってください。」</p> <p>◎各ペアの会話例</p>	<p>A3に「はしをなめる」のイラスト(×つき)と「さらをもつ」(○つき)を半分ずつ貼る</p> <p>AとBの2種類</p> <p>…2グループ1種類</p>
80			

85	<p>学習者 1「ひじをついてはいけません。」学習者 2「箸で食べ物を刺してはいけません。」学習者 1「皿と箸と一緒に持ってはいけません。」学習者 2「箸を噛んではいけません。」</p> <p>ファ「では、サポートーとグループで答え合わせをしましょう。」</p> <p>◎各グループの発話例</p> <p>サ「ひじをついてはいけません。箸で食べ物を刺してはいけません。皿と箸と一緒に持ってはいけません。箸を噛んではいけません。」</p> <p>1人 1枚イラスト配布</p> <p>「今、勉強したことを他のロシア人にも伝えたいです。本にするので、ペアで、絵の説明を日本語とロシア語で書いてください。」</p>	<p>A4 にイラスト印刷 ×8枚</p> <p>見本として「はしをなめてはいけない&ロシア語」を見せる</p>
90		

初めての会話教室活動—教案作成から実施まで—

北川 華

1. 教室活動の概要

教室活動は、2018年9月13日(水)12時から13時35分の間に実施した。対象学習者は2年生4名であった。「私のお気に入り」をメイントピックとして、「お菓子」および「学食」をサブトピックとして取り上げ、会話活動を開催した。

これらを今回の教室活動のトピックとして取り上げた理由は2点ある。1点目は、学習者にとって身近な存在であると思われる「お菓子」や「学食」について取り上げることで、テーマ理解にかかる負担を減らすことができ、学習者が話しやすくなるのではないかと考えたからである。2点目は、お気に入りのお菓子や学食について話すため、学習者個人のことを聞き出すトピックとして適切であると考えたからである。

今回の教室活動では、「ロシア(シベリア連邦大学)あるいは日本(愛知県立大学)での生活を充実させるためにおすすめの食べ物についての情報を共有する」ことを学習者とのコミュニケーション目標として設定し、教室活動案を作成した。

2. 教室活動案の作成について

今回の教室活動案の作成において最も工夫をしたことは、学習者に日本のお菓子を食べてもらい、ランキングを作る活動を取り入れたことである。担当の教室活動が序盤の回であったことや学習者の日本語能力レベルを考慮し、彼らのモチベーションを高めるきっかけとなるような活動作りを意識して教室活動案を作成した。

サブトピックを扱う前のウォーミングアップとして、「バックの中身(持ち物)」をトピックにペアワークを取り入れた。後のサブトピックでグループワークを行うことによる移動の手間を省くため、ペアではなくグループの形態で人数構成を考えるよう工夫した。しかし、このトピックは次のサブトピックである「お菓子」とは関連性が低く、サブトピックへの自然な導入を考えることが難しかった。サブトピック「お菓子」では、実習生お気に入りの日本のお菓子を紹介した後、学習者お気に入りのロシアのお菓子を教えてもらうという構成でそれぞれの活動を考えた。同様に、サブトピック「学食」においても、「日本→ロシア」の流れを意識した内容構成とした。こうすることで、学習者と実習生がお互いに新しい情報を得られることを期待した。

教室活動案の作成を通して学んだことは、ペアワークやグループワークといった活動の中に学習者の「インフォメーションギャップ」を取り入れることの重要さである。活動するからには、学習者が新しい情報を得られるようなことを行う必要がある。このインフォメーションギャップをいかに活動の中に取り入れるかということが、教室活動案を作成する際の大きな課題となつた。また、活動を考える上では、進行役の言動をどうするかということも大切ではあるが、活動中のサポートーの役割についてより具体的に考えておく必要があることも学んだ。

3. 教室活動を終えて

自身の教室活動では、他の実習生のふりかえりから学んだことを意識し、いくつか実践を試みることができた。例えば、学習者に配布するワークシートなどの教材は事前にグループごとにまとめ、それぞれのサポートナーに渡しておいた。そうすることで、逐一進行役が配布するよりもスムーズに進めることができた。また、話し方は一文を短く、ゆっくりと話すことを意識したり、活動の時間配分を指示したりすることを心がけた。

しかし、反省すべき部分もいくつかあった。活動を進行するにあたって、自信のなさから教室活動案に書いた発言部分を台本のように忠実に話そうとしてしまった。そのため、活動案を見ながらの発話になり、途切れ途切れの話し方になった。学習者にとっては、大変理解しづらい話し方である。また、ホワイトボードに文型を書いた紙を貼る際にも、学習者に対して十分に配慮することができなかった。文型が書いてある面を谷折りにして持ち運んでしまったため、広げて貼った際に裏面の白紙部分が学習者に見える状態になってしまった。持ち運ぶ際の紙の折り方という、全く意識をしていなかった些細なことであっても、学習者の学びを妨げる要因になり得るのだと痛感した。

4. 教室活動実施後のふりかえりから学んだこと

教室活動後のふりかえりの中で特に 2 つのことが印象に残った。1 つ目は、「全体シェアを行う意味」である。私は、全体シェアの活動において学習者が発表をする際に、しゃがんで彼らの話を聞いていた。学習者を圧迫しないようにという意図で行ったことだが、全体シェアの際にはふさわしくない行為であるということをご指摘いただいた。進行役である私がしゃがんでしまったことで、教室の全体ではなく私に向かって話すようにする雰囲気を作ってしまった。全体に向かって話すことは、聞き手である他の学習者にとって、新しい情報や語彙、表現のインプットに繋がる。全体シェアの活動はそのような機会を増やすものである必要がある。各トピックのまとめとして、全体シェアの活動を組み込んでいたが、全体シェアというものはそれほど単純な活動ではないのだと実感した。

2 つ目は、「丁寧な表現が分かりやすい表現ではない」ということである。私は学習者に向かってきつい言い方をしないようにと意識したあまり、複雑な表現を使ってしまっていたということに気づいた。「～してあげてください」、「～してほしいです」のような配慮を含んだ言い方というのは、日本語母語話者である実習生にとっては丁寧に感じる表現であっても、学習者にとっては複雑で分かりづらい表現になることを学んだ。

5. 全体を通して

今回の教室活動が進行役として初めて実施した活動であった。日本のお菓子を食べてもらうという活動もあってか、リラックスした雰囲気の中で活動をすることができた。教室活動案の中で最も工夫した点でもあったので、学習者が興味深そうに食べる様子を見て嬉しく感じた。学習者の人数が 4 名と少ない人数だったので、ロシアのお菓子や学食についての情報は限られたものになるが、設定したコミュニケーション目標は達成できたのではないかと思う。また、ふりかえりの際は、客観的に見た進行役としての自分の言動を知ることができ、新

しい発見が多くあった。

【資料】教室活動案

教室活動案(2年生・第2回) 赤字は実際に行った際の変更点

担当者	北川 華
参加者	学習者 15名(実際の活動では4名) サポーター3名
トピック	私のお気に入り サブトピック1:お菓子 サブトピック2:学食 サブトピック3:大学周辺の飲食店
学習者とのコミュニケーション目標	シベリア連邦大学および愛知県立大学での生活を充実にさせるために、おすすめの食べ物についての情報を共有する。
学習目標	・自分のお気に入りの食べ物や飲食店について、特徴を説明することができる。 ・相手に何かを紹介するときの表現を使うことができるようになる。
教具・教材	・ネームホルダー×15個 ・ワークシート①②×15枚ずつ ・味・食感に関する語彙のプリント×15枚 ・日本のお菓子の写真(5種)(掲示用)×1枚ずつ ・日本のお菓子の写真(5種)(グループワーク用)×4枚ずつ ・A3用紙(グループワーク用) ・A3用紙(文型提示用) ・ペン×4セット ・ステイックのり×4本 ・付箋(正方形)×4ブロック ・おすすめポスター見本×4枚 ・ロシアのお菓子売り場の写真(掲示用)※現地で準備 ・ロシアのお菓子(実物)(掲示用)×1個※現地で準備 ・マスキングテープ×1個 ・県大の食堂の写真(掲示用)×6種 ・県大学食メニューカード×12種 ・材料の語彙プリント×15枚 ・担々麺の材料イラスト(提示用)×1枚 ・シベリア連邦大学の学食の写真(掲示用)※現地で準備 ・大学周辺の飲食店の写真(掲示用)※現地で準備

ウォーミングアップ：カバンの中身(持ち物)12分

活動の分類	活動の目標	教具の使い方・活動内容	教具・教材 注意すべき点
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回目の授業なので、学習者やサポートの緊張をほぐす。 ・自分の持ち物のなかでお気に入りのものを紹介する。 →身近なものについて話すことで話しやすい雰囲気を作る。 ・今回のテーマである「お気に入り」を理解してもらう。 	<p><学習者4人(1グループは3人): サポーター1人のグループを作つておく(計4グループ)></p> <p>→実際の活動では、学習者が4名であったため、学習者1人(1グループは2人): サポーター1人のペア(計3グループ)となった。</p> <p>進行役: 「4人で1つのグループになってください。サポーターの人は、それぞれのグループに1人ずつ入ってください。グループで自己紹介をしてください。」</p> <p>・サポーターから簡単に自己紹介(名前)をする。</p> <p>・ネームホルダーを作成する。</p> <p>→2回目の活動であったため、不要だった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者グループ分けは、実習生がその場で行う。 ・進行役は3人のグループにサポーターとして参加する。 ・ウォーミングアップはペアで行うが、サブトピックでグループワークを行うためあらかじめグループの形態にした。 <p>【ネームホルダー×15個】</p>
00 自己紹介導入 文型提示 (5分)		<p>進: 「皆さん、はじめまして。こんには。私は、愛知県立大学の北川華です。よろしくお願ひします。私は、ロシアに初めてきました。なので、ロシアのことをたくさん知りたいです。ロシアの食べ物をたくさん食べたいです。今日は、ロシアでおすすめ(recommendation)の食べ物について教えてください。まずは、皆さんのことを教えてください。では、プリントを配りますね。」</p> <p>・「ワークシート①」を配布する。</p> <p>→事前にグループごとに配布物を分けておいたので、サポーターに「①のプリントを配つてください」という指示をした。</p>	<p>【ワークシート①×15枚】</p> <p>・カバンの中に入つていそうなも</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・「私のバッグには、～が入っています。」 ・「私のお気に入りは、～です。」 ・「～は(い形容詞)～です。」 ・「～は(な形容詞)な～です。」 ・「(これ)は、[修飾節] N です。」 	<p>進：「(自分のカバンを見せる)これは、私のカバンです。私のカバンには、(実物を取り出しながら)筆箱、財布、タオル、携帯電話が入っています。私のお気に入りは、この財布です。(A3用紙を見せながら)去年買いました。日本のお店で買いました。簡単に開けることができます。便利です。」</p> <p>*黒板への貼り方</p> <p>きよねんかつた にほんのおみせでかつた さいふ べんりだな</p> <p>進：「サポーター①さん、私の財布はどんな財布ですか。」</p> <p>サポーター①：「華さんの財布は、去年買った財布です。日本のお店で買った財布です。便利な財布です。」</p> <p>・進行役は、黒板の紙を指しながら再度繰り返す。</p> <p>進：「そうですね。私の財布は、去年買った財布です。日本のお店で買った財布です。簡単に開けることができます。なので、便利な財布です。では、サポーター②さん。お気に入りの持ち物は何ですか。」</p> <p>サポーター②：「私のお気に入りは、この○○です。△△で買った(～にもらった)○○です。□□(な)○○です。」</p> <p>・進行役は先ほどのように、サポーター②の発言に合わせて紙を黒板に貼る。→省略</p> <p>進：「なるほど。素敵な○○ですね。では、皆さんもペアの人にお気に入りの持ち物について話してください。そして、プリントにペアの人のことを書いてください。3分間、時間をとりま</p>	<p>のの絵+単語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な形容詞 ・ペア相手のお気に入りについての情報を書くスペース <p>【A3用紙(文型提示用)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「きよねん かつた」 ・「にほんの おみせで かつた」 ・「べんりだな」 ・「さいふ」 <p>【マスキングテープ×1個】</p> <p>【A3用紙(文型提示用)】→省略</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポーター②の発言内容
--	---	---	--

		す。」	
ペアワーク(3分)		・ペアでお互いにお気に入りの持ち物について紹介する。 ・1 グループにペアが 2 組できるので、別のペアの方に自分のペア相手のことを紹介する。	・学習者が 3 人のグループは、2 人が聞き手に回る。
共有(4 分)	・「○○さんのお気に入りは、～です。」	進：「では、皆さん。今度は、ペア相手のお気に入りの持ち物についてもう片方のペアに紹介してください。」 →実際の活動では、全体シェアの形でペア相手のことを紹介した。	・サポートーは、ワークシートに書き込む際に必要に応じてひらがなやカタカナの手助けをする。
12			

サブトピック 1: お菓子 [35 分]

活動の分類	活動の目標	教具の使い方・活動内容	教具・教材 注意すべき点
12 導入 文型提示 (8 分)	・日本のお菓子を紹介し、実際に食べてもらう。	<学習者 4 人(1 グループは 3 人): サポートー 1 人(計 4 グループ)> 進：「皆さんのお気に入りの持ち物を知ることができて、面白かったです。私には、もう一つお気に入りの持ち物があります。(カバンからお菓子が入った巾着袋を取り出す)これは、お菓子が入っている袋です。皆さんは、お菓子が好きですか。今度は、皆さんのお気に入りのお菓子を教えてください。」 ・「味・食感に関する語彙のプリント」を配布する。 →進：「②のプリントを配ってください。」	・サポートー(+記録者)には、事前にお気に入りのお菓子を用意してもらう。 ・巾着袋には、お菓子(5 種)を入れておく。 【味・食感に関する語彙のプリント×15 枚】 【日本のお菓子の写真(5 種)(掲示用)】 →サポートー

	<ul style="list-style-type: none"> ・「～というお菓子です。」 ・実際にお菓子を食べてもらいながら、味の語彙を感覚的に理解する。 	<p>進：「まずは、私たちが日本のお菓子を紹介しますね。私のお気に入りは、(写真を見せながら)『揚一番』というお菓子です。どうぞ食べてください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真は黒板に貼る。 ・巾着袋から「揚一番」を取り出し、配布する。 ・学習者に食べてもらう。 <p>進：「皆さん、味はどうですか。おいしいですか。甘いですか。辛いですか。苦いですか。すっぱいですか。しょっぱいですか。甘辛いですか。硬いですか。やわらかいですか。これは、硬いです、甘辛いです。おいしいです。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポーターにふり、それぞれのお菓子を簡単に紹介してもらう。 <p>進：「では、渡部さんのお気に入りのお菓子は何ですか。」</p> <p>渡部さん：「(写真を見せながら)私のお気に入りのお菓子は、ポテトチップスのり塩味です。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進行役はポテトチップスを配布する。 <p>進：「渡部さん、これはどんな味ですか。」</p> <p>渡部さん：「これは、しょっぱいです。硬いです。」</p> <p>→以下同様にサポーター全員に聞く。</p> <p>進：「皆さん、日本のお菓子はどうでしたか。おいしかったですか。今から、グループで好きなものを3つ選んで日本のお菓子ランキング BEST3を作りましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本のお菓子の写真(5種)」「A3 	<p>(+記録者)は、あらかじめそれぞれのお菓子の写真を持っておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ポテトチップス(のり塩味)」：渡部さん ・「うまい棒コンボタージュ味」：森さん ・「じゃがりこ」：牧さん ・「プリッツ」：加藤さん <p>【日本のお菓子の写真(5種)(グループワーク用) ×4枚ずつ】 【A3用紙×4枚】【ペン×4セ</p>
--	---	--	--

		<p>用紙」「ペン」を配布する。 →事前に配布済みであるため省略</p>	ツト】【ステックのり×4本】【付箋(正方形)×4ブロック】
グループワーク (7分)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本のお菓子ランキングを作成する。 ・「～は、～より(形容詞)です。」[比較] ・「(種類・～の中)で～が一番(形容詞)です。」 ・「V ています[習慣的動作]」 	<p>進:「では、まずは、1人ずつ好きなお菓子を3つ発表してください。それから、グループで話し合いましょう。最後にポスターを作ってください。7分間とります。」 →比較の文型に加え、以下のことを深掘りする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・味の表現(もう少し詳細に、他のどんな食べ物に似ている味かなど) ・ロシアにも似ているお菓子があるか。 ・普段どのようなお菓子を食べているのか。 ・どのようなお菓子が好きか。(ジャンル) <p>・A3 用紙にランキングを作る。お菓子の写真を貼り、簡単なコメントを書いてもらう(時間がかかるようであれば、サポートーが文字を書く)。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートーは比較、一番～という表現を使って、会話ができるように促す。 例)「○○と△△を比べるとどうでしたか。」 ・「～は、～より(形容詞)です。」/「(種類・～の中)で～が一番(形容詞)です。」を直接使わないような問い合わせをしたい。
共有(5分)		<p>進:「では、○○グループからお気に入りのお菓子を発表してください。1位のお菓子は何でしたか。また、どんなコメントがありましたか。」</p> <p>学習者:「1位のお菓子は、○○です。1番おいしかったです。△△より甘かったです。ロシアの～というお菓子と似ています。2位は…」</p>	
32			
32 導入(3分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ロシアのお菓子について知る。 	<p>進:「皆さん、発表ありがとうございます。これらのお菓子は、スーパーやコンビニ、どこでも買うことができます。では、今度はロシアのお菓子について教えてください。」</p>	<p>【おすすめポスター見本×4枚】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「揚一番」を例にして作成。 ・文例を載せて

	<ul style="list-style-type: none"> ・「おすすめポスター見本」を配布する。 	<p>→進：「③のプリントを配ってください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に撮影しておいたロシアのお菓子売り場の写真を掲示する。 <p>進：「ロシアのスーパーに行きました。お菓子がたくさん売っていました。私は、このお菓子を買いました。まだ食べていません。(学習者)さん、これは何というお菓子ですか。</p> <p>学：「～～(ロシア語)です。」</p> <p>進：「食べたことがありますか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べたことがある場合 <p>学習者：「はい、食べたことがあります。」</p> <p>進：「どんな味でしたか。おいしかったですか。」</p> <p>学：「辛かったです。でもおいしかったです。」</p> <p>進：「なるほど、そうなんですね。授業が終わったら、食べますね。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べたことがない場合 <p>学：「いいえ、食べたことがありません。」</p> <p>進：「そうなんですね。このお菓子を食べたことがある人ー？」</p> <p>→举手した学習者に味について聞く。</p> <p>→誰も食べたことがなかった場合</p> <p>進：「では、授業が終わったら皆さん、一緒に食べましょうね。」</p>	<p>おく。</p> <p>「～というお菓子です。」</p> <p>「～という特徴があります。」</p> <p>「～味です。」</p> <p>「～で買うことができます。」</p> <p>「値段は～です。」</p> <p>【ロシアのお菓子売り場の写真】</p> <p>【マスキングテープ×1個】</p> <p>【ロシアのお菓子(実物)×1個】</p>
グループワーク (7分)	<ul style="list-style-type: none"> ・おすすめのお菓子を紹介してもらう。 	<p>進：「ロシアには、お菓子がたくさんありました。でも、どれがおいしいか分かりません。なので今度は、皆さんのお気に入りのお菓子を教えてください。グループで 1 つお気に入りのお</p>	<p>【A3用紙×3~4枚】</p> <p>【ペン×3~4セット】</p> <p>【付箋(正方</p>

		<p>菓子を選んでください。そして、(おすすめポスター見本を見せながら)このようにポスターを作ってください。7分間とります。まずは、1人ずつお気に入りのお菓子を発表しましょう。」</p> <p>→ サポーターが付箋に書き留めておく。</p> <p>→ 実際の活動では、学習者に書いてもらった。</p> <p>・「おすすめポスター見本」を参考しながら、グループごとでポスターを作る。</p> <p>進:「では、○○グループからお気に入りのお菓子を発表してください。」</p> <p>・グループのなかで代表者(2人ぐらい)が発表する。</p> <p>学:「私たちのお気に入りのお菓子は、△△というお菓子です。すっぱいです。おいしいです。スーパーで買うことができます。値段は、××ルーピルです。」</p> <p>・全グループ発表をする。</p> <p>進:「ロシアのお菓子をたくさん知ることができました。全部食べたいと思います。今度、スーパーでこれらのお菓子を買って食べてみますね。」</p>	<p>形)×3 ブロック】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポーターは、学習者から以下の情報を聞き出す。 ・お菓子の名前 ・味 ・どこで買えるか ・値段 ・特徴(あれば)
47 共有(5分)			

サブトピック 2: 学食 32分

活動の分類	活動の目標	教具の使い方・活動内容	教具・教材 注意すべき点
47 導入 文型提示 (5分)	・県大の食堂、学食について紹介する。	<p><学習者 5人: サポーター1人のグループを作る。(計 3 グループ)></p> <p>進:「今度は、5人でグループになります。私と一緒にグループの皆さんには、他のグループに分かれてください。」</p> <p>・3人のグループは、他の3グルー</p>	<p>【ワークシート② ×15枚】</p> <p>・県大の学食メニュー名、材料、サポーターの意見やコメントを書く。</p>

	<p>プに1人ずつ移動してもらう。 →人数が少ないため、省略 •「ワークシート②」「材料の語彙プリント」を配布する。 →進:「④と⑤のプリントを配ってください。」</p> <p>•県大の食堂の写真を掲示する。 •県大学食メニューカードを配布する(4枚×3グループ)。</p> <p>進:「もう、お昼ご飯を食べる時間ですね。皆さんは、いつも、お昼ご飯をどこで食べますか。」 学①:「教室で食べます。」 学②:「外で食べます。」 学③:「食堂で食べます。」 進:「そうなんですね。私は、学③さんと同じです。大学の食堂で食べます。(写真を指しながら)これは、愛知県立大学の食堂です。(入口の写真を指しながら)ここから入って、ご飯を頼みます。」 •いくつかの写真について、学習者に質問しながら紹介する。 進:「(給茶機の写真)学①さん、ロシアの食堂でお茶を飲むとき、お金が必要ですか。」 学①:「はい、必要です。」 進:「いくらですか。」 学①:「～ルーブルです。」 進:「なるほど。～ルーブル必要なんですね。でも、愛知県立大学では、お茶が無料で飲むことができます。水も飲むことができます。」 進:「(ドレッシング置き場の写真)学②さん、ドレッシングは何に使いますか。」</p>	<p>【県大の食堂の写真×6種】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・席 ・ドレッシング置き場 ・食器返却レン ・給茶機 ・入口 ・メニュー液晶掲示板 <p>【県大学食メニューカード×12種】【材料の語彙プリント×15枚】</p>
--	--	---

		<p>学②:「サラダに使います。」</p> <p>進:「そうですね。ここには、ドレッシングがたくさんあります。サポーター①さん、どうしてですか。」</p> <p>サポ①:「好きなドレッシングを使うことができるからです。」</p> <p>進:「なるほど。ドレッシングを選ぶことができるんですね。」</p> <p>進:「では、皆さん。机の写真を見てください。料理の写真が4枚あります。これらは、全部、愛知県立大学の食堂で食べることができます。どんな料理でしょうか。県大の学生に教えてもらいましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループワークのモデルを提示する。 <p>・「～が入っています。」</p>	
グループワーク (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・県大の学食についてサポーターから聞き出し、理解する。 	<p>サポ②:「(イラストを見せながら)中華麺と鶏肉ともやしとにんじんと唐辛子が入っています。」</p> <p>進:「食べたことがありますか。」</p> <p>サポ②:「はい、食べたことがあります。でも辛かったです。そして、量が多いです。お腹一杯になります。」</p> <p>進:「同じように皆さんも、料理のことについてサポーターの人について聞いてください。(ワークシート②を見せながら)この紙にメモをしてください。5分間取ります。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主な材料のみで良い。 <p>【担々麺の材料 イラスト(提示用)】</p> <p>→サポーターが持ておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポーターは味だけでなく、いくつかの料理については値段のことにも言及してほしい。 例)「安いです。」
共有(7分)		<p>進:「では、皆さん。今から他のグル</p>	

64	<p>・県大の学食メニューについて、他のグループに紹介する。</p>	<p>一 ープの人に、愛知県立大学の料理を紹介します。紹介する人を 4 人決めてください。そして、紹介する料理を 1 つずつ選んでください。」</p> <p>・1 グループ 4 人の学習者が、残り 2 グループに対して 1 つずつ学食メニューを紹介する。</p> <p>進;「では、まず A グループの皆さん、発表をお願いします。他のグループの皆さんには、同じ紙にメモをしましょう。」</p> <p>A グループ学①:「これは、おろしとんかつという料理です。豚肉と大根おろしとネギが入っています。やわらかいです。大きいです。お腹一杯になります。」</p> <p>→実際の活動では、学習者 4 名それぞれがメニューを 1 つずつ紹介した。</p> <p>進:「皆さん、愛知県立大学の料理はどうでしたか。食べたいですか。料理は全部おいしいです。なので、愛知県立大学に来たときは、ぜひ食べてください。」</p>	おいしいです。」
64 導入(2 分)	<p>・シベリア連邦大学の学食について知る。</p> <p>・グループワークで話し合う内容について、モデルで理解</p>	<p>進:「これまで、愛知県立大学の食堂を紹介しました。今度は、シベリア連邦大学の食堂について、皆さん、私たちに教えてください。」</p> <p>・「シベリア連邦大学の学食の写真」を掲示する。</p> <p>進:「私は、シベリア連邦大学の食堂で○○を食べました。おいしかったです(実際の感想を言う)。サポーター③さんは、何を食べましたか。」</p> <p>サポ③:「私は、△△を食べました。」</p> <p>進:「そうなんですね。何が入っていましたか。」</p>	<p>【シベリア連邦大学の学食の写真】</p> <p>・実際に食べた学食メニュー</p> <p>【A3 用紙 × 3 枚】</p> <p>【ペン × 3 セット】</p> <p>【付箋(正方形 × 3 ブロック)】</p>

	する。	<p>サポ③:「～と～と～が入っていません。」</p> <p>進:「味はどうでしたか。」</p> <p>サポ③:「～～たです(味の感想)。</p> <p>私のおすすめです。」</p> <p>進:「どうしてですか。」</p> <p>サポ③:「安くて、おいしかったからです。」</p> <p>進:「なるほど。私も今度食べたいと思います。でも、他の料理も食べたいです。皆さんはいつもどの料理を食べていますか。どの料理がお気に入りですか。皆さんのおすすめ(recommendation)の料理を教えてください。その料理のアピールポイントも教えてください。グループで 1 つ選んで、ポスターを作ってください。6 分間ります。」</p>	
グループワーク (6 分)		<ul style="list-style-type: none"> ・グループで 1 つおすすめの学食を選んで、A3 にまとめる。 ・まずは、それぞれ学習者がおすすめの学食を挙げていく。 →サポーターが付箋に書き留めておく。 	<p>ポスターの項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・料理の名前 ・入っているもの ・どんな味か ・値段 ・アピールポイント <p>→アピールポイントの例:安い、おいしい、量が多い、腹持ちがいい、コスパがいい、など</p>
共有(5 分)	<ul style="list-style-type: none"> ・おすすめの学食を紹介してもらう。 	<p>進:「では、A グループからおすすめの料理を発表してください。皆さんのおすすめは、どんな料理ですか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループのなかで代表者(2 人ぐらい)が発表する。 <p>A グループ学①:「私たちのおすすめは〇〇です。～と～が入っています。値段は△ルーブルです。安いです。」</p> <p style="color: red;">→実際の活動では、時間の都合上グループワークを省略し、全体の中でシベリア連邦大学の学食について話</p>	

77		<p>をした。</p> <p>進：「皆さん、おすすめの料理を教えてくれてありがとうございます。今度食堂で食べたいと思います。良かつたら、一緒に食べましょう。」</p>	
----	--	--	--

サブトピック 3: 大学周辺の飲食店 13分

実際に行った活動では、時間が押していたため「サブトピック 3: 大学周辺の飲食店」の活動を行わなかった。

活動の分類	活動の目標	教具の使い方・活動内容	教具・教材 注意すべき点
77 導入(5分)	・大学周辺の飲食店について知る。	<p><学習者 5 人: サポーター1 人のグループ(計 3 グループ)></p> <p>進：「さて、皆さんは大学の近くでご飯を食べますか。」</p> <p>・「大学周辺の飲食店の写真」を黒板に貼る。</p> <p>進：「私が見たお店は、この 4 つです。(写真を指しながら)このお店でどんな料理を食べることができますか。」</p> <p>学：「ロシアの料理を食べることができます。」</p> <p>→写真のお店について、学習者にいくつか聞いてみる。</p> <p>進：「他にもおすすめのお店がありますか。今度食べに行きたいので、ぜひ教えてください。大学から近いお店に行きたいです。」</p>	<p>・時間が押してしまっている可能性が高い。活動が難しい場合は諦める。</p> <p>【大学周辺の飲食店の写真】</p> <p>・大学周辺のお店であることを条件として提示する。</p>
グループワーク (5分)		・グループごとでおすすめの飲食店について、意見を出し合う。	
共有(5分) 90	・おすすめの飲食店を紹介してもらう。	・お店の名前+どんな料理が食べられるお店か、値段はいくらくらいなど特徴を紹介してもらう。	
まとめ		進：「今日は、ロシアと日本のお菓子について話しました。愛知県立大学	

		<p>とシベリア連邦大学の料理について話しました。(そして大学の外のお店についても話しました。)私は、これからロシアのお菓子と大学の料理をたくさん食べたいと思います。皆さんも日本に行ったら、お菓子と愛知県立大学の料理をぜひたくさん食べてください。ありがとうございました。」</p>	
--	--	--	--

教室活動での学びについて

加藤 知宏

1. 簡単な日本語のむずかしさ

基本情報(実施日:9月17日、対象人数:2年生5人)

9月12日、シベリア連邦大学日本語学科での教室活動デビューは反省事項が多々あった。一つ目は、当初、学習者2人の横側で、1人はその後ろの座席であった。この場所は声の通りが悪く不便に感じたので、学習者3人の向いの座席にわざわざ変更した。これが良くないと気づいたのは、授業の半ばであった。この位置は学習者の面前のため、学習者に対して威圧的な雰囲気を作ってしまったようだ。私からの質問は問いかけるというより、強圧的に回答を促す雰囲気になってしまった。2つ目は「こげる」の説明に、より難しい日本語を使ってしまい、理解してもらえたかったことである。「網の上に魚を置いて火にかざすと、黒くなりますよね。これが焦げるです」と知れば簡単なことである。説明で増え理解不能にしてしまう失態を犯してしまったのである。

このような数回のサポーター役を経て、9月17日は進行役の授業であった。この授業を通して、日本語を教えることのむずかしさ、そしてサポーター役の県大生とコミュニケーションをとることのむずかしさを実感したのである。私の日本語教員の出発点であるため、この授業を取り上げた。

2. 進行役とサポーター役の役割

教案作成をしていた8月までは、長久手日本語教室において1対1で教科書を使用した家庭教師的経験のみであった。この経験を踏まえての教案作成なので、進行役とサポーターで授業を作り上げるというより、全く意識せずにサポーター役は、進行役が目の届かないグループ内の活動を円滑に進めてもらう教案作成になっていたと思う。教案作成に当たって、書物やネットで情報を集め、日本人がどのように誕生日祝いをしているのか、ロシア人はどのように誕生日を祝い、日本人が祝う誕生日とはどこが違うのか。また、誕生日の祝いの席に出される食べ物、飲み物、場所、プレゼントはどのようなものがあるのか、と時間を掛けて調べ比較する工夫に努めた。この時点で、サポーター役の県大同級生と連絡を取り合っていれば、もっとチームワークよく教案作成ができたかもしれない。

また、私の調べたことが、ロシアのいにしえの風習であることがロシアに来てわかったことがあった、進行役だけでなくサポーター役と一緒に教案構築を進め、共に教室活動は進めなければ学習者が理解を勧める教室活動にならないことを学んだ。

3. シミュレーションの大切さ

実際の教室活動前に、先生と実習生全員で教室活動の流れを知るシミュレーションをした。そのため、このシミュレーションにて発表、説明するために、事前に自分自身で活動の流れを

何度も何度も繰り返して望んだ。この繰り返し練習が自信となり、時間の流れは把握できていたように思う。

しかし、学習者個々の対応において、私自身が丁寧すぎる日本語を無意識に使用する場面があり、学習者の理解を妨げてしまったと反省している。流れを重視するあまり、細かな個別対応ができていなかつたのである。自己覚知という言葉がある。自分のことを知るということである。自身の口癖、価値観、好き嫌いなど自分のことを知らずして、学習者に教えることは難しいと認識できた教室活動であった。

4. ロシアのことはロシアで学べ

教室活動のテーマは「誕生日の祝い」とした。日本での誕生日祝いと、ロシアでの誕生日祝いを同時に調べていく中で、ロシアには「名の日の祝い」があることを知った。自分が生まれた日を誕生日とすること以外に、自分のミドルネームの由来の聖者が亡くなった日を誕生日とする風習である。書物には、この「名の日の祝い」が、ロシアでは当たり前のように書いてあつた。私は完全に信じてしまい、教案では、「学習者の何人が「名の日の祝い」を実施しているのだろう。逆に「名の日の祝い」をしない人はどのような人たちであろうか」と考えてしまった。クラスノヤルスクに到着し、迎えに来られた日本センターの職員に聞くと、「今は普通に実際に生まれた日を誕生日として祝う。」「聖者？ どういう人ですか？」と言われ自分の愚かさを自覚したのである。ロシアのことは、ロシア人に聞くべきであったと考えるきっかけとなつた出来事である。教室活動にはいる前に知ったため、実際の活動では戸惑いはなかつたのがせめてもの救いである。

5. 全体での学び

この教室活動を通して、特に印象に残ったことは 2 つある。

第 1 に、学習者の学びの環境作りを重要視すべきことである。配席は、複数の学習者がいる場合、人間関係、学習能力差などを考えてするべきである。学びやすい環境作りは教える側にあることを学んだ。

第 2 に、進行役、サポーター役のチームプレーが重要であると前述したが、ここに学習者も入らなければならないことを学んだ。三者が一体になった教室活動において学習者は学べる。特定の意欲ある学習者が日本語を身に付けることは特筆すべきことではない。この意欲ある学習者に引っ張られ、教室の雰囲気に後押しされて日本語を身に付ける学習者がいることが、教室活動の目的となると考えた。

【資料】教室活動案

教室活動案(2年生・第3回)

トピックス	誕生日(名の日の祝い)
コミュニケーション目標	学習者と実習生(教室活動に参加した)が互いの国を理解しあう、互いの国民の習慣を知ることを目標とする
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生日から連想できる語彙(食べ物、飲み物、人、場所)を使って、自分のことを話し、相手の話を聞いたりすることができる。 ・誕生日のプレゼントを紹介できる。 (どこで買う。どんなモノを買う。値段、アピールポイント) ・「名の日のお祝い」について説明できる。 ・誕生日と「名の日の祝い」のどちらを重視するか説明できる。
目標(ゴール)	<ul style="list-style-type: none"> ・トピックスを通じて、会話力(自分のことを話し、相手のことを聞く)を身に付ける ・日本語を書く能力(書き言葉)を身に付ける。
サブ・トピックス	<ol style="list-style-type: none"> ① 誕生日パーティー ② 誕生日プレゼント選択 ③ 名の日のお祝い
教具・教材	<ul style="list-style-type: none"> ・ロシア向け A4 カレンダー4枚(現地調達) ・ペン(黒5本、赤5本) ・日本の誕生日風景シート 7枚 ・個人別誕生日タスクシート 20枚 ・個別イベント確認タスクシート 20枚 ・日本の誕生日風景シート 7枚 ・単語シート(食べ物)7枚 ・単語シート(食べ物)No.2 7枚 ・単語シート(飲み物)7枚 ・単語シート(プレゼント男性用)7枚 ・単語シート(プレゼント女性用)7枚

赤字は実際に行った際の変更点

時間	活動分野	活動の目標	活動内容	教材・注意点
20	アイスブレイク	進行役 サポーター 学習者でよい関係をつくる	<p>進行役が中心になって、学習者の配席をする。</p> <p>進行役(以下P): 皆さんこんにちは。私は愛知県立大学のカトウトモヒロです。私の自己紹介をします。私は、掃除が大好きです。ゴミをみつけたら掃除したくなります。よろしくお願ひいたします。</p> <p>さて、今から誕生日についておはなししましょう。 県大生の皆さんに誕生日を聞いてみましょう。</p> <p>P「渡部さん、お誕生日はいつですか」 渡部「○月○日です」 (カレンダーに印)</p> <p>P「北川さん、お誕生日はいつですか」 北川「○月○日です」 (カレンダーに印)</p>	<p>1グループは1人の県大生。2~3人の学習者が望ましい。</p> <p>教材: ネームホルダーペン 個人別誕生日シート</p>

		<p>P「牧さん、お誕生日はいつですか」 牧「○月○日です」 (カレンダーで指さす)</p> <p>P「森さん、お誕生日はいつですか」 森「○月○日です」 (カレンダーに印)</p> <p>(全体に進行役の方を向いてもらう) P「今、質問したように県大生が誕生日 はいつか質問しますので、「個人別誕 生日シートに書きこんでみましょう」 誕生日をグループ内で聞いてください。 その後、グループにあるカレンダーに印 をしましょう！</p> <p>ところで ロシアの友達に聞いたのですが、ロシア には「名の日のお祝い」があるそうです ね？知っていますか。知っている人は 手を挙げてください。 (学習者を1人指名し)サーシャさん、 「名の日のお祝い」とはなんですか？説 明してくれませんか？ 森さん。サポートしてあげてくださいね</p> <p>実際は説明できる人はいなかった。</p> <p>そこで、 正教徒の人はいますか？ 自分の名前と同じ人を大切にします か？ その人の亡くなった日に、自分が生まれ 変わったという考えがありますか？ これが「名の日」です</p> <p>名の日お祝い:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帝政期の農民は、月よりも曜日を重 んじた。正教徒は、誕生日の代わりに自 分と同じ同名の聖者の命日を「名の日 >として祝う習慣がある。 これを(名の日 imenity)と呼んでい る。 <p>説明後、 P「名の日祝い」のことはわかりました ね？ 学習者の皆さん、誕生日と名の日祝 いのどちらを重視するのでしょうか？ 「個人別誕生日シート」にどちらを重 視するか記入してください。</p> <p>P「次に、誕生日と名の日祝いで、名の 日祝いを重視する学習者の方は手をあ げてください」 ありがとうございます。お名前と、名の日</p>	<p>ここは説明し なかつた</p>
--	--	--	------------------------

			<p style="color: red;">祝いの日を教えてください。あとで、誕生日の過ごし方をグループトークしていただきますが、「名の日祝い」を重視する方は、誕生日の祝いと違うことがあれば教えてくださいね。よろしくおねがいいたします。</p>	
15	ブレインストーミング	県大生は質問内容に誠実に答える	<p>P「県大生の皆さんにお聞きします。誕生日パーティーを直前の誕生日にしましたか。パーティーをした人は手を挙げてください。」</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>では、パーティーをされた渡部さんに聞きます。</p> <p>誕生日タスクシートに沿って質問します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこでしましたか？ ・誰とパーティーをしましたか？ ・どのような飲み物を飲みましたか？ ・誕生日プレゼントはもらいましたか？ ・どのようなものをもらいましたか？ <p>続いて、パーティーをされなかつた〇〇さんにお聞きします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誕生日はどのようにすごしましたか？ ・誕生日プレゼントはもらいましたか？ ・あなたが誕生日プレゼントを贈る場合、アピールポイントはなんですか <p>手元の写真をみてください。 「日本の誕生日の様子です。このように部屋を飾り付けたり、子どもの誕生日の場合、年齢を飾ることも多いらしいです。 また、ベッドを飾る人もいます。この写真是誕生日の例です。</p> <p>単語シート(飲み物)をみてください。このような飲み物があります。どんな飲み物を飲みましたか？このシートにないものも、シートに書きこんでください</p> <p>単語シート(食べ物)と(食べ物)No.2をみてください。日本の食べ物とロシアの食べ物の例を載せてます。どんなものを食べましたか？</p> <p>「誕生日プレゼント(女性向け)をみてください。 女性に人気のあるプレゼントです。BALOONFLOWERは最近日本では女性に人気らしいです。 自分の名前入りのプレゼントは、自分だけのものという印象が強く人気がありま</p>	<p style="color: red;">このあとグループで県大生がはなすこととしたためこれは省略した</p> <p>「日本の誕生日風景シート」をみる</p> <p>単語シート(飲み物)</p> <p>単語シート(食べ物)</p> <p>誕生日プレゼント 日本編 男性、女性</p>

			<p>すよ。もらって嬉しいプレゼントがいいですよね</p> <p>次に「誕生日プレゼント(男性 7 向け)をみてください」</p> <p>家族のポエムは、名前だけ入れてもらうものだそうです。色々なポエムがあるので選べますよ。</p> <p>お酒が好きな人には、「名前入りグラス」はもらってうれしいものですね。</p> <p>そして、名前入りのボールペンは、誰もがうれしいプレゼントのようです。</p> <p>いかがでしたか、日本とロシアではどのように誕生日のパーティーやプレゼントが違うのでしょうか？興味がありますね。</p>	
15	グループトーク	グループで話し合い情報交換しよう	<p>P「県大生の皆さん、ありがとうございました。すごく楽しそうでしたね。</p> <p>1人で過ごされた方も充実させていたように思います」</p> <p>P「さて、これからグループの皆さんと誕生日についてお話ししてもらいます。</p> <p>誕生日タスクシートに従って進めてください。</p> <p>誕生日パーティーをしましたか？の回答から、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこでしましたか？ ・しなかった人はどのように過ごしましたか？ ・誰とパーティーをしましたか？ どのような飲み物を飲みましたか。単語シートを参考にしてください。 どのような食べ物を食べましたか。 誕生日プレゼントをもらいましたか？ 何をもらいましたか？ ロシアの誕生日プレゼントのアピールポイントはなんですか？ <p>時間を 15 分取ります。それでは、始めてください。</p>	「個別イベント確認シート」を使用
20	グループトーク発表	グループで話し合ったことをみんなの前で話してみよう	<p>P「グループトークを終わらせてください。楽しくお話できていましたね。ここからは、1人ずつ「誕生日の内容を話してください。</p> <p>おひとり 3 分以内でお話してください。</p> <p>では、○○さん、お話ください。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続いて、○○さん、お願ひします。</p> <p>ありがとうございました。以下最後まで続く。</p>	<p>「ありがとうございました」は丁寧すぎるので省略した。</p>

		<p>い。せっかくですので、どのような商品か学習者の中でわかる人が教えてください。順番に充てていきますが、わからなければ「パス」と大きな声でコールしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピロシキ ・ロシアオムレツ ・ビーツ ・ボルシチ ・シャシリク <p>時間があれば、日本の料理の説明をする。進行役がサポートーに順番に当てる 無ければまとめ</p>	<p>商品説明は時間がかかるので省略した。 実際時間が不足してできなかった。</p>
5	まとめ	<p>楽しくお話して来たら、もう終了の時間です。日本とロシアの誕生日の過ごし方は似ているところもあれば、全く違うこともあります</p> <p>本日は、慣れない進行役で皆さまに多数のご迷惑をかけたことをお詫び申し上げます。未熟ながら最後まで務めさせていただいたのは皆さまのおかげです。</p> <p>ありがとうございました。</p>	<p>丁寧すぎるの で省略</p>

2年生会話活動(第4回)

冬休みの過ごしかた

渡部 汐里

1. 2年生4回目教室活動の概要

2018年9月19日(水)の3限(12:00-13:35)に私にとっては2回目の教室活動を行った。当日の学習者数は5人だった。

今回のメイントピックは「冬の過ごし方」である。当初の教案におけるサブトピックは、「冬休みの過ごし方」「冬の娯楽・楽しみ」「冬の楽しみ方」であったが、実際の教室活動では、「この前の冬にしたこと」「次の冬にすること、したいこと」「冬の楽しみ」を扱った。

3年生では冬の寒さや困りごとを扱ったが、2年生では冬の楽しいことに焦点を当てた。ロシア留学中に1か月ほどの長い冬休みがあったのだが、過ごし方がわからなかった。そこで、ロシア人学生が何をして過ごしているのか興味があった。加えて、ロシア人にとって冬と言えば何を連想するのかも気になっていたので、冬の楽しみをテーマにした。

2. 教案を考える

当初の教案では、冬休みにして楽しかったこと、大変だったことを考えた後に、次の冬休みにしたいこと・することを考えた。そこで出てきた答えが、次のトピック「冬の娯楽・楽しみ」へつながることをねらった。そして、最後「冬の楽しみ方」で、冬のおすすめランキングとスポットを紹介する流れだった。

また、2年生の教案には多くの学習項目を取り入れた。過去と未来・予定・願望の表現、「V(理由)て、～[感情]です。」、比較級・最上級を学習目標に設定していた。それらが生かせるようなワークシートを作った。

3. 言葉を言葉で説明しない！

シミュレーションでは、日本語表現の説明の仕方を議論した。

「冬休みの過ごし方」で、予定の表現として「V/N の予定です」「Vつもりです」「Vうと思っています」を導入しようとしていたが、その3つの表現をそのまま提示するだけでは、それぞれの意味の違いが学習者に伝わらない。そこで、より具体性の高い「V/N の予定です」を上に貼り、その下にそのほか2つの文型を貼りだすこととした。また、それぞれの違いが出るように、例文を用意した。

「冬の娯楽・楽しみ」では、「(冬の楽しみ)といえば」という文型を導入する。「冬の楽しみと聞いて、連想するものを言う時に使用する。」このような言葉だけの説明だと学習者への負担が大きい。

当初の教案では、文型の提示をさらっと終える予定であったが、一つ一つの文型を確実に学習者が習得するためには丁寧なサポートが必要なのだと思った。ただ、言葉で文型の意味を説明するのではなく、イラストやサポートー、学習者とのやりとりの中で学びとさせることが必

要だ。

4. 授業でできたこと、できなかったこと

授業のはじめに昨日おこった「停電」の話を導入とした。4回目の授業ということもあり、雰囲気も良く学習者もサポーターも話しやすそうだった。また、冬休みを中心に冬にしたことを聞いていく予定だったが、実際の授業でロシア人学生の冬休みは短く、さらに試験前のため、勉強ばかりしていることが判明した。そのため、「冬休み」から「冬にしたこと」に変更し、質問した。時間の関係上、冬のおすすめランキング、スポット紹介はできなかった。

今回の授業は、3年生1回目に続き私にとって2回目の活動であった。達成できた点としては、学習項目を意識して文型を授業に盛り込んだこと。掲示する文型を一つ一つ準備しており、学習者が見えるようにしたこと。さらに、前回の授業で不十分だった時間への意識や「です、ます」を使うことも意識した。

一方で、できなかった点は主に3つであった。

- ・言葉の説明を辞書的にしており、例文が少ない
- ・発言に対してのフィードバックが少ない
- ・理解度の確認「わかりましたか。」を使ってしまう

何よりも、今回の授業は一つ一つの発言、行動をとっても少し焦り気味だったと反省している。

5. 振り返り

進行役としての働きで、グループワーク中にそれぞれのグループの会話を聞いたり、介入したりしていた。しかし、その後の全体シェアで、私はどのグループを当てようか毎回悩んでいた。せっかくグループワークに介入するのであれば、次どうするか、全体シェアへのつなぎを考えるべきだという指摘があった。

授業を進行することは、自分の言葉遣い、時間、学習者の発言や様子、次の進め方など1度にたくさんのことを行にかける必要がある。

いくつかの文型を取り入れたが、それぞれの文型にかける時間も不十分で、一部の学習者を除き理解できていたかどうか不明であった。もっとサポーターとのやりとりを増やし、例文を提示すべきだった。

何度も言っているが、進行役であるからといって自分一人だけで言葉の説明をしよう、授業を進めよう、話を盛り上げようとする必要はない。適度にサポーターや学習者に振り、やりとりを増やすことで、クラス全体を巻き込んだ授業づくりができる。そうすることで、クラス全体が話しやすい雰囲気になる。そんな授業をいつかしてみたいものだ。

【資料】教室活動案

教室活動案(2年生・第4回) 赤字は実際に行った際の変更点

9月19日(水)12:00~13:35 2年生④ MAX15人⇒実際の参加者5人

トピック	冬の過ごし方
学習項目	1. 冬休み ⇒1.「この前の冬にしたこと」 2. 冬の娯楽・楽しみ 2.「次の冬にすること、したいこと」 3. 冬の楽しみ方 3.「冬の楽しみ」
学習目標	ロシアの冬の楽しさ・楽しみ方を紹介する 過去・未来の言い方 比較・最上級
コミュニケーション目標	冬の楽しみ方を考えて、日本人留学生に紹介しよう
教具・教材	1. ワークシート*15+7 カレンダー 2. 日本の冬に関する写真(雪だるま、雪合戦、焼き芋、霜柱、鍋、こたつアイス、イルミネーションなどそれぞれ冬の楽しみを挙げてもらう) 付箋 4セット A3 20枚 3. シール・クラスノ地図(全体、セントラル)*4 スポット情報を書く用紙(A4の半分サイズ*15)

1 冬休み(31分)				
ウォーミングアップ(9分)	自己紹介 この授業の目的を伝える (2分)	進:「こんにちは。 私は2年前クラスノヤルスクでロシア語を勉強しました。 ロシアの冬、とても寒いです。 私がいたとき、気温が-36度になりました。 クラスノヤルスクは、去年、1番寒いとき何度でしたか。」 学:「-38度でした。」 進:「わあ、とても寒いですね。」「さんは、とても寒い日に何をしますか。」 学:「家にいます」 進:「いいですね。外は危険です。」「私は、寒い日にスケートやスキーをしました。楽しかったです。」「私は楽しいことが好きです。皆さんも好	前日に起きた「停電」について、導入で話す。「～て、悲しかったです。」	

	<p>きだと思います。 今日は、もっと冬を楽しむ方法を知りたいです。 ですので、みなさんで冬を楽しむ方法を考えましょう。」「今日、話したこと、知ったことはこれからクラスノヤルスクへ来る日本人学生にもシェアしたいです。」</p>	
冬は人気のある季節なのか知りたい	<p>グループ分け(1分)</p> <p>進:「では、今日は4つのグループに分かれましょう。」「今から一人ひとり1から4の数字を言います。1番の人は加藤さん、2番の人は牧さん、3番の人は森さん、4番の人は渡部の近くに集まってください。」「今日はこのグループでお話ししましょう」</p> <p>「まず初めに、私は日本の冬はあまり好きではありません。なぜなら、しもやけになるからです。」「しもやけは足の病氣です。寒いとなります。」「一方で、ロシアの冬は好きでした。雪がきれいだからです。」「皆さん冬は好きですか。嫌いですか。グループで話してください。理由も言います。」</p>	<p>4 グループ作る (1 グループ 3, 4 人+サポ(加藤、 牧、森、渡部) ⇒渡部を除いた 3 グループ</p> <p>・冬が嫌いか好きか その理由</p>
グループ(4分)	<p>・まずサポから好き嫌いと理由を言う。</p> <p>サポ:「私は寒いのが苦手です。なので、冬が嫌いです。」「学生さんは、冬は好きですか。」「嫌いです。」「なぜ？何か理由はありますか？」</p> <p>学:「ないです。」</p> <p>・それぞれのグループに冬が好きと答えた人数、好き嫌いの理由を聞く。</p>	<p>サポ⇒(質問)⇒ 学⇒(質問)⇒ 学… 一人ひとり言う 理由の文型 サポは意識してね ・⑯～。ですから、～。 ～。なので、～。 ⇒正しくない表現 ◎～なので、～。 ～だからです。</p>
全体シェア(2分)	<p>進:「○○さんのグループは冬好きな人は何人ですか。」</p>	

		<p>学:「3人でした」</p> <p>進:「好きな理由は何でしたか」</p> <p>学:「暖かいからです。」</p> <p>進:「では、他の人はどうして嫌いですか。」</p> <p>進:「なるほど。冬が好きな人は合計5人でした。あまり人気ではありませんね」</p>	全グループに聞く 時間が押したら、 人数だけ聞く
冬休みしたこと グループ)(10分)	<p>冬休みの期間を知る(1分)</p> <p>冬休みの過ごし方を知る。(1分)</p> <p>個人(2分) グループ</p>	<p>進:「さて、話題を少し変えます。 私たちの大学、愛知県立大学には冬休みがあります。12月27日から1月3日までが休みです。1週間です。」「シベリア連邦大学では、冬休みはいつからいつまでありますか」</p> <p>学:「1か月くらい」</p> <p>進:「1か月は長いですね。何月から始まりますか。」</p> <p>学:「1月からです」</p> <p>進:「とてもうらやましいです」</p> <p>ではこれから、ワークシートを配ります。冬休みについて話しましょう。</p> <p>皆さん、去年の冬休み何をしましたか。 私は去年の冬休み、たくさんバイトをしました。たくさんバイトをして、大変でした。」</p> <p>・サポーターに振る</p> <p>「サポは去年の冬休みに何をしましたか。」</p> <p>サポ:「特に何もしていなくて、暇でした」</p> <p>進:「それもそうですね。 では、1か月という長い冬休みがある皆さん、去年の冬休み何をしましたか。 ⇒ロシア人はこの時期テスト勉強をしている。かつ、冬休みも1週間程度であったため、冬休みでなく、「冬に何をしましたか。」に変更</p> <p>そして、それは楽しかったですか。大変でしたか。このワークシートに書いてください。</p>	<p>・カレンダー見せて</p> <p>Vて、楽しかったです。大変でした。</p> <p>・サポーターも書いてください。</p>

	(4分)	<p>まずは自分のことについて書いてください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生、したことを書く ・グループで話し合う 	
	全体 (2分)	<p>進:「では、グループの人になにをしたか質問しましょう。答える人は、それが楽しかったか。大変だったかも答えます。例文を参考にしてください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体2、3名に聞く <p>進:「みなさんどうですかね。言いたい人はいますか。では、〇〇さん、去年の冬休み何をしましたか。」</p> <p>学:「旅行をして、たのしかったです。」</p> <p>進:「いいですね。冬休みが長いので、旅行ができますね」</p> <p>「では、〇〇さんはどうでしたか。」</p> <p>学:「宿題をして、大変でした」</p> <p>進:「宿題がありますか。それは大変でしたね。」</p>	<p>サポから学生にまず質問。</p> <p>去年の冬休みに何をしましたか。</p>
今年の冬休みにしたいこと、すること(12分)	<p>・理想的な冬休みの過ごし方を知る</p> <p>個人ワーク(3分)</p> <p>グループワーク(6分)</p>	<p>進:「先ほども言いましたが、去年の冬休みはバイトがたくさんあって、大変でした。去年は大変でしたが、今年の冬休みは、友達と温泉旅行に行くつもりです。」</p> <p>サポさんは、今年の冬休みに何をする予定ですか。」</p> <p>サポ:「去年の冬休みは何もしなくて、暇でしたが、今年の冬休みは映画を見る予定です。」</p> <p>⇒1月1日は親せきの家に行く予定です。」</p> <p>進:「皆さんには、今年の冬休みに何をしますか。また、何をしたいですか。自分の考えを書いてください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で意見交換 <p>進:「では、グループの人に自分のことを話してください。聞く人は、話している人の情報を書きましょう。」</p>	<p>サポ:今年の冬休み何をする予定、したいか考えておく。</p> <p>・サポーターも書くまた、困っている人を助ける</p> <p>・予定の表現</p> <p>③「Vうと思っています」</p> <p>「Vつもりです」</p> <p>「V/Nの予定です」</p> <p>グループで2人聞く</p> <p>計8人</p>

	シェア(3分)	・全体でシェア 進:「全体でシェアしましょう。誰か、話したい人はいますか。」	
冬休みまとめ		進:「皆さんの冬休みの予定、とても楽しそうでした。 寒い冬でも、楽しいことがたくさんあります。 次は、冬の 娯楽・楽しみ ⇒冬に楽しいこと (娯楽・楽しみはまだ 2 年生には難しい) について話しましょう。」	

2 冬の娯楽と楽しみ(20 分)			
導入 + グループワーク (14 分)	冬の娯楽(冬にすること)をあげてもらう 進行役の話 (1 分)	進:「皆さん、冬の娯楽・楽しみは何ですか。 私にとっての楽しみは、2つあります。 冬の楽しみ といえば、温かい食べ物を食べることです。例えば、肉まんやおでん。どちらもコンビニで安く買うことができます。 日本へ行ったら、ぜひ食べてみてください。」「もう一つは、これです。私は何をしていますか。」 学:「スケートです。」 進:「はい、正解です。これは、日本でスケートをした時の写真です。ロシアで初めてスケートをして、好きになりました。」	・写真必要 ・㉙?「V こと」OR 名詞で統一
サポ(日本)の楽しみ・娯楽紹介 (2 分)		・まずサポーターが自分なりの冬の楽しみや日本の冬に関する写真を見せて紹介 「これから、グループの日本人が話します。自分の冬の楽しみ・娯楽について話します。皆さんには質問もしてください。」	サポ:冬の楽しみ・娯楽に関する写真をスマホに用意する。 説明も用意お願いします。
個人(2 分)		・ワークシートを記入 「では、次は皆さんの冬の楽しみについて考えましょう。ワークシートを見てください。冬の楽しみについていくつか例があります。私は、スケートが楽しいと思います。なので、スケートに丸を付けます。自分が樂	

	全体(2分)	<p>しいと思うことに丸を付けましょう。分からない言葉は周りの人に聞きましょう。」</p> <p>・全体に聞く</p> <p>進:「どうでしたか、皆さん。楽しいこと、好きなことはありましたか。○○さんはどうでしたか。」</p> <p>学:「テレビは楽しいです。」</p> <p>進:「テレビを見ることは楽しいですね。部屋の中は暖かいのでいいですね」</p> <p>あと二人ほど聞く。</p> <p>これ以外にも、冬の娯楽・楽しみはあると思います。</p> <p>皆さんのアイデアがたくさんほしいです。まず、自分のワークシートに書いてください。日本語が分からぬ人は、ロシア語でもいいです。」</p>	・
	他のアイデアを出す(個人)2分		<p>・たくさんのアイデアを出してほしい</p> <p>なかなかでない場合</p> <p>サポもアイデア出す。</p>
	グループ(5分)	<p>進:「では、グループで、できるだけたくさんアイデアを出してください。アイデアは、この小さい紙に書いてください。日本語が分からなければ、ロシア語でもいいです。」</p> <p>出た案をサポートーOR 学生が付箋に書き留める</p> <p>A3に貼る</p>	<p>付箋 4 セット</p> <p>A3 2枚*4</p> <p>・分らないものは質問する。ロシア語は</p>
	全体	<p>進:「どうですか。では、このグループから見ましょう」</p> <p>⇒「おすすめの冬の楽しみ」を共有して終わり</p> <p>進:「どれも楽しそうですね。</p> <p>では、それぞれの冬のおすすめを教えてください。」</p> <p>実際の授業はここまで終了</p>	
グループワーク(6分)	冬の娯楽を分類わけ	<p>進:「たくさんのアイデアが出ました。これらのアイデアをグループに分けることができますか。」</p> <p>「例えば、スキーはどこでしますか。</p> <p>学:「外です。」</p>	<p>・屋内や屋外以外にも出てくるかも(食べ物、とか)</p>

	屋内と屋外を教える。	<p>進:「はい。では、映画はどこで見ますか。」</p> <p>学:「家で見ます。」</p> <p>進:「はい、映画館に行って、見ることもあります。」</p> <p>「皆さん、屋外、屋内 という言葉知っていますか。」</p> <p>「屋外は外、屋内は家や建物の中という意味です。」</p>	A3 * 2 に書いて貼る
	グループで分類(5分)	<p>「では、皆さんのアイデアを屋外グループ(おくがいのこと)と屋内グループ(屋内すること)に分けましょう。」紙を配ります。</p> <p>1枚の紙に屋外、もう1枚の紙に屋内と書いてください。屋内・屋外ではないアイデアがありますか。別の紙を使ってください</p>	4 グループ* <ul style="list-style-type: none"> 屋内や屋外以外にも出てきたら、他の紙使用分類名も書く(食べ物、とか)
	全体シェア(1分)	<p>進行役、歩いて見回る。</p> <p>進:「屋内グループは、屋外グループより数が多いですね。</p> <p>それと、○○グループで面白いグループがありました。簡単に説明できますか。」</p>	グループが混同する <ul style="list-style-type: none"> 一つ選んで、全体シェアする。

3 冬の楽しみ方と楽しいスポット(32分)			
冬の楽しみ方ランキング(18分) グループ⇒全体	ランキングのつくり方説明(2分)	<p>進:「これから冬の娯楽・楽しみランキングを作りましょう。これまで、たくさんの娯楽・楽しみが出てきました。</p> <p>これらの情報を使ってランキングを作ります。」</p> <p>「ランキングは、日本人や外国人のために作ります。</p> <p>もっと詳しく、誰のためのランキングにするか決めます。例えば、スポーツが好きな人に何をおすすめしますか。」</p> <p>学:「スケートです」</p> <p>進:「そうですね。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本人サポートーは書く時の補助(辞書形に統一) <p>(日本語以外にロシア語も記載)</p>

	<p>では、アウトドアな人はどうでしょう。 アウトドアな人はどういう意味ですか。」</p> <p>学:「わかりません」</p> <p>進:「アウトドアは英語です。 屋外、外という意味があります。アウトドアな人は屋外で過ごす、遊ぶことが好きです。」「インドアな人はどんな人だと思いますか。」</p> <p>学:「家が好きな人？」</p> <p>進「そうです。屋内や家で過ごす、遊ぶことが好きな人です。アウトドアの反対の意味です。」</p> <p>「このように、どんな人のためのランキングを作るか、グループで一つ決めてください。例以外でもいいです。1分話し合います。」</p> <p>進:「それぞれのグループどんな人に決めましたか。言ってください」</p> <p>・A3 を配り、そこにランキングを書いてもらう。</p> <p>進:「この紙にランキングを書きます。 大きい紙に書く前に、ワークシートを使って考えます。 大きい紙に書くときはグループのメンバー名と誰のためのランキングかも書いてください。数は 8 より多くしてください。」</p> <p>それぞれのグループのランキングを前に貼る。 それぞれ 1 分ずつ、説明する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・被らないようにしたい 被いたら、違うテーマを与える。 <p>A3 4 枚 + 2 枚</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出た案の数に応じてランキング数変える
冬のおすすめスポット (15 分) (グループ ⇒ 全体)	<p>ワーク説明 (3 分)</p> <p>進:「皆さん、面白いランキングでした。 さて、次が、最後のワークです。今から地図を配ります。どこの地図だと思いますか。」</p> <p>学:「クラスノヤルスク」</p> <p>進:「そうです。次に紙を配ります。一人 2</p>	

	<p>枚です。」</p> <p>「今から、冬にお勧めの場所について考えます。</p> <p>グループワーク(10分)</p> <p>スキーやスケートができる場所、温かい食べ物がある場所、冬のイベントがある場所など書いてください。</p> <p>場所の名前はロシア語とロシア語の発音を日本語にしてください。その場所でできること。お勧めするポイントを書いてください。</p> <p>分からぬところは書きません。グループの人と相談します。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬にお勧めのスポットをグループでいくつか出してもらう(一人2つくらい) ・そのスポットの情報を書く(名前(ロシア語+カタカナ)、最寄りのバス停とバス番号、できること、その他)あと番号を付ける。 ・地図でスポットに赤シール(用紙と同じ番号を書いた)を貼って完成。 <p>全体(2分)</p> <p>一つのグループを当てて、2か所説明してもらう。</p> <p>時間があればすべてのグループ。</p> <p>進:「はい、では○○グループの皆さん、地図を見せてください」「1番はどんな場所ですか。何ができますか。」</p> <p>学:「公園です。氷のアートを見る事ができます。」</p> <p>進:「見てみたいです。では、3番は?」</p> <p>学:「ここでスケートができます。」</p> <p>進:「スケート場ですね。行ってみたいですね○○さんありがとうございました。」</p> <p>書いたカード、地図は最後集める</p>	<p>サポ、用紙記入手伝う。</p>
最後の あいさつ	<p>「お疲れ様でした。皆さんとの授業とても楽しかったです。</p> <p>冬の楽しみ方をたくさん知ることができました。</p>	

		<p>た。</p> <p>これらの情報は、これから留学する予定の人たちに紹介したいと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>今年の冬が楽しみです。」</p>	
--	--	---	--

「会話」を楽しむことができた、2回目の教室活動

森 早貴子

1. 教室活動の概要

私は2018年9月20日(木)に2年生5回目の授業を担当した。テーマでは「習いごと」を取り上げ、サブトピックで「子どもの頃にやっていた習いごと」、「人気の習いごととイメージ」の2つについて話し合った。教室活動案の作成段階では学習者を15人と想定していたが、当日は6人の学生が参加してくれた。

私自身、子どものころから現在まで習字を習っており、ロシアの習いごとについて知りたいと思い、このトピックを選んだ。学習目標を「自分がやっていた習いごとについて紹介し、習いごとのイメージについて自分の意見を言うことができる」、コミュニケーション目標を「日本、ロシアの習いごとについて知り、イメージを共有する。そしてイメージを紹介するための動画を撮影する」と設定した。私が担当した5回目の活動は2年生最後の教室活動であったため、これまでの活動でやったことのない動画撮影に挑戦した。

2. 教室活動案の作成

教室活動案の作成において工夫した点は教室活動の流れである。冒頭のウォーミングアップで語彙の手当てをしながらこれから学ぶことの概要をつかむために、グループでピアノや水泳などの絵に正しい単語を当てはめていくゲームをするにした。導入でゲームを行うことで、その後の活動に入りやすくなると考えた。そして、まず子どもの時にやっていた習いごとについて話すことで学習者自身の経験を引き出し、そのあと人気がある習いごとやイメージについて話すような流れにし、話しやすい雰囲気をつくるよう心掛けた。

教案作成をする中で、トピックと学習項目を関連させるのが非常に難しいと感じた。会話活動では会話がメインの活動となるが、会話の中にどんな学習項目を入れるのかを考えるのに時間がかかってしまった。トピックと学習項目を関連させるのは難しいが、学習項目がないとただの文化紹介や雑談になってしまないので、学習者のレベルや話せることを考えながら学習項目や学習目標を教室活動に組み込むことが重要だと学ぶことができた。

3. 教室活動の実施

この教室活動では進行役である私が、学習者とサポーターにやってほしいことを明確に指示できなかった。それによりグループワークでは学習者やサポーターが困惑してしまう場面があった。さらに、グループワークで使ってほしい文型の提示も正しくできていなかったため、全体シェアの際に後付けのような形での文型提示になってしまった。

2年生5回目の授業は3年生2回目の授業に続き、私にとって2回目の進行役としての

会話活動であり、1回目と比べるうまくできたと思うことは多くあった。例えば、板書をする時は文字の書き方を学習者に見せるようにすることや、グループワークの時間配分を伝えること、まず自分のことを話してからサポーター、学習者の順に話を振りやりとりをつくることなど、ほかの実習生の教室活動の振り返りで学んだことを意識的にできたと思う。さらに、教室活動のはじめに「習いごと」の説明を丁寧にしたことでそのあとに続くグループワークを、3年生の活動よりもスムーズに行うことができた。

また教室活動を実施する前のシミュレーションの際に、紙に漢字を一文字書いて学習者一人ひとりにプレゼントし、その漢字の意味を聞いていく活動をしたらどうかというアドバイスを先生にいただいた。「筆ペンで書いた漢字」をプレゼントすることは「習いごと」「習字」というトピックにも関連しているし、何より学習者のテンションが上がったように感じた。その後の教室活動も楽しい雰囲気で進めることができた。このことから、教室活動が始まる前の学習者との交流や教室活動の冒頭で、学習者的心をつかめるかどうかによって教室活動全体の雰囲気が変わるので実感した。

4. 教室活動の振り返り

私の印象では、1回目の教室活動より今回の教室活動の方がうまくできたように感じたが、もちろん改善点や反省点もあり、振り返りでは2つのことに気づくことができた。

1つ目に、新出単語を全体で手当てすることである。一部の学習者だけが理解できてほかの学習者が理解できていないという状況をつら抜いためにも、全体で新出単語の意味を理解してから次のワークに移行することが必要だとわかった。

2つ目に自分の発話をコントロールすることである。これまで教室活動中であっても何も意識せずに発言していた。しかし振り返りで「人気のスポーツ」という発言を指摘された。正しくは「人気があるスポーツ」だが、特に気にせず話していた。初級の学習者と会話するときほど規範に従った、正しい日本語を使うことが必要だと学んだ。正しい日本語を使うためには、自分の言う言葉に意識して発話をコントロールすることが大切である。

5. 全体を通して

この教室活動は私にとっては2回目の教室活動であった。そして1回目の教室活動での反省点を踏まえて臨むことができ、良い雰囲気で教室活動を終えることができたと感じた。学習者に興味を持つことを忘れないようにして、学習者の発言ひとつひとつを細かく拾っていくことで、学習者も会話を楽しめたのだと思う。この教室活動で特に印象に残っているのは、ダンスを習っていた学習者にそのダンスを実践してもらったことである。その学習者はあまり話さないという印象を持っていたが、ダンスの動画や写真を見せてくれば、さらには踊りを披露してくれたのには非常に驚いたし、とてもうれしかった。それに加え、私自身もジェスチャーを多く使うなど体を動かしたことで、教室全体に動きが生まれ、雰囲気も良くなつたのだと思う。

活動を最後までうまく終えることができるか、学習者の興味を引き付けることができるかどうかなど、不安に思うことはたくさんあったが、「教案通りに教室活動を行わなくてもいい」という先生の言葉を思い出し、リラックスして活動に臨むことができた。そして今回は、学習者に興味

を持ち、学習者やサポートーとの会話を「私自身」が楽しむことができた教室活動であった。教案作成から振り返りまで、たくさんのこと学ぶことができた。この学んだことを、今後の実習で活かしていきたいと思う。

【資料】 教室活動案

教室活動案(2年生・第5回) 赤字は実際に行った際の変更点

2年生(5回目)15人 → 6人

学習目標	自分がやっていた習い事について紹介したり、習い事のイメージについて自分の意見を言うことができる。
コミュニケーション目標	日本、ロシアの習い事について知り、イメージを共有する。そして動画を撮影する。
教具・教材	<ul style="list-style-type: none"> ・習いごと絵シート ・習い事タスクシート ・付箋 ・ペン 20本 ・A4用紙

ウォーミングアップ(10分):趣味やスポーツについて

活動の分類	活動の目標	教材の使い方・活動内容	教具・教案注意すべき点
2分	自己紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の紹介 進「こんにちは。私は愛知県立大学の森早貴子です。4年生です。大学では外国のことを勉強しています。大学の授業が終わつたあと、習字を習っています。毎週月曜日です。習いごとです。今日はみなさんとロシアの習いごと、日本の習いごとについて話します。最後に、ロシアと日本の習い事を紹介するための動画を撮りたいです。動画を YouTube にアップしてもいいですか」 →導入で「漢字のプレゼントと意味の確認」を追加した。 ・良い場合 進「ありがとうございます。」 ・ダメな場合 進「そうですか。では動画だけをとって、みなさんに送ります。ロシアの習いごとと日本の習い事を、みなさんの家族や友達や留学生に紹介してください。」 	

		<p>・「では習いごとをまとめて発表しましょう。」</p> <p>進「今日は習いごとについて話します。その前にゲームをしましょう。ここに習いごとの絵があります。そしてこれは習いごとの単語です。3人ペアになってください。絵に正しい単語を貼ってください。時間を1分とります。その後、答え合わせをします。」</p> <p><習いごと絵シートと単語カードを配布></p> <p>進「グループ①のみなさん、①と②の習いごとを教えてください。」</p> <p>グ①「①は習字、②はサッカーです。」</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>	
3分	5分		

サブトピック1: 子どものときにやっていた習い事(20分)

活動の分類	活動の目標	教材の使い方・活動内容	注意すべき点
5分	<p>「Vでいました」</p> <p>「～歳から～歳まで続けました。」</p> <p>「～に教室に行っていました。」</p>	<p>進「私は子どものとき、習字を習っていました。6歳から22歳まで続けました。毎週月曜日に教室に行っていました。」</p> <p>進「サポートー①さんは、何を習っていましたか。」</p> <p>サ①「私はトランポリンを習っていました。10歳から12歳まで続けました。毎週土曜日に教室に行っていました。」</p> <p>進「サポートー②さんは、何を習っていましたか。」</p> <p>サ②「私はバイオリンを習っていました。5歳から12歳まで続けました。」</p> <p>進「学習者①さんは何を習っていましたか。」</p> <p>学①「私はピアノを習っていました。5歳から12歳まで続けました。」</p> <p>進「学習者②さんはどうですか。」</p> <p>学②「私はバレエを習っていました。5歳から12歳まで習っていました。」</p> <p>進「そうですか。みなさんは何を習っていましたか。2分時間をとります。まず自分のこ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・習いごと絵シートを指さしながら ・文型をA4用紙に書いて黒板に貼る •学習者は、用意した絵シートにはない

		<p>とについて、ペアで相談しながらワークシートに書いてください。」</p> <p><ワークシート記入></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体を見て、2分で終わらない場合は1分増やす 	<p>習いごとをやっていた可能性があるため、サポーターは、学習者が分からない単語を教える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポーターはペースの遅い学習者について一緒に考える。
2分			
3分		<p>進「みなさん、書けましたか。では次に4人グループになってください。ワークシートの下の部分にグループの人について書いてください。3分時間を取ります。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポーター1人ずつグループに入る サポーター→学習者①→学習者②→学習者③→学習者④→サポーターの順に質問していく。 「〇〇さんは子どものとき、何をならっていましたか。」「何歳から何歳まで続けましたか。」「いつ教室に行っていましたか」 <p>→グループの変更は行わなかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードなどを使用して学習者の分からない言葉を教える。 ・1つのグループのみ学習者3人
5分		<p>進「みなさん、グループの人が何をならっていましたか。グループで出し合ってください。日本の習いごととロシアの習いごとの2つに分けてください。</p> <p>→日本とロシアの区別はしなかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サポーターはA4用紙に、学習者が出した習いごとを日本とロシアに分けて書く。
5分		<p>1グループずつ、どんな習いごとが出たか発表してもらう</p> <p>進「どんな習いごとがありますか。教えてください。」</p> <p>学「サッカー、ピアノです」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習者が発表した習いごとをA4用紙に書いていく ・サポーター書いていく 	

サブトピック2&3: 人気の習い事/イメージ(60分)

活動の分類	活動の目標	教材の使い方・活動内容	注意すべき点
7分	「～がいちばん～と思います。」	<p>進「たくさんの習いごとがありますね。サポーターさん、日本では習いごとの中で、どれがいちばん人気だと思いますか。」</p> <p>サ「習字がいちばん人気だと思います。」</p>	<p>【イメージのカテゴリー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男／女 ・上品な

	<p>「～は(修飾節)Nです。」</p>	<p>進「では、バイオリンと習字はどうですか。」 サ「習字の方が人気だと思います。バイオリンは人気ではありません。バイオリンは値段が高いです。ですからバイオリンはお金持ちが習う習いごとです。」 進「そうですね。私もそう思います。ピアノは女の子が習う習いごとだと思います。サポートーさん、サッカーはどんな人が習う習いごとだと思いますか。」 サ「サッカーは男の子が習う習いごとだと思います。」 進「ロシアはどうですか。サッカーは男の子が習う習いごとですか。女の子はサッカーは習いませんか。」 学「サッカーは男の子が習う習いごとです。」 進「ロシアの習いごとも同じですね。ほかの習いごとはどうでしょうか。先ほどみんなが出した習いごとについて考えましょう。」 ・いくつか出た習いごとを 1 グループ 3~4 個ずつに分ける 進「グループ①はピアノとサッカーと習字、グループ②は水泳と。。。」 進「ロシアにない習いごとは、日本人実習生に聞いてください。」←ホワイトボードなどに【サッカーは男の子が習う習いごとです／サッカーはどんな人が習う習いごとですか】など文型を書いておく。 ・それぞれの習い事のイメージを付箋に書いて貼っていく ・5 分から 10 分</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一般的 金持ち 小学生／中学生 元気な 強い／弱い 何歳くらい 賢い これらをあらかじめ付箋に書いておくが、サポートーはより分かりやすい言葉に変えて、その下に書く 例： 一般的な→たくさん的人が習う 金持ち→お金をたくさん持っている人 賢い→頭のいい人
10 分		<p>・全体でシェアする 進「みなさん、できましたか。ひとグループずつ発表してください。」 学「ピアノは女の子が習う習いごとです。、、、」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「サッカーは男の子が習う習いごとです。」の文型を使う。

25分	<ul style="list-style-type: none"> ・動画を作る <p>進「ありがとうございます。最後に、動画を撮影します。今日学んだことを家族や友達に紹介するためです。日本語とロシア語で発表してください。ひとグループ 2分です。その前に、セリフを考えて、練習してください。内容は、日本の習いごととロシアの習いごとの紹介とどのような人が習っているかの二つです。10分でセリフを考えてください。その後5分練習してください。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本語とロシア語」 <p>「①日本の習いごととロシアの習いごとの紹介②どんな人が習っているか」紙に書いてはる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブトピック 1 やサブトピック 2 & 3で使用したワークシートや紙を見ながらやるように促す。 ・もし動画撮影が不可なら、発表だけにする。
10分	<ul style="list-style-type: none"> ・全体を見て、終わっていないようだったら時間を増やす。 <p>進「みなさん終わりましたか。ではグループ①から順に撮影します。</p> <p style="color:red;">→準備のできたグループから順に撮影</p>	
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の振り返りとまとめ <p>進「みなさん、どうでしたか。ロシアにもおもしろい習いごとがありますね。知らなかったです。私もロシアの習いごとを習ってみたいと思いました。今日はありがとうございました。」</p>	

3年生1回目の教室活動

渡部 汐里

1. 3年生1回目教室活動の概要

2018年9月13日(木)の1限目(8:30-10:05)に3年生1回目の授業を行い、参加した学習者は6人だった。

今回、私が取り上げたトピックは「冬の過ごし方」だ。当初の教案におけるサブトピックは、「冬の困りごと」「防寒対策」「風邪の予防と治療法」だが、実際の教室活動では、「日本とロシアの冬」「冬の困りごと」「防寒対策」に変更した。

私が冬の過ごし方をトピックとして選んだ背景には、ロシアでの留学経験がある。約1年間、シベリアにあるクラスノヤルスクで生活しており、その中でも特に印象に残ったのが冬の寒さだった。真冬には-40度近くにも達するクラスノヤルスクで、どのような衣類が必要なのか、どのように冬の寒さを乗り越えればいいのか等、多くの疑問を抱いていた。そこで、ロシアの長くて寒い冬を乗り越えるための方法や知恵をたくさん知りたいと思い、会話活動のトピックとして冬の過ごし方を取り上げた。更には、この活動で手に入った情報がこれからロシア留学をする学生の何か手助けになればとも思った。

続いてサブトピックを選ぶ際には、ロシアの冬の過ごし方に関してどんなことを知りたいか、ロシア人に聞きたいかを他の実習生からも意見をもらい、それらを踏まえて考えた。私自身が1番知りたかったことが、防寒対策のためにどんな服装をした方がいいのかということだったので、「防寒対策」というサブトピックを選んだ。また、他の実習生から出た民間療法、風邪の予防策なども興味深く、寒い冬を乗り切るための方法を知るうえで重要な話題だと判断し、「風邪の予防と対策」もサブトピックとして選んだ。この二つのトピックを結びつけるために、「冬の困りごと」というトピックを設定した。

2. 教案を作成するまでの学び

以前、国内実習で30分程度の教室活動案をチームで考えたことはあったが、90分間という長い時間の教室活動を考えるのは今回が初めてだった。進行役としての自分の役割、セリフだけでなく、教室活動を助けてくれるサポートの役割やセリフ、更には学習者の反応も考えるという点で、教案作成は豊かな想像力が必要となる作業だと感じるとともに、何の教材も使わず一から教案を作ることには、多くの労力と時間が必要だということも身をもって経験した。

準備期間中、何度も先生や実習生から教案に関する助言をもらい、そこで学んだ教案作成で大切なポイントが2つある。

一つは、語彙導入の際に用いる教具とその使い方だ。「防寒対策」で、衣類の語彙を導入するために、名刺サイズのカードの表に衣類の写真、裏にその衣類の名称を載せた。ただ衣類の写真と名称を載せたプリントを渡す手段もあったが、カードの方が自由自在な使い方ができる。例えば、脱衣の動詞(「着る」「履く」「被る」など)ごとに衣類カードを分類する確認や、

写真を見て名称を当てるゲームなど考え方によって多様な使い方ができる。また、今回の授業では、語彙の習得を一番重視しているわけではない。あくまで、大切なのは会話であることを忘れてはいけない。

二つ目は、やりとりがうまれる活動だ。最初、私はただロシア人の意見を聞くことに重点を置いており、自分たち日本人の意見や情報を教案にほぼ盛り込んでいなかった。しかし、これでは、ただ日本人からロシア人への質問攻めとなり、やりとりは生まれない。そこで、進行役とサポートーがまず自分のことについて述べてから、学習者の意見を聞く流れを組み込んだ。

また、何度も相談する中で、「日本とロシアの冬」の違いを知るためのトピックを 1 番初めに加えることにした。なぜなら、その後の活動を曖昧なものにしないためには、日本とロシアでは冬が異なる(例:外気と室内の温度差、湿度と冬の寒さなど)ということを共有する必要があったからだ。

3. シミュレーションで気づいたこと

毎回、自分が担当する授業の前に 1、2 時間のシミュレーションがあった。自分の教案の流れとサポートーの役割を全体で共有し確認していく中で、このまま教案通りの活動を行うと大幅に授業時間を超えてしまうことに気付いた。内容を詰め込み過ぎた。2 年生 1 回目の授業を終えており、どの活動も意外と時間がかかることを知っていたため、多すぎる活動から何を省くか、どうやって活動を短縮するかを悩んだ。結局、シミュレーションの時間内には考えがまとまらなかつたので、学習者の日本語能力によって使い分けられるよう、2 つの案を当日までに用意することとなった。このように、同じ教案でも様々な状況を想定して、いくつかの活動の流れパターンを用意することも大切だ。また、状況に応じては、作り込んだ教室活動でも切り捨てる覚悟が必要である。

4. 教室活動での学び(うまくいったこと、いかなかつたこと)

いざ、授業が始まるとあつという間の 90 分だった。

当日は時間を配慮して、サブトピックの「風邪の予防と治療法」を削り、1 番知りたかった「防寒対策」を残すことにした。

授業を終えてうまくいったと思った点は、学習者一人一人に声をかけて発言を促せたことと、「防寒対策」のはじめに授業の目的を伝えたため、学習者から意見が出やすかつたことだ。

一方で失敗したなど感じた点は、一つの活動に時間がかかり過ぎたこと(指示の不明確さ、時間配分)と文型、新出単語の提示がうまくできておらず、ただ会話をするだけの活動になってしまったことだ。活動の指示のときに、サポートーにも学習者にもうまく伝わらず、グループで違うことをやっている場面もあった。また、活動開始の前に「5 分間話します。」等何も言わずに始めてしまったせいでグダグダとした活動になってしまった。その結果もあり、全体的にただ話すだけの学ぶことの少ない授業となってしまったと感じている。

5. 振り返り

授業後の振り返りで自分の不十分だったところがたくさん浮き彫りになった。

- ・サポーターの意見をグループ内だけで、全体に共有していない。
- ・授業全体を見る気配り(ワークが終わっていないグループを無視し次に進む、会話が少ないグループのヘルプをしない)
- ・全体共有ができていない。グループを超えたやりとりがなかった。
- ・板書や言葉の説明(板書してもすぐ消す。どういう目的でその文字を書いたのか。乾燥という言葉の説明に苦戦)

また、自分の話し方への指摘もあった。これは、正直人から言われないと気付かなかった。

- ・話すときの文節の区切り方(私:ロシアは寒いです⇒◎:ロシアは寒いです)
- ・普通体で話す(私:服を買った⇒◎:服を買いました)

日本語を学ぶ学習者は、教師、ましてや日本人の使う日本語は正しいお手本だと強く思っている。そのため、学習者の日本語に影響を与えやすいことを頭の隅に置きながら、自分の日本語を意識してコントロールする必要があることを学んだ。

【資料】教室活動案

教室活動案(3年生・第1回) 赤字は実際に行った際の変更点

9月13日(木)15:55~17:30 3年生① MAX10⇒6人

トピック	冬の過ごし方
学習項目	1. 冬の困りごと 実際⇒1. ロシアと日本の冬 2. 防寒対策 2. 冬の困りごと 3. 風邪の予防と治療法 3. 防寒対策
学習目標	いろいろなアドバイスの表現を学ぶ
コミュニケーション目標	寒い冬を乗り越えるための知恵を共有しよう
教具・教材	タイマー 1. 日本地図、ロシア地図*4枚 日本の冬の風景(実習生それぞれの地方の積雪量とか)、 付箋、色ペン 2. 絵カード(衣類)*3セット 写真A4(私の冬の服装)、ヒートテック 3. 絵カード(症状イラスト、日本語、オノマトペ)*3 マスク、ワークシート*10+4 4. A3用紙(25枚)、テープ

冬の困りごと(25分)

活動の分類	活動の目標	教材の使い方・活動内容	注意すべき点
自己紹介 (1分)	この授業の目的を伝える	進:「皆さん、こんにちは。」 「私は2年前に、ここクラスノヤルスクでロシア語を勉強していました。もちろん、長く寒い冬も経験しました。 日本の冬は12月、1月、2月の3か	

		<p>月間です。ロシアの冬は何月から何月ですか。」</p> <p>学:「10月から3月まで」</p> <p>進:「半分が冬ですね。ロシアの冬は日本の冬とは違います。ロシアの冬で困ったことがたくさんありました。そこで、皆さんのアドバイスが欲しいです。</p> <p>今日話したこと、知ったことはこれからロシア留学を考えている日本人学生に紹介したいと思っています。」</p>	<p>ワークシート配る ⇒忘れたため、 A3用紙と付箋 で対応</p>
ウォーミングアップ (10分)	日本の冬の地域性 日本の冬に関する理解を深める	<p>進:「まず、私は岐阜出身です。岐阜の場所しっていますか。日本の真ん中にはあります。冬になると1番寒いとき、0度くらいです。</p> <p>(写真:雪道道路)見てください。私の町はあまり雪が積もりません。すぐ解けます。」</p> <p>「今日は私以外にも3人の日本人が皆さんと活動します。」</p> <ul style="list-style-type: none"> サポがグループ内で冬のことを発表 <p>進:「では今から、グループにいる日本人が自分の出身、または昔住んでいたところの冬について話します。わかったことは付箋に書くかメモしてください。⇒学習者ではなく、サポーターが付箋に書き留める。</p> <p>あとで、他のグループの人々に話します。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各チームあり 日本地図使う 写真使う
日本とロシアの冬の地域性を共有 グループワーク	グループ分け 3つのグループ (サ1:学2) グループワーク (2分)	<p>「今日は私以外にも3人の日本人が皆さんと活動します。」</p> <ul style="list-style-type: none"> サポがグループ内で冬のことを発表 <p>進:「では今から、グループにいる日本人が自分の出身、または昔住んでいたところの冬について話します。わかったことは付箋に書くかメモしてください。⇒学習者ではなく、サポーターが付箋に書き留める。</p> <p>あとで、他のグループの人々に話します。」</p>	<p>サポの発表 (1分)</p> <p>場所 日本 地図で示す</p> <p>冬の気温 冬の特徴</p> <p>雪の多さ 寒さ 地域特有の 防寒、冬対策 (写真あり)</p>
	全体シェア (5分)	<p>進:「では、それぞれのグループの人々がわかったことを聞いてみましょう。また、他のグループの人は、わかったことを付箋に書いて⇒(同上)日本地図に貼っていきましょう」</p> <p>牧さんチームから。牧さんはどの地域について話しましたか。」</p> <p>学:「石川です。」</p> <p>進:「他のグループの皆さん、石川はどこですか。見つけてください。」⇒サポー</p>	<p>牧さん 石川県 雪が多い 靴の金具 消雪パイプ</p> <p>加藤さん 北海道 寒い 雪が多い スキーウェア</p>

		<p style="color: red;">ターが石川県を赤ペンで囲う</p> <p>進:「牧さんの話を聞いて分かったことはなんですか。」</p> <p>学:「冬は雪が多いです」</p> <p>進:「この写真(除雪車の写真)は、何ですか。教えてください。」</p> <p>学:「除雪車です。道の雪を片付ける車です。」</p> <p>他 2 人も同様に</p>	<p>登下校 除雪車</p> <p>森さん 愛知県 雪が少ない 雪かきスコップ 融雪剤</p>
	<p>ロシアの冬 グループ (2 分)</p> <p>全体シェア (1 分)</p>	<p>「では、次はロシアの冬について簡単に説明してください。一番寒い地域、温暖な地域、雪の多い場所、少ない場所などグループの日本人に教えてください。付箋に情報を書いて地図に貼ってください。2 分間です。」</p> <p>学:ロシア地図を使って、冬の地域性を紹介、特徴をかいだ付箋をはる</p> <p style="color: red;">⇒ロシア全体ではなく、クラスノヤルスクのみに絞る</p> <p>・グループ一つ選んで、簡単な発表</p>	<p>なかなか進まなかつたら、サポから質問、サポが付箋に特徴記入</p> <p>「一番寒いところはどこ」「雪が多いところはどこ」「温暖なところ」</p>
グループ ワーク ワークシート に記入 (14 分)	<p>冬の困りごと、 大変なことを 知る</p> <p>会話見本 (2 分)</p> <p>単語確認</p>	<p>・自身の困りごとを述べる</p> <p>進:「冬は雪かきも大変ですが、雪が積もると電車が動かなくなります。大学に行けないので困ります。」</p> <p>・サポーター1 人に振る(時間あれば全員)</p> <p>進:「サポさんは冬どんなことに困りますか」</p> <p>サポ:「服を着替えるときに寒いので困ります。」</p> <p>進:「わかります。朝も部屋が冷えているので、着替えるとき寒いですね。」</p> <p>・学生ワークシートに取り組む</p> <p>進:「皆さんには、冬に困ること、大変なこ</p>	<p>困りごと:家(寒い。暖房が利くまで時間がかかる。暖房のつけすぎで頭くらぐら。朝、部屋が寒くて布団から出たくない) 服装(重ね着しすぎて大変)・交通(ちょっとした積雪で電車止まる)・食べ物・体調(しもやけ、風邪) 除雪車ないから</p>

	(2分)	とは何ですか。ワークシートを見てください。 そこに5つの困りごとの例を出しました。まず、分からない言葉があれば、近くの人と確認してください。(1分待ちます)もし、分からない言葉があれば、質問してください。」	雪解け大変 愛知:大雪の準備がないから、やばい 冬の困りごと事例 ・スマホのバッテリーがすぐなくなる ・交通渋滞 交通マヒ ・雪かきが大変 ・体調を崩しやすい ・道が凍って危ない
	個人ワーク(1分)	「1分間、自分がこれら5つの困りごと、大変なことに当てはまるか考えてください。当てはまれば、丸を書いてくださいね。」	
	ワークの確認(1分)	・ア～オまで、該当者に手を挙げてもらう 進:「1分経ちました。これから聞きます。ア、が当てはまる人は手を挙げてください。」 同様に続ける。 ⇒WSがないため、あらかじめA3に書いた質問:「交通渋滞」「肌が乾燥する」「朝起きられない」	
	グループワーク(4分)	・例以外も考えてもらう(グループで) 進:「それでは、これらの例以外にも、皆さんのが困ること、大変なことがあるか考えてください。あとで2、3個意見を聞きます。4分グループで話しましょう。」	詰まっていたら、サポも教えてあげてください
	全体シェア(4分)	・全体でシェア(グループ2、3出してもらう) 進:「では、でてきた考えをA3に書いてください。2、3個書いてください。」 ・集めて前に貼る 「Aグループからはこんな意見が出ました。皆さん、当てはまりますか。当てはまる人は挙手！」	
	次のトピックへの導入	進:「私がロシアにいたとき、大変だったことが3つあります。「防寒対策」と「風邪予防」「治療法」です。今日はこの二つ	・A3用紙を3枚(1グループ3枚)配る

		<p>について皆さんとお話ししたいと思います。」</p> <p>⇒「防寒対策」のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防寒対策と風邪予防板書または貼る 	(A4用紙3枚 に書く 漢字+ルビ)
--	--	---	--------------------------

防寒対策(19分)

語彙導入 (服装) (5分)	「防寒対策」 意味 (2分)	<p>進:「では、まず防寒対策について話しましょう。防寒対策はどういう意味だと思いませんか。○○さんわかりますか。」</p> <p>進:「知っている漢字はありますか。」</p> <p>進:「寒はさむい、防は防ぐという意味です。寒さを防ぐための方法のことを防寒対策と言います。」</p> <p>進:「ロシアの冬は部屋の中がとても暖かいです。しかし、外はとても寒いです。なので、ロシアにいたとき、冬の服装を考えるのが難しかったです。</p> <p>皆さん、防寒できる服装について教えてください。」</p> <p>「これからカードを配ります。表には写真、裏には名前が書いてあります。」</p>	着る 上の 服類、ワンピ 履く ジーンズ、 靴下、タイツ、 靴類 被る ニット帽 巻く マフラー する 手袋、 耳当て マフラー ・付箋にサポーターが書いて、 机に貼る(漢字と ルビで) サポーターも 手伝う
	衣類の単語 ・着衣の動詞 確認(3分) グループワーク	<p>グループごとに絵カード配布</p> <p>進:「皆さんは服を着るときに使う動詞何を知っていますか。「着る」以外で。」</p> <p>これらのカードを「着る」「履く」「被る」「巻く」「する」に分けてください</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに分ける(2分) ・サポートー答え合わせ(1分) <p>⇒必要ないと判断し、カードを渡すだけ</p>	
冬の服装 (13分)	ワークの導入 (2分)	<p>日本での服装写真を見せる</p> <p>進:「これは2月の服装です。友達とお出かけしたときの服装です。上は、長袖Tシャツ、分厚いコートを着ています。中は、ヒートテックを着ています。ヒートテックはこれです。温かくなる素材でできている下着です。多くの日本人が防寒のために着ています。」</p>	重ね着の違い 屋外と屋内の気温がロシアと日本では違う セントラルヒーティング

		<p>ます。</p> <p>そして、下は、スカートとタイツを履いています。短いブーツも履いています。</p> <p>防寒のために、分厚いコートを着て、タイツを履くようにしています。中にはヒートテックも着るようになっています。」</p>	
・個人ワーク (3分)		<p>進：「皆さんは冬どんな服装ですか。ワークシートを見て、自分について書いてください。今、スマホを持っている人はいますか。スマホの中に冬の服装の写真がある人はどのくらいいますか。もしあれば、スマホで写真も見て、書いてください」</p> <p>・ロシア人にもスマホで写真があれば見せてもらいながら説明してもらう。</p>	<p>・サポーターも書き込む</p> <p>写真がない人は普段の服装を思い出して書いてもらう。</p>
グループ (5分)		<p>進：「では、グループの中で一人がまず自分の服装を説明してください。写真があれば、見せてください」(1分)</p> <p>進：「では交代してください。(1分)」をあと3回</p> <p>進：「今から5人目の人が発表です。5人目がないグループは、これから全体シェアで発表する人を一人決めてください」</p>	<p>・サポーターから見せる</p> <p>4人グループ ＊2</p> <p>5人グループ ＊1</p>
全体シェア (3分)		<p>進：「これから、グループの中で一人発表してください。」</p> <p>進：「ロシアの服はとても温かく思います。では、最後に“防寒対策”的に欠かせないものは何ですか。1番の防寒のためのポイントは何ですか」</p> <p>・1グループずつ聞く。全体シェア</p> <p>実際の授業はここまで終了</p>	<p>・全グループ</p> <p>一人発表</p>

風邪予防と治療法(27分)

導入+語彙確認(5分)	風邪の症状が分かるか確認	<p>進：「次は風邪予防。風邪予防の意味が分かりますか。」</p> <p>学：「…」</p> <p>進：「風邪は病気のことです。予防は</p>	<p>鼻水が出る、咳が出る、頭が痛い、熱がある、のどが痛い、おな</p>
-------------	--------------	---	--------------------------------------

		<p>前もって防ぐことです。つまり、病気にならないように気を付けていること、していることです。」</p> <p>進：「私は、クラスノヤルスクにいたとき、2回風邪をひきました。冬でした。」</p> <p>鼻水が出て、頭が痛かったです。いつもなら2日で治るのですが、クラスノヤルスクの風邪は1週間、治りませんでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラスト、日本語、オノマトペカードを使って絵合わせ(3分) <p>進：「カードは3種類 イラストと症状の名前とオノマトペが書いてあります。例えば、このカードは鼻水と書いてあります。鼻水のイラストはこれ。もう一つ、鼻水のオノマトペは「ずるずる」です。このようにグループでカードを集めください。熱はオノマトペはありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・答え合わせ(1分) 	<p>かが痛い、寒気がする</p> <p>例) 鼻水の絵 + 鼻水 + ずるずる 咳 + こんこん、 こほこほ 頭痛 + がんがん 腹痛 + ずきずき 寒気 + ぞくぞく のどの痛み + いがいが 熱 + ?</p>
予防(7分) (グループ)	導入(1分) グループ (6分)	<p>マスクをする</p> <p>進：「皆さんこれ何か知っていますか。」</p> <p>学：「マスクですか？」</p> <p>進：「はい、そうです。日本人の必需品マスクです。」</p> <p>進：「私は風邪をひかないように、出かけるときや寝るときにマスクをします」</p> <p>「皆さんは風邪予防のために何をしますか。それぞれのグループの日本人に聞いてみてください。そのあと、皆さんのお手本も教えてください」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループでサポーターが自分の予防法を言う(1分) ・学生書いて、発表(4分) 	<p>・マスクもってく</p> <p>サポ：予防法を2つほど考えてください。</p> <p>A3 * 3 付箋は A3 に</p>

		<p>サポート者が付箋に書き留める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体にシェア(1分) <p>進:「どんな方法がありましたか?」それぞれのチームに1人聞く</p> <p>学:「帽子をかぶる」</p> <p>進:「頭を冷やさないことは、大切な風邪予防だと思います。」</p>	<p>貼ってもらう 終わったら 集める</p>
治療法 (15分)	<p>ウォーミングアップ(3分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬を飲む以外の答えも欲しい 	<p>進:「風邪の予防法が分かったので、次は治療法について話しましょう。治療法の意味は分かりますか。」「病気を治すための方法のことです」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の民間療法○×クイズ(3分) <p>「さて、簡単なクイズを3つ用意しました。</p> <p>今から3つの風邪の治療法を言います。日本の治療法として正しいと思ったら○、違うと思ったら×をお願いします。</p> <p>①日本ではのどが痛いとき、焼いたねぎを首に巻くと良いと言われている○</p> <p>②日本では熱があるとき、キャベツを頭の下に置いて眠ると良いと言われている ×(南ア)</p> <p>③風邪をひいたとき、にんにくのネックレスを首に巻くと良いと言われている。 ×(ロシア)</p> <p>③は本当ですか?」</p>	<p>・と言われています</p> <p>時間なれば省く クイズはA3用紙に書く A3*3</p>
日本人サポート個人の治療法 (3分)	グループワーク(5分)	<p>進:「これら3つの方法が本当に効果的なのはわかりませんが、これらの昔からある治療法を「民間療法」と言います。</p> <p>私の家では、お腹が痛いときはリンゴとおかゆだけ食べます。おなかに優しいので」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポに当てる(全員) <p>「サポさんは～とき、どうしますか。」</p>	<p>・サポート自身の治療法も言う(一人、2、3個)</p>

	全体シェア (4分)	<p>「面白いですね。 では、次は皆さんの治療法を教えてください。皆さんの家ではどんな治療法がありますか。どんな食べ物がいいですか。どんな薬が効きますか。先ほど渡した症状カードの中から二つ選び、それぞれの症状の治療法を考えてください、そして紙に書いてください」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・得出た案を全体にシェア <p>進：「どんな意見がありましたか。森グループは何を選びましたか。」</p> <p>学：「熱です。」</p> <p>進：「熱があるとき、どのようにしますか。」</p> <p>学：「はちみつを食べます」</p> <p>進：「それは薬をのむよりもいい治療法ですね」</p>	グループで症状を二つ選ぶ
--	---------------	---	--------------

日本人に向けてロシアの冬を乗り越えるためのアドバイス(19分)

文型導入 (4分)	アドバイスの表現を知る	<p>進：「皆さん、たくさんの情報ありがとうございました。では最後に今まで話し合ったことをまとめましょう。もう一度言います。これからロシア留学を考えている日本人学生にこれらの情報を紹介したいです。ロシアの冬を過ごすためのアドバイスとして」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生に知っているアドバイスの表現を聞く <p>「アドバイスするときにどんな日本語が使えますか」「皆さんのが知っている表現を教えてください」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もしでなかつた場合出す。 <p>「これから 5 つのアドバイスの表現を紹介します」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイスの強弱を大まかに分ける <p>学生やサポーターと確認しながら</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイスの表現(強～弱)を板書(か紙に書いて貼る) (否定形)なければなりません (辞書形)べきです (た形)ほうがいいです/(辞書
--------------	-------------	--	--

		<p>「1 番強いアドバイスの表現はどれだと思いますか。」</p> <p>「～なければならない」です。</p> <p>「では、1 番弱いアドバイスの表現はどれだと思いますか。」</p> <p>「～みてください。」です。</p>	<p>形)といいです (て形)ください。 (て形)みてください。 ・板書が難しい場合は A3 に書きこむ(近くのサポートに協力してもらう) A3 10 枚</p>
グ ル ー プ (15 分)	情報をまとめ るワーク説明 (1 分)	<p>・学生がうえの表現を使って、それぞれの困りごと(防寒対策、風邪予防、治療法など)に対するアドバイスを A3 用紙にまとめる</p> <p>進:「では、ワークシートを見てください。冬の服装と風邪予防と治療法についてアドバイスを考えましょう。そのアドバイスは絶対なのか、とてもおすすめなのか、少しおすすめなのか考えて、上の表現を使って紙に書いてください。森さんのグループは防寒対策、牧さんのグループは風邪をひかないための予防法、そして加藤さんは風邪の治療法について書いてください。」</p>	<p>A3 用紙</p> <p>・風邪予防法チームはあまり予防法のときに時間がなかったので、それぞれのチームで書いた付箋を渡してそれを参考にしてもらう</p> <p>各グループ 6~8 枚</p>
	個人で考える (2 分)	<p>進:「まずは、個人でどんなアドバイスができるか考えてみましょう。また、そのアドバイスがどのくらい重要、大切なのかも考えましょう。それが絶対なのか、した方がいいのか、しないよりはした方がいいのかも考えて、表現を使い分けましょう。</p> <p>絶対、とても重要なものは上に 重要度が低い、あまりないものは下に書きます。」</p>	
	グループで考 えて、紙にまと める(7 分)	<p>進:「次にグループでシェアしてください。」</p> <p>「今から、ペンと紙を配ります。出てき</p>	

	全体シェア (5分)	<p>たアドバイスを紙に書いてください。 重要度が分かるように、工夫をしてください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き終わった紙から集めて前に貼る ・それぞれの困りごとに分けて黒板に貼って、全体でシェア <p>進：「それでは、冬の服装から見ていきましょう。」</p>	
最後		<p>進：「今日は本当に疲れ様でした。 今日は、防寒対策、風邪の予防と治療法について新しいことをたくさん知ることができました。とても役立つ情報ありがとうございました。皆さんからもらった情報で、少しでもロシア留学に不安を感じている日本人学生を安心させたいです。</p> <p>今日はありがとうございました。これで終わります！</p>	

悔いの残った、初めての教室活動

森 早貴子

1. 教室活動の概要

私は2018年9月14日(金)に3年生2回目の授業を担当した。テーマでは「習いごと」を取り上げ、サブトピックで「子どもの頃にやっていた習いごと」、「人気の習いごとイメージ」、「将来子どもにやらせたい習いごと」の3つについて話し合った。教室活動案の作成段階では学習者を10人と想定していたが、当日は7人の学生が参加してくれた。

私自身、子どものころから現在まで習字を習っており、ロシアの習いごとについて知りたいと思い、このトピックを選んだ。そして、将来自分の子どもにやらせたい習いごとについて紹介し、理由や意見を述べができるようにすることを学習目標とした。

2. 教室活動案の作成

最終的なトピックは「習いごと」となったが、教案作成のはじめの段階ではトピックを「色とジェンダー」にしていた。日本では「男の子は青、女の子は赤」というイメージを持つ人が多いがロシアではどうなのか、非常に興味を持っていた。しかし、サブトピックを何にするか考えるものの、なかなかアイデアが浮かばなかった。それに加え、自分はジェンダーに対して確固たる意見や経験を持っていないことに気づいた。私自身が「語れるもの」を持っていなければ教室活動はできないという指摘を受け、私にとって身近な話題である習いごとをトピックに教案作成を始めた。教案作成では、トピックで話せることと学習項目を結びつけることが非常に難しかった。

教案作成で工夫した点は2つある。1つは教室活動の流れである。教室活動案全体の流れとして、まず学習者の経験を引き出す目的でウォーミングアップでは習いごとの導入、そして最初のサブトピックで子どもの時にやっていた習いごとについて話すようにした。その後、それらの習いごとのイメージを全体で共有し、それを踏まえたうえで子どもにやらせたい習いごとを考えられるような流れにした。

そしてもう1つは使用する教材である。メインの内容に入る前のウォーミングアップではワークシートを使用して、習いごととは何なのか、習いごとにはどんなものがあるかを理解できるような導入にした。また、グループ内の話し合いが活発になるよう、習いごとのイメージを考えるワークでは付せんに「男」、「金持ち」、「賢い」などのように、その習いごとはどういった人が習うのかを書くように工夫した。

教案作成をとおして、「妄想力」を豊かにすることの重要性を学んだ。私は、教室活動を具体的にイメージして作ることができていなかった。そんななか、先生に「もっと妄想力を豊かにして！」と言われた。教室活動の経験が少なく、日本語非母語話者とともに教室活動をしたことがない中で、具体的にイメージすることはとても難しかった。教案作成者、教室活動の進行役という立場で教案を作成することは重要なことだと思う。しかし、それだけではなくもっと学習者の立場に立って、そして教室で何が起きるのか「妄想力」を豊かにして教案を考えることも同じ

ように大切だということを学んだ。

3. 教室活動の実施

授業が始まる前に、学習者とサポーターの座る位置を、学習者の性格や仲良し度、積極性などを考慮したうえであらかじめ決めておいた。学習者の座る場所を指定しておいたことで、学習者はグループワーク時に話しやすかったのではないかと思う。

この教室活動のトピックは「習いごと」であり、キーワードとなる言葉であるが、習いごとと学校の部活動の違いや、学習塾は習いごとなのかなど、「習いごと」とは何かを学習者にきちんと説明できていなかった。そのため部活動や一度だけ経験したことのあることでも習いごととして認識させてしまった。教案作成の段階で何が習いごとなのかを決めておかなければならなかつた。

授業をしていて一番感じたことは、学習者とサポーターへの「申し訳なさ」である。教室活動をしていても学習者はとてもつまらなさそうに見えたし、サポーターも何をやっていいかわからない様子だった。教室全体が重い空気に包まれ、まるで葬式をやっているかのような雰囲気だった。本来、会話活動は学習者、サポーター、進行役が会話をとおして互いのことについて知り合い、学習目標やコミュニケーション目標を達成するものだが、それが全くできていない教室活動であったと感じた。ただ教案に従って活動を進め、決められたグループワークを行うだけの機械的な教室活動となってしまったことが、一番の反省する点であった。

4. 教室活動の振り返り

振り返りでは、自分が無意識にしていたことに気づき、次回への改善点をいくつか発見することができた。この教室活動での一番の反省点は、つまらない機械的な教室活動をしてしまったことであるが、その原因は 2 つあると振り返りをとおして分かった。

1 つは、学習者に興味を持っていなかったことである。もちろん学習者自身やロシアについて興味を持っていなかったわけではないが、自分の意識が、学習者ではなく教案そのもの、そして教室活動を終えることに向けられていたのだと気づいた。

もう 1 つは「学習者」「進行役」「サポーター」という言葉にとらわれすぎていたことである。普段、実習中や授業では「学習者」「実習生」「教師」「サポーター」という言葉を使っており、教室活動ではそういった「見えないフィルター」をとおして自分以外の人を見てしまっていた。しかし教室にいるのはあくまでも「人」であり「個人」であることに気づくことができた。これらの気づきを今後に活かしていきたいと思う。

5. 全体を通して

3 年生 2 回目の授業は進行役として初めての教室活動であった。そして教案の手本もなく、教室活動のマニュアルもない中での教室活動の準備と実施に非常に不安を感じていた。いま考えると、おそらくその不安と緊張が顔に出てしまい、それがそのまま教室の雰囲気になってしまったのだと思う。加えて、教室活動での学習者との交流を楽しむことができていなかつた。先述のように、学習者に興味を持つことは非常に大切なことであるが、それと同様に教室活動の「その場」を自分自身が楽しむことが重要であろう。

全体を通して、反省点も多くあったが、その分学びもたくさんあった。初めて進行役を務めた教室活動はあまり良いものではなかったが、この経験を次に活かしていきたい。

【資料】教室活動案

教室活動案(3年生・第2回) 赤字は実際に行った際の変更点

3年生(2回目) 10人 → 実際の活動では7人

学習目標	将来自分の子どもにやらせたい習い事について紹介し、理由や意見を述べることができる。
コミュニケーション目標	日本とロシアの習い事について知り、将来子どもにやらせたい習い事を考える。
教具・教材	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味・スポーツシート ・習い事タスクシート ・付箋 ・A3用紙

ウォーミングアップ(10分): 趣味やスポーツについて

活動の分類	活動の目標	教材の使い方・活動内容	教具・教案 注意すべき点
2分	自己紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 <p>進「こんにちは。私は愛知県立大学の森早貴子です。4年生です。大学では外国のことを勉強しています。大学の授業が終わったらあと、習字を習っています。毎週月曜日です。習いごとです。今日はみなさんと習いごとについて話します。最後には子どもに習わせたい習いごとをグループで考えてもらいます。」</p> <p>→習いごとの説明について、「音楽、スポーツ」「何回もならうこと」と説明を追加した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙、文型をA3用紙に書いておき、テープで黒板に貼る。 →文型の提示はしなかった。
2分	語彙・文型の確認 「Vたことがありますか。」	<p>進「サポーター①さん、習字をしたことがありますか。」</p> <p>サ①「はい、あります。」</p> <p>進「サポーター②さん、サッカーをしたことがありますか。」</p> <p>サ②「はい、あります。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者4人(2人ペア×2)+サポーター1人 ・学習者6人(2人ペア×3)+サポーター2人
3分		<ワークシートを配る>	・学習者がわから

2分		<p>進「ここに習いごとの絵があります。2人でペアになってください。絵の横に、習いごとの名前、やったことがあるとき、○を書いてください。やったことがないとき、×を書いてください。ペアの人のことも書いてください。3分時間を取ります。」</p> <p><学習者2人ペアになりワークシートを記入></p> <p>進「次は4人グループで、ペアの人について紹介してください。」</p>	<p>ない語いがあれば実習生がサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習者4人1グループ×2(サポートー1人ずつ入る) ・学習者2人+サポートー2人→学習者は7人だったため、学習者2人+サポートー1人が2グループ、学習者3人+サポートー1人が1グループとなつた。
----	--	---	---

サブトピック1:子どものときにやっていた習い事(20分)

活動の分類	活動の目標	教材の使い方・活動内容	注意すべき点
3分	<p>「Vていました。」</p> <p>「～したら～ができるようになります。」</p> <p>「～てしましました。」</p>	<p>進「私は子どもの時、習字を習っていました。6歳から22歳まで習っていました。」</p> <p>進「サポートー①さんは、習字をしたことありますね。いつ習字をしましたか。」</p> <p>サ①「子どものころです。私は6歳から10歳まで習字を習っていました。」</p> <p>進「習ってよかったですことはありますか。」</p> <p>サ①「字をきれいに書けるようになります。習字をならつたら、字をきれいに書けるようになります。」</p> <p>進「では反対に、習ってよくなかったことはありますか。」</p> <p>サ①「習字の墨(インク)が服についてしました。」</p> <p>進「サポートー②さんは何を習っていましたか。」</p> <p>サ②「私はピアノを習っていました。3歳か</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「習う」をA4用紙に書いて黒板に貼る。 ・文型を黒板に貼る

		<p>ら 12 歳まで習っていました。」</p> <p>進「ピアノを習ってよかったですことはありますか。」</p> <p>サ②「ピアノを習ったら、少しピアノが弾けるようになります。」</p> <p>進「逆に、習ってよくなかったことはありますか。」</p> <p>サ②「たくさん練習をしなければいけませんでした。」</p>	
3 分		<p>「～しなければなりません。」</p> <p>「～するのに役に立ちます。」</p> <p>進「私は習字と英語を習っていました。習字を習ったので、今は文字をきれいに書けるようになりました。きれいな文字を書けると、手紙を書くのに役に立ちます。友達や家族は私の文字をほめてくれるので、とてもうれしいです。私は英語もならっていました。英語を話せるようになったので、アメリカを旅行するのに役に立ちました。サポートーさん、どんな時に習い事が役に立ったと感じましたか。」</p> <p>・サポートーに聞く</p>	
2 分			
2 分	グループ	<p>進「みんなさんの習いごとについて教えてください。まずワークシートに自分の習いごとについて書いてください。その後、ペアで話し合います。」</p> <p>＜ワークシートを配る＞</p> <p>記入時間 3 分、たりなかつたら 1~2 分追加</p> <p>・サポートーはホワイトボードを使って言葉のサポート</p>	
5 分		<p>進「みなさん書けましたか。次は 2 人ペアになってください。ペアの人に自分が習っていた習いごとを紹介してください。習いごと、何歳から何歳まで、習ってよかったですことと良くなかったことの 4 つを紹介してください。」</p>	
5 分		<p>進「サポートー①さん、私は習字のほかに</p>	

		<p>語を習っていました。英語を話せるようになつてよかったです。ほかに英語を習つていてよかったですがあると思いますか。」</p> <p>サ①「そうですね。友達がたくさんできると思います。」</p> <p>進「次は3人と4人グループになってください。まず、みなさんが習っていた習いごとをグループの人に教えてください。グループの人の習いごとのよいところ、良いところを考えて、ワークシートに書き足してください。」→ペアの変更は行わなかつた。</p> <p>・サポートーはA4用紙に習いごとの名前、よかったです、よくなかったことをまとめます。習いごと一つにつき一枚にまとめる。</p>	<p>・まず、サポートーが学習者1人に「学習者①さんは何を習つていましたか。」と聞く。学習者①答える。次は、学習者①に、「学習者②さんに何を習つていたか聞いてください。」と学習者②に質問するよう促す。それを繰り返す。</p> <p>・よかったです、よくなかったこと、なかなか出てこないようだったら、サポートーが考える。</p>
--	--	--	---

サブトピック2:人気の習い事/イメージ(25分)

活動の分類	活動の目標	教材の使い方・活動内容	注意すべき点
5分	<p>「へは、(修飾節)Nです。」「へだと思います。」</p>	<p>進「教室に通っている生徒はほとんど女の子です。男の子は少ししか習っていませんでした。」</p> <p>進「サポートーさん、どんな人が習字を習っていると思いますか。」</p> <p>サ「習字は女の子が習う習いごとだと思います。」</p> <p>進「学習者さん、ピアノはどんな人が習っていると思いますか。男の子だと思います</p>	

		<p>か、女の子だと思いますか。」</p> <p>学「女の子だと思います。ピアノは女の子が習うならいごとだと思います。」</p> <p>進「ありがとうございます。習いごとにイメージがあると思います。それぞれの習いごとについて、どんな人が習うのか、何歳ぐらいの人が習うのか、意見を出してください。付箋に書いて、A3 の紙に貼ってください。これ以外にも思いつく人は、付箋に書き足してください。」</p> <p>「～だと思います。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブトピック 1 で出た習いごとを 1 グループ 3~4 個ずつに分けて考えてもらう。 <p>進「グループ①は習字とスイミングとサッカー、グループ②は、、、」</p> <p>→グループの学習者がやったことのある習いごとについてそれぞれ考える。</p> <p>進「ロシアにはない習いごとで、どんな人が習うのか分からぬときは、実習生に聞いてください。」</p> <p>・10 分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会話が始まらないときはサポートーが始める。 <p>【イメージのカテゴリー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男／女 ・上品な ・一般的 ・金持ち ・小学生／中学生 ・元気な ・強い／弱い ・何歳くらい ・賢い ・サポートーは A3 用紙に習いごとの名前を書き、その紙にイメージを書いた紙を貼っていく。 <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共有が終わったら黒板に張り出す。
10 分		<p>進「ではほかのグループに話し合ったことを教えてください。まずはグループ①から。習い事と、どんな人が習う習いごとを発表してください。」</p>	
5 分			

サブトピック 3: 将来子どもにやらせたい習い事(35 分)

活動の分類	活動の目標	教材の使い方・活動内容	注意すべき点
5 分	「私は～が／を V たいです。」	<p>進「いろいろな習い事がありますね。私はフィギュアスケートを習いたいです。サポートーさんは何を習いたいですか。」</p> <p>サ「私はピアノを習いたいです。」</p> <p>進「いろいろな習いごとを知りましたね。みなさん習いたい習いごとがあると思います。グループで習いたい習い事について 2 分間話し合ってください。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートーは学習者に「学習者さんは何を習いたいですか。」と聞く。聞かれた学習者に、次の学習者に質問するように言う。
10 分		進「習ってみたい習いごとについて話しま	

		<p>したか。今日は習いごとの話をしました。ほとんどの人が子どもの頃に習いごとを習っていました。では、みなさんの子どもに何を習わせたいですか。私は子どもに習字を習わせようと思っています。習字を習うと、文字をきれいに書けるようになります。サポートーさんはどうですか。」</p> <p>サ「私は子どもに習わせるべき習いごとベスト3を作りましょう。この上の表を見ながら、グループで話し合ってください。このあと、習いごとベスト3を発表してもらいます。」</p> <p>→時間の都合上、グループで「子どもに習わせるべき習いごとベスト3」ではなく、自分が習ってみたい習いごとについてそれ考えた。</p> <p>以下の活動は時間の都合上行わなかった。 進「表は埋めましたか。では発表の準備に移ります。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A3用紙を配る <p>進「発表するときには、ベスト3の習いごとを選んだ理由を言ってください。発表は2分以内です。A3用紙に話すことをまとめてください。5分取りますので始めてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体を見て時間を増減 <p>進「みなさん準備はできましたか。それではどのグループから発表しますか。発表する順番を決めてください。」</p> <p>ひとグループ2分まで</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文型の提示
5分		<p>進「表は埋めましたか。では発表の準備に移ります。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A3用紙を配る <p>進「発表するときには、ベスト3の習いごとを選んだ理由を言ってください。発表は2分以内です。A3用紙に話すことをまとめてください。5分取りますので始めてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体を見て時間を増減 	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートーはグループに入つて学習者が困っていることがあれば助ける。 ・文型を1つは使うように促す。
10分		<p>進「みなさん準備はできましたか。それではどのグループから発表しますか。発表する順番を決めてください。」</p> <p>ひとグループ2分まで</p>	

		進「みなさん、ありがとうございました。発表を聞いてそれぞれの習いごとの良いところが分かりました。みんなの発表を参考にして、私も子どもに習わせる習いごとを決めます。」	
--	--	--	--

学習者とのコミュニケーションを深める

北川 華

1. 教室活動の概要

教室活動は、2018年9月17日(月)10時15分から11時50分の間に実施した。対象学習者は3年生5名であった。「私のお気に入り」をメイントピックとして、「買い物をする際に重視すること」および「その重視する点に合致する品物やお店」をサブトピックとして取り上げ、会話活動を開催した。2年生で実施したサブトピックでは、個人の経験といった具体的な事実について話す活動を行ったのに対し、今回の教室活動では個人の意見やこだわりという、より抽象的なことについて話す活動を行った。買い物という場面は、身近でありながらも個人のこだわりが強く現れるだろうと考え、これらのサブトピックを設定した。

今回の教室活動では、「買い物をする際に重視することについてお互いに意見交換しながら、それぞれが持っているこだわりについて理解を深める」ことを学習者とのコミュニケーション目標として設定し、教室活動案を作成した。

2. 教室活動案の作成について

今回の教室活動案は2年生のものと比べて、具体的な活動をイメージして作り込むことができなかった。取り扱うトピックが抽象的であることや作成時間が足りなかつたためか、活動案は非常に曖昧でざっくりとした内容になってしまった。また、グループワークの活動におけるサポートの行動や役割も十分に考えられず、担当した実習生にとって負担に感じたかもしれない。

準備不足の教室活動案となってしまったが、活動の冒頭部分であるウォーミングアップからサブトピックへ入っていく際の流れは唐突にならないように意識して作成した。ウォーミングアップでは、「もらったプレゼント」をトピックにそれぞれの学習者が今までもらったプレゼントの中でお気に入りのものを紹介した。その後、今度は自分で買ったものについて話すという導入から、サブトピック「買い物をする際に重視すること」および「その重視する点に合致する品物やお店」で活動を開催した。個人のこだわりを話すにあたっては、「服」、「文房具」、「化粧品・スキンケア」という3つの具体的なテーマを設定し、学習者が話したいと思うものを選んでもらうようにした。そうすることにより、学習者の意欲の向上および活動内容の具体化を図った。

3. 教室活動を終えて

今回の教室活動の実施にあたっては、2年生の教室活動での反省点を改善して取り組むことを意識した。例えば、「お話ししましょう」や「～してあげてください」などの必要以上に丁寧な表現は、学習者にとっては複雑で分かりづらくなるため、使わないように心がけた。

先述のように、今回の教室活動案は非常にざっくりとした内容であったため、グループワークの活動がセンター任せになってしまった。実際にグループワークを行っている様子をうか

がうと、サポーターによって行っている活動が少しずつ異なっていた。また、配布した「品物プリント」には3年生用の教材であることも考慮し、品物の名前は記載せずイラストだけを載せた。語彙確認のための単語リストとしてではなくグループワークの際に自由に使ってもらいたかったのだが、サポーターへの指示が曖昧になってしまった。もっと教材を使用する目的や効果を考えておくべきであったと思う。

ウォーミングアップでは、導入部分で文型をいくつか提示し、学習項目を意識した活動をすることができた。しかし、以降のサブトピックにおける活動では、ウォーミングアップで提示した文型を使って話す様子があまり見受けられず、せっかくの文型提示を活かすことができていないと感じた。

4. 教室活動実施後のふりかえりから学んだこと

今回の教室活動では、他のふりかえりの機会でも何度か話題となっていた「学習者の発表に対するフィードバック」を意識して行うようにした。自分自身ではできたと思っていたが、ふりかえりの際に「フィードバックのバリエーションを作っておくと良い」というご指摘をいただいた。自分が行ったフィードバックを思い返してみると、「何か聞きたいことはありますか」と他の人に質問するか、自ら学習者に質問するかの2パターンであった。これら以外のフィードバックの方法として、「皆さんには、○○さん(発表者)と同じ意見ですか」、「ロシアの人は、皆どのように考えますか」という質問の仕方を教えていただいた。いつも同じパターンでフィードバックを行うのではなく、いくつかバリエーションを持っておくと良いことを学んだ。

5. 全体を通して

3年生の教室活動としては3回目であったが、今回はいつもと別のクラスの学習者に対して行ったため、実質は初回の活動となった。初対面の相手(実習生)に対して、自身のこだわりを話すことは精神的な負担を感じさせる活動になってしまったかもしれないが、発表を聞く中でロシアのお店や学生の買い物事情について少し知ることができた。何回か一緒に活動した後であれば、もう少し踏み込んだこだわりについて話し合うことができたかもしれない。また、グループワークの様子を見ていると、設定した3つのテーマでは話しやすさのレベルがそれぞれ異なっていたように感じたため、テーマを考え直し、再度同じ教室活動を実施してみたいと思った。

【資料】 教室活動案

教室活動案(3年生・第3回) 赤字は実際に行った際の変更点

担当者	北川 華
参加者	学習者 10名(実際の活動では5名) サポーター3名
トピック	私のお気に入り サブトピック1:自分で買ったもの(1)買うときに注意すること サブトピック2:自分で買ったもの(2)おすすめの品物・お店

学習者とのコミュニケーション目標	買い物をする際に重視することについてお互いに意見交換しながら、それぞれが持っているこだわりについて理解を深める。
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が買い物をするときに重視することについて、意見を述べることができる。 ・おすすめの品物を根拠づけて紹介することができるようになる。
教具・教材	<ul style="list-style-type: none"> ・ネームホルダー×10 個 ・お気に入りのプレゼント(実物)(掲示用) ・ワークシート×10 枚 ・服/文房具/化粧品の文字とイラストの紙(掲示用)×1 枚ずつ ・マスキングテープ×1 個 ・服/文房具/化粧品の品物プリント×10 枚ずつ ・付箋(正方形のもの)×3 ブロック ・ペン×3 セット ・A3 用紙×15 枚(予備含む) ・ユニクロのロゴマーク(掲示用)×1 枚 ・名刺サイズのカード×60 枚程度 ・ロシアのお菓子売り場の写真(掲示用)※2 年生で使用したもの

ウォーミングアップ：もらったプレゼント 15 分

活動の分類	活動の目標	教具の使い方・活動内容	教具・教材 注意すべき点
00 自己紹介 導入 文型提示 (5 分)	<ul style="list-style-type: none"> ・もらったプレゼントのなかでお気に入りのものを紹介する。 →身近なものについて話すこと で話しやすい雰囲気を作る。 ・今回のテーマである「お気に入り」を理解してもらう。 ・「私のお気に入りは、～です。」 ・「～という特徴 	<p><学習者 3 人(1 グループは 4 人): サポーター 1 人のグループを作っておく(計 3 グループ)。></p> <p>→実際の活動では、学習者が 5 名であったため、学習者 2 人(1 グループは 1 人): サポーター 1 人のグループ(計 3 グループ)となつた。</p> <p>・あらかじめグループをこちらで考えておき、教室に来たら学習者に指示をする。</p> <p>→これまで一緒に教室活動を行ってきた学習者のクラスとは別のクラスが対象となったので、実施しなかつた。</p> <p>進行役:「皆さん、こんにちは。私</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の授業の最後に、お気に入りのプレゼントの写真を撮ってくるよう学習者に伝えておく。 ・ウォーミングアップはペアで行うが、サブトピック 1 でグループワークを行うためあらかじめグループの形態にした。 ・グループを作る際、学習者の組み合わせに注意する。 <p>【お気に入りのプレ</p>

	<p>があります。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「[理由]ので、気に入っています。」 ・「～点が気に入っています。」 	<p>は、愛知県立大学の北川華です。今日は、皆さんのお気に入り(favorite)のものについて話しましょう。皆さんは、今までにどんなプレゼントをもらったことがありますか。(お気に入りのプレゼントを見せながら)私のお気に入りのプレゼントは、このポーチです。高校生のときに、友達からもらいました。誕生日のプレゼントです。(実際に開けながら)大きく聞くという特徴があります。(A3用紙を見せながら)入れたものが取り出しやすいので、気に入っています。」</p> <p>→A3用紙(「[理由]ので、気に入っています。」)を黒板に貼る。</p> <p>・サポーター(2人程度)にふり、再度モデル文を提示する。</p> <p>進:「サポーター①さんのお気に入りのプレゼントは、何ですか。」</p> <p>サポ①:「私のお気に入りのプレゼントは、△△です。…。～点が気に入っています。」</p> <p>→A3用紙(「～点が気に入っています。」)を貼る。</p> <p>進:「なるほど。では、サポーター②さんはどうですか。」</p> <p>サポ②:「私のお気に入りのプレゼントは、□□です。…。～点が気に入っています。」</p> <p>進:「2人とも素敵なプレゼントですね。では、皆さんのお気に入りのプレゼントは何ですか。今からグループまたはペアで話します。」</p> <p>・ワークシートを配布する。</p> <p style="color:red;">→事前にグループごとに配布物を</p>	<p>ゼント(実物)(掲示用)】</p> <p>【A3用紙(文型提示用)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私のお気に入りは、～です。」 ・「～という特徴があります。」 ・「[理由]ので、気に入っています。」 ・「～点が気に入っています。」 ・サポーターには、お気に入りのプレゼント(実物 or 写真)を用意するよう伝えておく。 ・当てるサポーターは、学習者3人のグループ担当者にする(この後のペアワークでの人数調整のため)。 <p>【ワークシート×10枚】・相手のプレゼ</p>
--	---	---	---

ペアワーク (5分)		<p>分けておいたので、サポートーに「①のプリントを配ってください」という指示をした。</p> <p>進：「このプリントに書き込んでください。5分間、時間をとります。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアになってお互いに紹介する。 ・学習者が4人のグループは時間が余ると思うので、2組とも終わったらサポートー③が自分のことについて話す(サポートー③のこともワークシートに書いてもらう)。→人数が少ないため、省略 ・サポートーは、プレゼントの語彙や表現などの手助けをする(手持ちのホワイトボードや付箋を使う)。 	<p>ントについて書き込む表。【付箋(正方形のもの)×3枚】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習者が3人のグループは、2人が聞き手に回る。 ・学習者が4人のグループはペア×2組で行う。
共有(5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分ではなく、相手のプレゼントについて他の人に紹介する。 ・「○○さんのお気に入りは、～です。」 	<p>進：「では、皆さん。今度は他の人に相手のお気に入りのプレゼントについて紹介してください。(学習者が)4人グループのところは、もう片方のペアに話してください。3人グループのところは、もう片方の3人グループの人に話してください。自分のことではなく、他の人のことを紹介してください。」</p> <p>→実際の活動では、学習者が1人ずつ自分のプレゼントについて話す活動になった。</p>	
15			

サブトピック1：自分で買ったもの(1)買うときに注意すること 20分

活動の分類	活動の目標	教具の使い方・活動内容	教具・教材 注意すべき点
15 導入 文型提示 (8分)	<ul style="list-style-type: none"> ・「もらったもの」 →「買ったもの」へのシフトを示唆する。 	<p><学習者3人(1グループは4人):サポートー1人(計3グループ)</p> <p>進：「これまでには、皆さんが人からもらったプレゼントについて話しま</p>	<p>【服/文房具/化粧品の文字とイラストの紙×1枚ずつ】</p>

	<p>した。では、今度は皆さん自分で買ったものについて話しましょう。テーマを3つ用意しました。1つ目は服です(サポートーが紙を見せる)。2つ目は文房具です(同様)。3つ目は化粧品、スキンケアです(同様)。今日は、これらについて皆さんのお気に入り、おすすめ(recommendation)のものをまとめていきたいと思います。3つのなかから1つ興味のあるテーマを選んで、県大生のところに集まつてください。」</p> <p>・集まつたら、「服/文房具/化粧品に関する語彙プリント」「付箋」「ペン」「A3用紙」を配布する。</p> <p>→「付箋」「ペン」「A3用紙」は、事前に配布済みであるため省略 →進:「②のプリントを配ってください。」</p> <p>・「[普通体]とき、～。」 ・「[動詞辞書形・ない形]ようしています。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートー3人は事前に担当テーマを決めておく。 →服/文房具/化粧品の文字とイラストの紙はそれぞれ担当サポートーが持つておく。 ・場合によっては、人数調整が必要である。 <p>【服/文房具/化粧品の品物プリント×10枚ずつ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラストのみのプリント ・おすすめの品物を考えるときの語彙提示として使用する。 <p>→まずは学習者それぞれの担当テーマのプリントのみ配布し、授業の最後に他のテーマのプリントを渡す。</p> <p>【A3用紙(文型提示用)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「～ようにします。」 <p>【マスキングテープ×1個】</p> <p>【付箋(正方形のもの)】</p> <p>【ペン×3セット】</p> <p>【A3用紙×3枚】</p>
--	---	--

グループワーク(12分) 35	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物の際、自分が重視するポイントについて意見を言う。 	<p>てください。7分間ります。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習者は、自分が服/文房具/化粧品を買うときに注意することを話す。 ・話が広がらなければ、服/文房具/化粧品に関する語彙プリントを参考して「ペンを買うときはどうですか」、「消しゴムを買うときはどうですか」のように分けて聞いてみる。 ・開始から7分たったところで、一度声をかけて次の指示を出す。 進:「皆さん、注意することはたくさん出ましたか。では、今度はそのなかから、大切だと思うことを3つから5つグループで話し合って選んでください。」 ・A3用紙に、大切だと思うことが書かれた付箋を貼って発表の準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サポーターは、担当テーマで必要な語彙を適宜提示する。 ・オノマトペも提示して良いか? 例)スラスラ書ける ・学習者が話したことを付箋に書き出していく。
--------------------	--	--	--

サブトピック2:自分で買ったもの(2)おすすめの品物・お店 45分

活動の分類	活動の目標	教具の使い方・活動内容	教具・教材 注意すべき点
共有導入(6分)	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの品物を買うときに大切なことを紹介する。 	<p>進:「皆さん、大切だと思うことを3つから5つ選ぶことができましたか。では、服のグループ、文房具のグループ、化粧品・シンケアのグループそれぞれで大切だと思ったことを紹介してください。まずは、服グループの皆さん。服を買うとき、大切だと思うことは何ですか。」</p> <p>服グループ:「服を買うとき、大切だと思うことは…」</p> <p>進:「なるほど。～なんですね(コメントする)。では、文房具グループの皆さんはどうですか。」</p>	

		<p>文房具グループ：「文房具を買うとき、大切だと思うことは…」</p> <p>進：「そうなんですね。～ですよね（コメント）。じゃあ、最後は化粧品・スキンケアグループの皆さんはどうですか。」</p> <p>化粧品・スキンケアグループ：「化粧品を買うとき、大切だと思うことは…」</p> <p>進：「おおー、～なんですね（コメント）。」</p>	
グループワーク① (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物の際、自分が重視するポイントを満たすような品物(お店)について考える。 ・実習生がクラスノヤルスクで買い物をするときのおすすめを学習者に教える。 	<p>進：「皆さんが大切だと思ったこと、私も大切だと思いました。今度、実習生の皆と買い物に行こうと思っています。でも、どのお店に行けばいいのか分かりません。皆さんのが大切だと思ったことにピッタリなものはどこで買うことができですか。A3の紙に品物とお店を書いてまとめてください。この紙は、ロシアに行く日本の大学生に見せたいと思っています。10分間ります。」</p> <p>・大切だと思ったことを満たす品物(+買えるお店)を挙げ、A3用紙にまとめる。品物は簡単にイラストで描いてもらう。</p>	
共有①(6分)		<p>進：「では、皆さん。何をどこで買えば良いのかグループごとに紹介してください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループ発表する。 ・お店が大学から近いかどうか質問する。交通手段(バスや電車など)についても聞いてみる？ 	
グループ	・お店で実際に	進：「じゃあ、私たちはクラスノヤル	

ワーク② (10分)	使える表現について紹介してもらいう。	<p>スクにいる間に、そのお店へ買い物に行きたいと思います。でもロシア語が全然分かりません。なので、皆さんに、店員さんと話すときに便利な表現を教えてもらいたいです。お店に行ったときに何を言いますか。グループで話し合って、カードを作ってください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに「名刺サイズの白紙」を20枚程度ずつ配布する。 ・お店に行ったとき、店員とどんな会話をするのか。実際にお店で使える表現を学習者に教えてもらう。 ・サポートーは、日本のお店で使える表現を紹介する。 	
共有②(8分)		<p>進:「では、皆さん。店員さんと話すときに便利な表現を教えてください。服グループの皆さん、お店で服を買うときに、何を言いますか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループ発表する。 <p>進:「皆さんからたくさんロシア語を教えてもらいました。買い物に使いたいと思います。」</p>	<p>【名刺サイズのカード×60枚程度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表に日本語、裏にロシア語(+カタカナルビ)を書いてもらう。 ・表に書く日本語の表現は簡単なもので良い(学習者が理解できる表現)。
75			

+ α : お土産でおすすめのお菓子 15分

実際に行った活動では、時間が押していたため「+ α : お土産でおすすめのお菓子」の活動を行わなかった。

活動の分類	活動の目標	教具の使い方・活動内容	教具・教材 注意すべき点
導入(3分)	<ul style="list-style-type: none"> ・お土産としておすすめのロシアのお菓子を教えてもらう。 	<p><学習者3人(1グループは4人): サポートー1人(計3グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おそらく時間が余ってしまうため、残りの時間を使って私たちが 	<p>【ロシアのお菓子売り場の写真】 (2年生で使用したもの)</p> <p>【ペン×3~4セット】 【A3用紙×3~4</p>

		<p>お土産で持つて帰るのにおすすめのお菓子を教えてもらいたい。</p> <p>進：「今度、買い物をするときにお土産も買いたいと思います。私がアルバイトをしているお店の人に、ロシアのお菓子をあげたいです。」</p> <p>・ロシアのお菓子売り場の写真を提示する。</p> <p>進：「スーパーには、お菓子がたくさんありました。でも、お土産にピッタリなお菓子が分かれません。なので、皆さんにおすすめのお菓子を教えてほしいです。アルバイトのお店には、15人の人がいます。たくさん入っているお菓子を買いたいです。グループで1つ、おすすめのお菓子を紹介してください。」</p>	<p>枚】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ、予算や配る人数、誰に渡すのかなど条件を設定する。
グループワーク (7分)		<ul style="list-style-type: none"> ・グループ1つおすすめのお菓子を選んで、A3用紙にまとめる。品物は簡単にイラストで描いてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お菓子の名前は、ロシア語+カタカナでルビを書いてもらう。
共有(5分) 90		<p>進：「では、お土産にピッタリなお菓子を教えてください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループ発表する。 	
まとめ		<p>進：「今日は、買い物をするときに大切だと思うことについて話し合いました。そして、皆さんにおすすめする品物とお店を知ることができました。買い物をするのが楽しみです。日本にも、おすすめのお店がたくさんあります。日本に来たら、ユニクロというお店がおすすめです。(ロゴマークを提示する)値段が安い服を買うことができます。ぜひ、行ってみてください。」</p>	<p>【ユニクロのロゴマーク】</p>

有意義な教室活動とは

牧 茜里

1. 実施内容

進行役2回目の教室活動として、3年生の教室活動(第4回)を2018年9月20日(木)8:30~10:05に実施した。今回参加してくれた学習者は6人、実習生は進行役1人とサポートー3人の合計4人であった。メイントピックは2年生(第1回)と同じ「食事」に設定し、サブトピックを①日本の飲食店の種類②クラスノヤルスクのおすすめ飲食店にした。このサブトピックに設定した理由は、学習者が日本で飲食店を選ぶ際に役立つ情報を提供したいという思いがあったことと、私自身がクラスノヤルスクでの実習生活で飲食店についての情報がほしかったからである。また2年生(第1回)のメイントピックを選んだ理由に重なるが、身近なトピックであることや学習者がたくさん情報を持っているトピックであることもこのサブトピックを選んだ理由だ。

今回のコミュニケーション目標は、「日本の飲食店の種類について知る」「クラスノヤルスクのレストランを紹介する」に設定した。またこれらのコミュニケーション目標を達成するための学習項目として、「(名詞)なら～だ。」「～し～し、～だ。」を用意した。

2. 教室活動案の作成

今回の教室活動案は、次のような構成にした。

- ①サポートー1人と学習者数人のグループ×3を作る→日本の飲食店(IファミリーレストランIIファストフードIII喫茶店)について学習者がサポートーにインタビューする。(サポートー3人はI~IIIまでそれぞれ別の飲食店を紹介する。)→グループを再編成し、新しいグループで自分がインタビューした飲食店について紹介する。→それぞれ出し合った飲食店の特徴からIファミリーレストランIIファストフードIII喫茶店の共通点をまとめる→全体シェア
- ②実習生が知りたい飲食店のテーマを発表(ロシア料理の食べられる店など)→自分の詳しいテーマの実習生のもとへ行きグループを作る→おすすめ飲食店MAPと紹介冊子を作る

まず①では、先生のご指導のもと学習者同士のインフォメーションギャップを作り出すワークを用意した。また、3年生であるから最後は少し難しへに各飲食店の共通項をディスカッションするというワークにした。②は、教室活動案の最終版まで学習者でおすすめ飲食店MAPのテーマを決めてもらう予定にしていたが、事前打ち合わせで実習生の希望をとりいれることに変更した。こうすることで、よりこのワークの意味を作り出すことができ、また実習生とのリアルな交流を生み出すことができるからだ。また2年生(第1回)と同じように、日本センターに寄付する紹介冊子を作り、愛知県立大学から来た交換留学生にもおすすめするというタスクを課した。

3. 教室活動の実施

今回の教室活動は、この日までに学んだ内容を意識して挑んだ。例えば、学習者とのイン

タラクションを作り出すために、「飲食店とは～です。」と進行役が一方的に説明するのではなく、「日本でご飯を食べるとき、どんなお店に行きましたか。」と問い合わせ「これらのお店を飲食店といいます。」という流れを狙った。(しかし、実際には日本で飲食店に行った経験が学習者にあまりなくうまく実行できなかった。)また、学習者同士の会話を促すことも意識した。全体シェアの際にも、1つのグループで出た話題をピックアップし全体に問いかけるなど試みた。話し方についても、ゆっくり話すことを心がけて教室活動に挑んだ。

しかし、授業のための準備不足と焦りで今回もたくさんの失敗をしてしまった。まず、①のワークでサポーターが飲食店を紹介する際に提示する写真を用意できず、スマートフォンで画像を提示してもらうことにした。各店舗のメニューも提示してもらったのだが、スマートフォンのサイズでは小さく見えにくい結果になってしまった。また大きなミスとして、各ワークでの全体シェアを忘れることが何度かあった。例えば日本の飲食店を紹介するワークで、回転ずしなど各グループ盛り上がる話題があったにもかかわらず、それを全体でシェアせずにグループ再編成に移行してしまった。全体シェアが不足していたことで学習者によっては情報不足の人が生じてしまう結果となってしまった。それから、教室活動案の作成では各ワークに取り組む意味を持つてもらえるよう工夫したにもかかわらず、どうして日本人に日本の飲食店の種類についてインタビューするのか、目的を伝えることを忘れてしまった。私としては、「日本に来て飲食店を選ぶ際、価格や雰囲気など参考にしてほしい」という意図があったが、この目的を伝え忘れてしまつたために、学習者のやらされている感が強くなってしまった。そして、焦りから文型の提示は教室活動全体を通して忘れてしまった。

これらのミスは、事前のシミュレーションと準備で防げたものであったと感じる。準備不足のせいで悔いの残る教室活動となってしまった。

4. ふりかえりで学んだこと

ふりかえりでは、前述したミスのほかにもいくつかの指摘をいただいた。まず、前述したミスによる焦りから「ありがとうございます」を多用してしまっていたことだ。「ありがとうございます」は教室活動をしめくくる言葉であり進行役が学習者の会話の流れをさえぎることになる。また、各ワークでの活動時間を学習者に伝え忘れていたこともふりかえりで気がついた。

それから、教室活動で困ったときに使える技術も学んだ。例えば3の初めに記述した、「日本でご飯を食べるとき、どんなお店に行きますか。」と聞いて返事がなく困ったならば、まず自分のことを話してみて「ここに行ってみてほしい」とおすすめするというものだ。今後、教室活動をするときにぜひ実施したいと思った。

5. 今回の教室活動で感じたこと

今回の教室活動で私は、学習者が全く楽しんでいないように感じた。理由の1つは、前述したワークの目的を伝え忘れ、学習者のやらされている感が強くなってしまったことだと思う。そしてもう1つは、振り返ってみて気がついたが、この教室活動のコミュニケーション目標が全て私自身の興味からスタートしてしまっていたことだ。教室活動を進める間、一部の学習者の活動意欲が下がっていくことに進行役をしていて気がつき、意識的に指名したりましたが、結局

解決することができずに終わってしまった。学習者の学びたいことに寄りそった目標を設定し、学習者自身が教室活動に意義を見出せる教室活動を作ることの重要性を痛感した教室活動であった。今回の教室活動を通して、“学習者にとって”有意義な教室活動作ることができるようになりたいと強く感じた。

【資料】 教室活動案

教室活動案(3年生・第4回) 赤字は実際に行った際の変更点

担当者	牧 茜里
トピック	メイン:食事 サブ:①外食のタイミング ②おすすめ飲食店
学習項目	「(動詞普通体)のは～です。」
コミュニケーション目標	日本の飲食店の種類について知る クラスノヤルスクのレストランを紹介する
教具・教材	A3用紙／ 飲食店の写真(店内の様子、メニュー例)×9種類 ／インタビューシート+雰囲気の語彙リスト／メモ用紙(特徴をまとめる用、おすすめレストラン用) ／クラスノヤルスクの地図

実際は、紙媒体で写真を用意するのではなく、サポートーのスマートフォンに写真を共有しておき利用した。

活動時間	活動目標	活動内容	留意点
0		グループを作る 学習者3人+サポートー1人×3 学習者4人+サポートー1人×1	事前にサポートーには飲食店3種類の写真(店内、店外、メニュー)渡しておく
3		ファ「みなさんこんにちは。愛知県立大学の牧茜里です。今日は飲食店について話し合いましょう。私が友達と遊ぶときによく行くのは、ガストです。日本の飲食店には種類があります。ガストは、ファミリーレストランという種類です。他には、喫茶店やファストフードという種類があります。今日は、サポートーに日本の飲食店についてインタビューしまし	実際は ・サポートー1人 ・学習者2人×3グループ
5			

20	<p>よう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューシート + 雰囲気の語彙リスト 配布 <p>◎各グループの発話例</p> <p>学習者 1「ファストフードには、どんなお店がありますか。」</p> <p>サ「マクドナルドがあります」</p> <p>学習者 2「マクドナルドはどんなメニューですか。」</p> <p>サ「こんなメニューです。ハンバーガーやジュースがあります。150 円～1000 円くらいです。」</p> <p>学習者 3「出てくるまでに、どれくらいの時間がかかりますか」</p> <p>サ「5 分くらいです。」</p> <p>学習者 1「マクドナルドには、誰と行きますか。」</p> <p>サ「1 人でいきます。友達とも行きます。」</p> <p>学習者 2「マクドナルドには、どんな時に行きますか。」</p> <p>サ「速くご飯を食べたい時に行きます。」</p> <p>学習者 3「マクドナルドは、どんな雰囲気ですか」</p> <p>サ「うるさいです。人が多いです。カジュアルです。」</p> <p>×3 種類(ファストフード、喫茶店、ファミレス)</p> <p>ファ「みなさん、それぞれの種類についてインタビューできましたか。今度は、グループを変えます。新しいグループでインタビューの内容を紹介しましょう。プリントのココを見てください(番号書いてある左上指差しながら)。1 の人はここに、2 の人はここに、3 の人はここに集まってください。」</p>	<p>インタビューシート … 左上に番号 雰囲気の語彙 リスト</p>
----	---	---

		グループ変更 サポートは各店の写真を渡す ファ「では、1 のグループはファストフードについて、2 のグループは喫茶店について、3 のグループはファミリーレストランについて、今から 10 分で特徴を 3 つ決めてください」 特徴についてまとめるメモ用紙 ◎各グループの発話例 サ「値段はどうですか。」 学習者 1「マクドナルドは 150~1000 円です。」 学習者 2「吉野家は 350~500 円です。」 学習者 3「ミスタードーナツは 100 円~400 円です」 サ「他の種類より安いですか、高いですか」 学習者「安いと思います。」 サ「では、出てくるまでの時間はどうですか」 同上で 3 人答える サ「これはどうでしょうか。」 学習者「速いです。」 サ「雰囲気はどうですか」 同上で 3 人答える サ「共通点はありますか」 学習者「カジュアルだと思います」 サ「では、特徴をまとめましょう。ファストフードの特徴は何だと思いますか。」 学習者「速い」「安い」「カジュアル」キーワードに丸をつける スマホのタイマーが鳴る ファ「みなさん、まとめましたか。では 1 のグループから聞いてみましょう。ファストフードに共通するのは何ですか。」	タイマー start ワークシート A3 でまとめる 内容の提示
23			
25	・「(普通動詞体) のは、～です。」		
35			

		<p>学習者「ファストフードに共通るのは、速い、安い、カジュアルです」</p> <p>ファ「ありがとうございます。では 2 のグループ、喫茶店に共通するのはなんですか？」</p> <p>学習者「安い、コーヒー、落ち着くです。」</p> <p>ファ「では最後、3 のグループ。ファミリーレストランに共通するのは何ですか。」</p> <p>学習者「ファミリーレストランに共通するのは、安い、家族、速いです。」</p> <p>ファ「ありがとうございます。ではみなさん、それぞれの特徴が分かりましたか。日本でお店を選ぶとき、参考にしてみてください」</p>	
40			

おすすめ飲食店

活動時間	活動目標	活動内容	留意点
40		<p>「では、今度はみなさんが私達にクラスノヤルスクの飲食店について教えてください。まず、クラスノヤルスクにはどんなレストランがありますか。行ったことのあるレストランを出来るだけ多くこの付箋に書いてください。」</p> <p>付箋を束でグループに配布</p> <p>ファ「書けましたか。ではこれを分けて貼ってください。同じものは重ねてください」</p>	<p>実際は初めにサポートーがどんな飲食店を知りたいかを聞き、それに合わせた MAP を各グループで作成してもらうワークに変更。</p>
41		<p>各グループに A3 配布</p> <p>◎各グループの発話例</p> <p>サ「みなさん書いたものを教えてください。私は○○を書きました。○○は高いです。私は○○に友達と行きました。」付箋貼る</p> <p>学習者 1「私はユルタを書きました。ユルタは安いと高いの間です。私はユルタに恋人といきます。友達とも</p>	<p>A3(友達、恋人、家族、安い↔→高いと書いたもの)★</p>

		行きます。」 学習者 2「私もユルタを書きました。 (重ねて貼る)それから、△△を書きました。 △△は安いです。私は△△に友達と行きます。」 ファ「みなさん、貼れましたか。では今から、私達と他の日本人のため に、みなさんでクラスノヤルスクの飲食店リストを作ってください。作った リストは、日本センターに寄付します。まず、どんなリストがあつたら、 便利だと思いますか。リストのテーマを決めてください。5 分で決めてください。」 ◎各グループの発話例 サ「私は、安くて美味しいお店が知りたいです。あとは、デートに使うお店 にも興味があります。みなさん、ほかにどんなリストがあつたら、便利 だと思いますか。」 学習者 1「速く食べられるお店」 学習者 2「カジュアルなお店」 学習者 3「私は安くて美味しいが良いと思います」 ファ「みなさん、テーマが決まりましたか。では 1 のグループ、テーマは何ですか。」 学習者「安くて美味しいお店のリストを作ります。」→手元にメモ ファ「では 2 のグループ、テーマは何ですか。」 学習者「インスタ映えするお店のリストを作ります。」→手元にメモ ファ「では 3 のグループ、テーマは何ですか。」 学習者「安いお店のリストを作ります。」→手元にメモ ファ「分かりました。では、今からこ	実際の活動内容 ① サポーターに 知りたい飲食店 のテーマを聞く。 ② どのテーマなら 教えられそうか 学習者の希望をとりグル ープ分け ・ケーキが美味 しい店 … サポーター 2 人 学習者 4 人 ・ロシア料理の 店 … サポーター 1 人 学習者 2 人 ③ ★のワーク (飲食店の雰 囲気分け) ④ MAP に付箋 を貼り 併せてリストも 作成
50			
55			
60			A3 で書く内容

		<p>のワークシートを 3 枚配ります。さつき貼ったレストランから、テーマに合うものを 3 つ、(学習者 4 人のグループ指して)このグループは 4 つ選んで下さい。選んだら、それぞれ(ワークシート見せながら)レストランの名前、場所、おすすめのメニューと値段、雰囲気、おすすめポイントをみんなで話し合って下さい。」メモ用紙配布</p> <p>◎各グループの発話例</p> <p>サ「どの 3 つにしますか。」</p> <p>→決めてもらう</p> <p>サ「じゃあまず、○○について書きましょう。」</p> <p>→ワークシート記入</p> <p>(1 枚につき 5 分想定)</p> <p>ファ「みなさん、書けましたか。では、クラスでシェアしてください。まずは、安いお店リスト、紹介お願ひします。1 人 1 枚紹介してください。」</p> <p>A3 に沿って紹介してもらう × 人数</p> <p>ファ「では次、インスタ映えするお店のリストを紹介してください。」</p> <p>同上に全グループ全員 1 回発表</p> <p>ファ「では、今紹介してくれたリストを本にしましょう。表紙をつけてください。」表紙配布</p> <p>ファ「最後に、紹介してくれたお店の場所を地図に貼りに来てください。</p> <p>今からやじるしを配ります。やじるしにお店の名前を書いてください。書けたら、貼りにきてください。」</p> <p>ファ「時間があるときに、行ってみたいと思います。ありがとうございました。」</p>	提示
75		<p>サ「じゃあまず、○○について書きましょう。」</p> <p>→ワークシート記入</p> <p>(1 枚につき 5 分想定)</p> <p>ファ「みなさん、書けましたか。では、クラスでシェアしてください。まずは、安いお店リスト、紹介お願ひします。1 人 1 枚紹介してください。」</p>	A3「～に～があります。～のおすすめメニューは～です。 ～は***ルーブルです。～のおすすめポイントは、～です。」
80			
81			
86			表紙
90			クラスノヤルスクの 地図 & 付箋製や じるし

書物・ネットより現地の情報が有意義

加藤 知宏

1. クリスマス・年末・新年

日本では、年末や新年に行事が大変多い。宗教行事的な習慣と思えるもの(獅子舞、初詣など)もあるが、子どもの頃から毎年繰り返されている習慣なので、全く疑問に思うことなく毎年実行している。では、初めて訪問するロシアでは、人々はクリスマス、年末、新年をどのように過ごしているのであろうか?日本と同じ習慣はあるのか?など大変興味をもった。

そしてロシアの生活関連情報が日本にいるとほとんどなく、ないということが知的好奇心を膨らまし、テーマとして採用することになった。

2. ロシアのことはロシア人に聞こう

教案作成に当たり、図書館のロシア文化コーナーの書物を参照した。またネット検索したりと色々なメディアを通じて調べ上げた。この結果、ロシアでは年末は重要でなく、カレンダー通りに過ごすこと。クリスマスは1月7日であること。新年は1月14日であり、新年の公式行事は14日に行われているという結論にいたった。

シベリア連邦大学にて教室活動を始めた或る日、2年生のロシア人2人と、プロジェクトワークに出掛け、1日の最後に土産店に行く機会があった。その際買ったロシアカレンダーには、1月1日から1月8日までが休日として、他の休日同様青色表示されていた(赤くはありません)。これに驚き、このことを2人に質問した。

「年末は確かにカレンダー通りに土曜、日曜日は休む。12月31日にカウントダウンパーティーを行う若者はどんどん増えている。父母やその上の世代は、年末は静かに家で過ごしているようだ。しかしテレビ番組はカウントダウン関連番組で一杯である。大統領も出演して、来年は良い年になるように話している。そして、1月1日からクリスマスの7日までは国民の休日と規定されている。来年は、7日が土曜日のため8日日曜日まで長い連休になる。長い連休には、家族と離れて暮らしている人たちは家族の元に帰る人が多い。家族と同居している人たちは遠くに旅行に行く人が多い。なぜなら、この期間は、街のスーパー、食事処は休みとなる場合が多いからである。何日も家に閉じこもることはつらい。14日が新年は旧暦のことであり、今は旧暦で行事を行うことは殆どない」と回答をもらった。

まさに日本で情報検索して信じるのではなく、ロシアのことはロシア人に聞けという基本的なことが理解できたと思う。教室活動前に確認できていたので、実際の教室活動では、以下のように導入部分のせりふを変更した。「日本では、クリスマスは12月25日、年末は26日から31日。新年は1月1日であり、3日までを「正月休み」として休む場合が多いです。では、ロシアはどうですか?教えてください」「私のロシアの友人に聞いたところ、年末は休むことなく、12月31日から1月1日にかけ朝までパーティー。1月7日はクリスマスを祝う」事前にわかつて、教室活動が停滞することはなかった。

3. サポーター、学習者に助けられて

教室活動 2 回目のため、丁寧な言葉、まわりくどい言葉を意識してやめ、簡単な言葉を注意して使った。また、県大生にはここから何をして欲しいかを具体的に話し、各グループをまわって確認することもできた。一方で、私の指示を拡大解釈して、方向性の違う会話がなされているグループもあった。もっと簡単な日本語でわかりやすく説明すべきであった。3 年生は日本語の理解力があり、進行役の私に質問が多く、正直に回答していたが、グループ内で解決することも必要であったと考える。

教案の最後は、これからロシアに留学してくる県大生に、ロシアのおススメスポットを教える「新聞」を作成してみようと打ち出した。この作業の作成時間が長くなり、その結果終了時間をオーバーしてしまった。更に、最終授業であり、記念品贈呈や記念写真撮影など、3 年生の提案を充分予想していながらも、授業時間を大幅に超過したことは反省すべきことであった。

このような状況でも、最後まで教室活動を続けられたのは、サポーター役の県大生、3 年生の学習者が、私の日本語を理解し学習を続け、助けていただいたおかげであり、感謝している。

4. 全体での学び

この教室活動は、私にとって 2 回目であった。前回の反省が生かされたこと、全く生かされなかつたことがあり記述する。

生かされたこと

- ・ゆっくり日本語を話し、日本語の説明は具体的な事例をあげ説明すること。
- ・県大生との連携に留意し、一方では、任せっきりでなく各グループの様子を把握すること。

生かされなかつたこと

- ・丁寧すぎる言い回しから抜け出せなかつたこと。
- ・簡単な日本語に徹しきれず、日本人同士の日本語会話表現をしてしまったこと。
- ・学習者の日本語能力の個別判断がうまくできず、理解力のない学習者によりわかりやすい日本語を使えなかつたこと。
- ・自然な会話でなく、アクセントのない平坦な日本語表現を使ってしまったこと。

5. 最後に

初めての日本語教室活動であった。自身の活動をよく反省し、今後の教室活動に活かしていく。クラスノヤルスクにて日本語教室活動を行う意義は、ロシア語がわからない、英語が通じない環境であり、日本語がコミュニケーションをとる唯一言語であるということである。

この環境で教室活動をさせていただいたことに、大変感謝している。

ありがとうございました。

【資料】教室活動案

教室活動案(3年生・第5回) 赤字は実際に行った際の変更点

トピックス	年末・クリスマス・新年
コミュニケーション目標	学習者と実習生(教室活動に参加した)は、互いの年末年始・クリスマスの過ごし方の違いから文化の違いを理解し、共通する考えをみつけることを目標とする。
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 年末・クリスマス・新年から連想できる語彙(食べ物、飲み物、人、場所)を使い、自分のことを説明できる。日本語の連想できる語彙と比較できる。 ロシアのプレゼントを紹介でき、日本のプレゼントと比較できる。(どこで買う、何を買う、プレゼントの値段、アピールポイント)
目標(ゴール)	<ul style="list-style-type: none"> 日本とロシアの年末・クリスマス・新年の過ごし方、習慣について理解し説明できる。 日本とロシアに共通する文化を理解し説明できる。
サブ・トピックス	<ol style="list-style-type: none"> パーテイー プレゼントの選択 クリスマスの過ごし方
教具・教材	<ul style="list-style-type: none"> 日本のカレンダー4枚、 ペン(黒5本、赤5本) 日本の年末風景 7枚 日本のクリスマス風景 7枚 日本の新年(お正月)風景 7枚 新年の風習(お年玉、羽子板など)7枚 単語シート(食べ物)7枚 単語シート(食べ物)No.2 7枚 単語シート(飲み物)7枚 タスク確認シート(年末・クリスマス・新年)20枚 「新聞を作ろう」レジュメ 20枚 県大生向け新聞レイアウト用紙 10枚

年末

時間	活動分野	活動の目標	活動内容(発話例)	教材・注意すべき点
5	アイスブレイク	進行役・ サポーター・ 学習者で 良い関係を 作ってもらう	<p>進行役(以下 P) 皆さんこんにちは。本日の進行役の愛知県立大学4年生カトウモヒロです。私の自己紹介をすると、私は、バドミントンが大好きです。ラケットを握ると性格が変わります。 よろしくお願いします。</p> <p>さて、今日は、日本の年末・クリスマス・新年と、ロシアの年末・クリスマス・新年を比較したいと思います。</p>	学習者の配席に注意 教材: •ネームホルダー •ペン •確認シート
10	ブレインストーミング	年末・クリスマス・新年の順番の 違いを理解する。	<p>P「確認シートをみてください。日本では、クリスマスは12月25日、年末は、12月26日～12月31日、新年(お正月)は1月1日です。 ロシアの暦(こよみ)は違いますよね。暦とは、日付けのことです。 どんな順番になっていますか?</p> <p>では、順番を教えてください。 最初は、年末ですね。12月〇〇日ですね 続いて、クリスマスは、1月7日ですね。 最後に、新年は、1月14日ですね。あり</p>	•確認シート これは旧暦であり、ロシアでも新暦のためちがう。 使用せず。

			<p>がどうございます。 理解できました。</p> <p>では、まず年末について見てみましょう。 日本の年末は、クリスマスの 12 月 25 日以後の 12 月 26 日～31 日です。日本の学校では冬休み期間です。愛知県立大学はこの期間も講義があり、12 月 27 日頃から 1 月 3 日頃までの 1 週間が冬休みです。シベリア連邦大学の冬休みはいつからですか？</p> <p>日本では 12 月 31 日は「おおみそか」といい特別な日です。年末の大掃除をしたあと、皆で「年越しそば」を食べる日です。1 年で蕎麦屋さんが一番忙しい日です。その他何か特別なことをするのでしょうか？</p> <p>県大生で答えてくれる人手を挙げてください はい、あかりさんお願ひします。</p> <p>そうです。「帰省」といって、離れて暮らしている両親の元へ帰る日でもあります。12 月 28 日位～1 月 3 日位の間がこの期間にあてはまります。</p> <p>また、12 月 31 日は、1 年の感謝のため近くの神社にお参りする風習もあります。タブーとしては、新年の料理を 12 月 31 日までに食べると、幸運が逃げると言われています。これは、マナー違反をなくすために大昔のひとが考えたことかもしれませんね。</p> <p>日本の年末風景の写真をみてください。これは東京にある浅草寺の風景です。浅草寺前にある商店街は、1 年の感謝のために訪れた人たちでかなり混雑します。浅草寺にもお参りする人たちでごった返すという言葉を使います。そして、お正月の玄関の飾りであるしめ縄もあちこちで売られています。本当にあわただしいのが日本の年末です。</p>	日本のカレンダー
10	グループトーク	日本とロシアのことを共有しよう	では、ロシアの年末をグループ内で話し合い、日本の年末と共に通すること、違うことを確認シートに書き出してみましょう。今から 10 分時間をとります。	日本の年末風景
15	全体シェア	共有し全体シェアしよう	話し合えましたか。それでは皆に向かって話してください。3 分位でお願いします。	

クリスマス(1月 7 日)、新年(旧正月: 1月 14 日)

時間	活動分野	活動の流れ	活動内容	教材・注意すべき点
5	アイスブレイク	グループを再結成	P「続いて、クリスマス・新年についてお話ししましょう。その前にグループの1人が隣のグループに異動してもらい、新しいグループ	ロシアの「グー、チョキ、パー」がわかりま

			を 作ってください。できればジャンケンしてく ださい。ロシアのジャンケンを知りたいで す。	した
15	ブレインス トーミング	日本のクリス マスを理解 する。	P「日本のクリスマス風景の写真をみてく ださい。クリスマス時期は、日本のあちこち でイルミネーションが設置されます。 東京都中央区銀座では、歩道がイルミネ ーションされ、きれいな街になります。 銀座は会社の事務所や、大きなデパート などがある人が集まる場所ですので増え々 にぎやかになります。 クリスマスは、サンタクロースがトナカイの 引くそりに乗り、子どもたちにプレゼントを 配る言い伝えがあります。そこで 2 番目の 静岡市内の写真のように、街中がサンタ の赤い服を着たひとであふれる時期でも あります。 銀座のようにいたるところでイルミネーショ ンが設置されますが、東北地方の仙台市 は、「森の都」といわれる街ですから、イル ミネーションも盛んです。 では、ここで県大生にクリスマスの過ごし 方を聞いてみます。 渡辺さんは、昨年のクリスマスはどうしまし たか？ 森さんは？ 北川さんは？ 私は、昨年のクリスマスは「ポルトガル」旅 行に行きました。ポルトガルを南から北に まっすぐ上がりました。ファティマを訪問で きたことが一番の思い出です。	日本のクリス マス風景
15	グループ トーク	ロシアとの違 いを出す	ロシアではクリスマスはどのように過ごすの でしょうか。 グループで話し合い「確認シート」に記入 してください。15 分時間を取ります。	
10	全体シェア	全体で共有 する	話し合われた内容を皆に教えてください。 1 グループ 3 分でお願いします。	
15	ブレインス トーミング	日本の新年 とロシアのお 新年の違い	P「続いて、新年についてお話しましょう。 日本の新年(お正月)は、シートをみてくだ さい。 コマは、子どもの遊び道具で、真ん中を 貫く棒を両手でこすり合わせて回して遊 ぶものです。2 つ以上を回して接触させることにより弾き飛ばされると、飛ばされたコ マは飛ばした人のものになるルールがある 地方もあります。 獅子舞は、中に人がはいっており、家を 周り病気をせず健康を願うものです。 雑煮は、お正月に食べる、餅が入ったい わゆる雑炊です。地方により中に色々 山はいっているモノもあります。	日本の新年 (お正月)風景

			<p>お年玉は、大人が子供にあげるこの時期のおこづかいです。</p> <p>門松は、お正月に玄関に飾り付けるものです。</p> <p>凧は、紙で作成し、風で飛ばすお正月の遊具です。</p> <p>日本の新年(正月)風景のシートをみてください これは、お正月のごちそうの例です。どこ の家庭もこんなに豪華な食事を食べるわ けではありません。</p> <p>これは獅子舞ですね。こうやってかまれ て、悪い運気を持って行ってもらう訳で す。</p> <p>初詣の風景です。自宅近くの神社に、今 年1年元気に過ごせるように お賽銭という小銭を放り投げてお参りしま す。</p> <p>最後は、正月行事の京都の蹴鞠大会で す。平安時代の貴族が好んだあそびであ り今も続いております。</p>	説明が長くな ったので省略 しました。
5	グループ トーク	ロシアの新 年と比較 してみる	さて、ロシアの新年はどうですか？グループ内で話しましょう。時間を5分とします。	
10	全体シェア	全体で共有 する	話し合われた内容を皆に教えてください。 1グループ3分でお願いします。	
20	新聞を作 ろう	APU 留学 生向け	<p>これからも、APU 留学生がどんどんやつ てきます。彼ら、彼女らにロシアをしっても らうために「新聞」を作りませんか。是非紹 介したい名所、是非紹介したい美味しい ものが食べられるお店など、グループで工 夫しましょう。</p> <p>1人1枚のレジュメをよく見てかんがえて みてください。 写真でも、パンフレットを貼ってもかまいま せんよ</p> <p>よろしくお願いします。</p>	「新聞を作ろ う」レジュメ 新聞レイアウト 用紙 実施した！！

3. 日本文化紹介



書道うちわ

森 早貴子・加藤 知宏

1. 作成作業プラン

担当者 森 早貴子、加藤 知宏

準備するもの

書道用の道具(筆ペン、筆、墨汁、新聞、下敷き、文鎮、墨汁用の入れ物)、文字の見本、和紙、千代紙、はさみ、のり

2. 活動の流れ

所要時間	手順	注意事項
5分	<p>① 書道用具の説明</p> <ul style="list-style-type: none">・筆ペンはそのままで文字が書けます。・大筆を使うときは、墨汁をつけます。・文字の見本を見て自由に書いてください。・書いてほしい文字があれば、日本人に聞いてください。・千代紙などもハサミできって、糊で貼ってください。 <p>② 注意事項</p> <ul style="list-style-type: none">・墨汁が服につくととれないので、服につかないようにしてください。	<ul style="list-style-type: none">・実際にやってみせる。
15分	③ うちわづくり	<ul style="list-style-type: none">・参加者がひらがなや漢字を書きたい場合は、必要に応じて手本を用意する。



1回目ワークショップ

- ・ 1回につき4人の予定だったが、6人も参加者が来てくれた。たくさんの人気が来てくれてうれしかったが、初めの方はあたふたしてしまったので、次は落ち着いて対応したい。
- ・ 打ち合わせでは1回20分で2つうちわを作る予定だった。しかしそれぞれのブースの進度が違った。そのため早く終わった参加者が何もせずに待っている時間ができてしまった。次回は早く終わった人から次のブースに移動してもらうなど、臨機応変に対応したい。
- ・ うちわに直接筆で文字を書くと文字が歪んでしまったので、次は半紙に文字を書いてうちわに貼るように促したい。

2回目ワークショップ

2回目の日本文化紹介は東先生がいらっしゃらなかつたので、私と渡部さんがイントロダクションとしてうちわの紹介をした。使用するパワーポイントをワークショップの直前に確認して打ち合わせただけだったので少し不安だった。しかし、先生方から全体を巻き込みながらやればいいというアドバイスをいただき、ソポーターの家にうちわはいくつあるか聞くなど、全体でやり取りをしてコミュニケーションをとることができた。また、実際にうちわを使ってみせることや、せんすを使って踊っておどってみせることで、見ている人がうちわの使い方をイメージでき、さらに聞き手の興味を引き寄せることができるのではないか。このように聞き手の視線をさまざまな方向に動かせ、プレゼンする聞き手を飽きさせないような工夫ができるのだと感じた。

2回目のワークショップでは、1回目のワークショップに来た参加者が通訳として書道うちわブースに入ってくれたので、対応しやすかつた。しかし日本センターの職員よりは日本語ができなかつたので、なかなか言いたいことが伝わらなかつた。言葉を言い換える、簡単な単語を使うなどして何とか伝えることができた。

参加者の多くが、日本語が全く分からず、または少しだけ話せるといった人ばかりだったので、コミュニケーションをとるのが難しかつた。日本語が通じない分、ジェスチャーや「ハラショー」などの私がロシア滞在中に覚えた簡単なロシア語を使うことで、少しは自分の思いを伝えることができたと思う。しかし、参加者が熱心に取り組んでいる分、話しかけにくく感じ、なかなか声をかけることができなかつた。自分から積極的に話しかければよかつたと少し後悔している。

前回は1回20分で2つのブースを回り、うちわを2種類つくる予定だったが、それぞれのブースで作製の進度が違つたため、早く終わった参加者を待たせてしまつたり、うちわを1つしか作れなかつたりと、問題がいくつかあつた。この反省を踏まえ、今回の活動では、早く終わった人はほかのブースに移動するよう促した。また、終わつた人にはもう1枚作れるようにうちわを渡した。それによつて、手持ち無沙汰になる人がおらずみんな何かやつてゐる状態にすることができた。

ほかのブースでうちわをつくつていた参加者は、別のブースに移つていた人もいたようだが、書道ブースではとても熱心に練習をしてからうちわに清書する人や始めから終わりまでずっと書道ブースでつくつている人が多く見られた。また、2日とも参加してくれた参加者もあり、書道の人気ぶりがうかがえた。

日本文化紹介をとおして、日本が好きな人や日本に興味を持つてゐる人と交流することができてと

ても良かった。ただ日本語を教えるのではなくて、こういった文化紹介やワークショップで楽しく交流することも必要だと学ぶことができた。

加藤 知宏

1回目ワークショップ

- ・ 書道を担当したが、1人の参加者の作成に時間が掛かり、他の文化紹介に参加者が移動する余裕ができなかった。
- ・ 作成済の参加者に2枚目を渡すことができなかった。1枚に掛かり切り過ぎた。
- ・ 第2回は、時間をはつきり示し、作成目途を明確にしたい。
- ・ 習字の書き方の見本も、第1回以上に多く作成すると同時に、実地でも第1回以上に示したい。
- ・ 第2回では、私自身も他のブースを見学したい。

2回目ワークショップ

第1回では、学習者の作成作業に充分な満足感を与えられなかった。そこで、第2回は、学習者に手本を見せながら、見守りを続けた結果、完成する学習者が続出し、入れ替わるようになった。また、お手本習字や、千代紙貼が第1回以上に作成できたことは、学習者とより多くのコミュニケーションが取れたと考える。コミュニケーションを重点に活動したことは良かった。そして、習字文化が外国においても貴重なものであり、美しいものであることに気づいた。

また、参加者との共同作業を通じて、ロシア語が話せたり聞いて理解できなくても意思疎通ができるということの確認があった。日本語教室活動を通じて、言葉を言葉で説明しないこと、優しい日本語で話すこと、学習者の立場に立って話すことを常に念頭に置いて学習者と接してきた。この活動は言語を超えたコミュニケーションを生むことを実践で確認で來た。前述の気持ちを大切に今後も日本語学習者と共に歩む気持ちを持ち続けたいと考える。



切り絵うちわ

渡部 汐里

1. 作成作業プラン

担当者	渡部 汐里
準備するもの	<ul style="list-style-type: none">・切り絵の図案(花、千鳥、金魚、トンボ、トロ、イルカ、干支)・千代紙、色紙・マスキングテープ・はさみ 3・ホッチキス 2・のり 2・カッター 5・下敷き 3
作業手順	<ol style="list-style-type: none">1. 好きな切り絵の図案と好きな色紙を選ぶ2. 型紙と色紙を重ね、ホチキスで上と下を留める(固定させる)3. カッターを使い、紙を切る。4. 切り終わったら型紙を外す。5. 好みで、切り絵の裏側に色紙を貼り付ける。6. うちわに貼り、はさみで余分な紙を切る。
注意事項	<ul style="list-style-type: none">・カッターが切れやすいので、十分注意する。・利き手でカッターを持ち、もう一方の手は紙を押さえる。・そのとき、カッターが動く方向に手を置かない。・カッターは「手前にひく」ことが基本。外側に向けて動かしたりしない。・紙の向きを変えて、切りやすいように工夫する。

1回目ワークショップ

- ・予想以上に時間がかかり、1ターム内で作業が收まりきらなかった。
- ・簡単な図案も用意はしていたが、多くの人がより複雑なもの（例えば、花）を選んでいた。
- ・切り絵の仕方を説明し終え、作業が始まると特にすることがない。手持無沙汰。
- ・大きいカッターでけがをした参加者がいた。
- ・習字とコラボしたら、より素敵なおうちわが作れそう。

2回目ワークショップ

今回のワークショップでは、司会の担当もした。東先生が用意してくださったスライドをもとにうちわの紹介およびワークショップの流れについて発表した。事前準備が不十分だったこともあり、言葉に詰まったり、わかりやすい説明をしたりすることができなかつたのは反省しなければならない。

さて、実際のワークショップに関しては、日本語学科の1年生に加え、前回よりも多くの人が訪れていた。そのため、最初全員がうちわづくりに参加することができなかつた。切り絵ブースでは、デザインカッターと下敷きが必要であったため、4名ほどしか参加できなかつたが、日本センターが両方とも貸してくれたため、同時に6、7名ほど参加することができた。初めからここにはないと決めつけず、聞いてみることが大切だと思った。今回は、前回と違う机の配置にした。前は、机を一つにまとめていたが、ふたつの長机を間をあけて並べ、その間に私が入って指導した。動きやすく、より多くの人が座ることができるのでいい配置だったと思う。

参加者によっては、時間のかかる図案を選択する人もいれば、簡単なものを選択する人もいた。そのため、完成までの時間に差が生まれる。早く終わった人には、他のブース、特に習字を紹介したりして、移動を促した。結果として、空いた席に新しい参加者を呼ぶことができ、前回よりも人の出入りが多くなった。また、日本語学科1年生もいたので、彼女たちとの会話も今回は楽しむことができた。初めて日本人としゃべったのか、恥ずかしがって全然日本語で話してくれなかつたが、うちわづくりをとても楽しんでくれていた。今回、1番人気だった図案は「金魚」であった。金魚なら簡単で時間もかかるない。簡単でありながら、デザイン性の高いもの用意したい。



マンガ・アニメ系うちわ

北川 華

1. 作成作業プラン

担当者 北川 華

準備するもの

アニメキャラクター画像素材(一部ロシアの作品あり)

NARUTO、セーラームーン、鋼の錬金術師、BLEACH、銀魂、ユーリ!!! on ICE、ポケモン、
ハローキティ、チェブラーシカ、ロシア版プーさん

少年マンガ(導入用)×数冊、和紙、千代紙、柄紙、マスキングテープ、はさみ×4本、
ステイックのり×2本、筆ペン、プロッキー(太)×1

2. 活動の流れ

所要時間	手順	注意事項
5分	<p>「皆さん、こんにちは。皆さんは、日本のマンガやアニメを見たことがありますか。今日は、日本で有名なマンガを持ってきました。ONE PIECE、NARUTO、銀魂です。(見本を見せながら)ここでは、こんなうちわを作ることができます。」</p> <p>①アニメキャラクター画像素材の種類(作品名)について簡単に紹介する。</p> <p>「今日用意したのは、NARUTO、セーラームーン、鋼の錬金術師、BLEACH、銀魂、ユーリ!!! on ICE、ポケモン、ハローキティ、チェブラーシカ、ロシア版プーさんです。チェブラーシカとプーさんはロシアのキャラクターです。皆さんのが好きなアニメはありますか。」</p>	
2分	<p>②好きな画像素材を3つまで選んでもらう。</p> <p>「では、皆さん。ここから3つ好きなものを選んでく</p>	<p>・画像素材の数の都合上、1人につき3つまでとする。</p>

13分	ださい。はさみで切り抜いても大丈夫です。」 ③うちわの下地を作成する。 ④自由に飾り付けをしてもらう。	•参加者がひらがなや漢字(キャラクターの名前など)を書きたい場合は、必要に応じて手本を用意する。
-----	---	--

1回目ワークショップ

第1回目は、体調不良のため参加できませんでした。

他の実習生のふりかえりから学んだことを記録します。

- ・熱心に取り組む参加者が多く、特に切り絵や書道コーナーでは集中して作業をする様子が見受けられた。
- ・日本語が理解できるロシア人学生の参加も多く、他の参加者へ通訳をしてもらうことがあった。
- ・作成するうちわを1種類に絞って取り組んでもらうので、もし早く作成が終わった人がいれば、もう1本作成したり別コーナーへ移動したりしてもらうように声をかけた方が良い。

2回目ワークショップ

第2回目の日本文化ワークショップでは、前回よりも多くの学生や社会人の方に参加していただくことができた。

私が担当をした、マンガ・アニメ系うちわのブースにも多くの学生が集まってくれた。「分かれてください」と指示があった瞬間に、私のブースへ駆け込んでくる学生もあり、圧倒されてしまった。しかし一方で、前回は参加できなかったため今回を楽しみにしてくれていた学生が多かったのかと思い、嬉しくなった。

まず初めに自己紹介をしたあとに、実際のマンガ(ONE PIECE、NARUTO、銀魂)を手に取つて見てもらった。それから、うちわづくりに使ってもらうマンガ・アニメの画像素材を紹介し、好きな画像素材を4つ選ぶように伝えた。その瞬間、学生たちはかなりの速さで画像素材に手を伸ばして選んでいる様子を見て、再び圧倒されてしまった。1回のワークショップで4人ほどの参加者を想定していたので、およそ倍くらいの参加者をとりまとめるのは大変だったが、同時に嬉しさも感じた。

うちわづくりの様子を見ていると、学生によって画像素材の選び方に個性が出ていて面白く感じた。同じ作品の画像素材を4つ選んでいる学生もいれば、複数の作品の画像素材を組み合わせている学生もいた。なかには、持参した画像素材を使ったり自分でキャラクターを描いたりしていた学生もあり、驚くこと也有った。学生たちは、画像選びを楽しみながら行っていたが、私にとっては反省点も見

つかつた。準備した作品の画像素材が、週刊少年ジャンプのものに偏ってしまったことである。画像素材は、あらかじめロシアで人気のある作品をインターネットで調べたり渡部さんに聞いたりと、リサーチをした上で準備をした。しかし、私にとって最も馴染みがあり、画像素材を揃えやすかつたのが週刊少年ジャンプの作品だったため、このようなラインナップになってしまった。何人かの学生から「〇〇(作品名)は、ないですか。」と準備をしていなかった作品について聞かれたので、今後同じようなワークショップを行う際には、ラインナップのバランスを考えようと思った。とはいっても、学生たちが聞いてきた作品には、自身知らないものが多く、1人で準備するのには限界があるなども感じた。今後は、他の人にもラインナップのアイデアや画像素材集めに協力を願いできたら良いと思う。

今回私が用意した作品は、ロシアだけでなく世界でも有名だと思われる、割とメジャーな作品が多かった。しかし、学生たちは日本のゲームキャラクターなど、私が思っていたよりももっとマニアックでディープな作品を知っている人が多いという印象を受けた。私が知らない作品について詳しく教えてもらいたかったが、余裕がなくて聞くことができなかつた。学生もその作品について話をしたかったかもしれないが、もっと私が興味を持って会話を広げられたら良かったと思った。作品がメジャーか、そうでないかは関係なく、日本のマンガやアニメが多くの人々に知られているということを実感したワークショップだった。



応援うちわ

牧 茜里

1. 作成作業プラン

担当	牧 茜里
準備するもの	<ul style="list-style-type: none">・黒画用紙（うちわの形に印をつけておく）・蛍光色の紙（小さな正方形に切ったもの…1文字分の大きさ）・カタカナ（ポップ体）の型…印刷→厚紙に貼ったもの・文字を選ぶためのカタログ（①アイドル、②好きな人の名前（下にロシア語で書く）、③あなたの名前（下にロシア語で書く）、④キャラクター・ホログラム用紙で作ったハートと星のパーツ・のり×4・はさみ×4
作業手順	<ol style="list-style-type: none">1. 書きたい文字を選ぶ 「書きたい言葉を教えてください。好きな日本人はいますか。」 →いる場合、文字を小さい紙に書いて渡す ※必要な文字が被り型を渡せないときに忘れるのを防止 いない場合、カタログを見せる 「あなたの名前や、好きな人の名前でもいいですよ。」2. 好きな蛍光色を選ぶ3. うちわと黒画用紙（印済み）、はさみを渡す 「ここ、切ってください。」→のりでうちわに貼るよう促す …（私）その間に、蛍光用紙に必要な文字を書き写す4. 文字入りの紙を渡し、沿って切ってもらう5. のりで貼りつける6. ハートか星のパーツ1つ選び貼る

1回目ワークショップ

- お客様が「黒画用紙を切り、うちわに貼る」という作業をしている間に、私が文字を紙に書き写すという手順が困難だった。書き写すのに時間がかかり、2人でもスムーズに文字パーツの提供ができなかった。

→カタカタが分からなくても型を使い紙に写すことは可能。次回はお客様に文字型を渡し、自分で書き写し切るという手順に変更。

- ・ 「シ」と「ツ」は同じ型で代用しようとしたが、どちらの文字も使用頻度が高く不可能だった。→両方用意するのに加え、それぞれの文字に2つ型を追加。
- ・ あらかじめ「大きいハート・星」が1つ、「小さいハート・星」が2つと決めていたが、自由にデコレーションできるように変更。もっとパーツを用意する。

2回目ワークショップ

今回のワークショップでは、媒介言語のない相手とコミュニケーションをとりながらうちわを作成した。事前準備はうまくいったと思う。あらかじめ黒画用紙に切り取り線を書いておき、日本語での説明がなくても型を切ることができるようにしておいたり、各パーツをお皿に分けて貼る個数のみ伝えられるようになっていた。しかし臨機応変な当日の対応は十分できなかつた。ジェスチャーだけでは伝えきれないことを知った。通訳に補足説明をお願いしたり、日本語の日常会話ができる参加者に通訳をお願いしたりして対応した。そして、ワークショップの2回目では参加者の呼び込みもできなかつたことの1つだった。1回目に来てくれた方達が他のコーナーへ流れてしまつたが、違うフォントを用意する、白ペンを用意して追加で書き込みができるようにする、などして2回目でも楽しめる工夫をしかけておけばよかつたと思った。

また今回の文化紹介を通して、日本のサブカルチャーの人気を体感した。私が担当した応援うちわでは、日本のゲームが好きなロシア人が集まつた。私の知らなかつた日本のゲームがたくさんのロシア人のスマートフォンにダウンロードされていた。外国における日本のサブカルチャーの人気ぶりというものが今回新たに知つたことである。今後の活動にも、今回知つた外国人目線での日本への興味を取り入れていきたい。



4. プロジェクトワーク



プロジェクトワークの楽しさ

加藤 知宏

1. 10ルーブル紙幣に魅せられて

プロジェクトワークの取材先を決めるにあたり、真っ先に私の脳裏に浮かんだのが 10 ルーブル紙幣裏に印刷してある教会と橋だった。実際は、この教会のことを全く分かっていなかったので選定理由を聞かれ言葉に詰まってしまったのは苦い思い出である。

「地球の歩き方」ロシア編を図書館でみた際、クラスノヤルスクのページは3 ページほどで、観光地についてはこの教会のみ紹介されていた。従って、真っ先に浮かんだとしても仕方ないことである。

ロシア人のペア相手が色々変遷したが、最終的に 2 人の女性に決まり、しかも 4 人で出掛けることが決まり取材が待ち遠しくなった。この女性 2 人は大変仲が良い。いつも一緒にいる。

私のペア相手である、眼鏡をかけた女性は、母は軍人父は職人である。市内で 1 人住まいをしている。兄も市内で働いている。母はクラスノヤルスク市内の情報系大学出身である。日本、特に愛知県立大学に留学の希望を持っている。

もう 1 人は大変活発な女性で、日本語習得に意欲的な女性である。彼女も日本に留学したい希望を持っている。ワーク当日、我々の住む寮まで 2 人で時間通りに来てくれた。取材終了し帰りは寮まで送ってくれた。「帰り方がわからないと思うから、一緒に寮まで行くよ」と言ってくれた心優しき 2 人の女性である。

2. インタビューのむずかしさ

教会の取材では、遠方から写真を撮り、近くで撮り、そして内部も撮りと、色々なアングルを工夫した。また周りの風景にも気を配り、12時の時報代わりの大砲の写真が撮れたことは記憶に残る嬉しさである。また、教会内部に入ることができ、しかも写真撮影の許可がおりたことも幸運であった。しかし、この教会のあるこの地でインタビューをしたかった。生憎、他の訪問者が全くいない状況で不能であり、あきらめるしかなかった。

結局、次の取材先である橋を通りかかる男性にインタビューできたが、それまではできるか大変不安であった。

3. 普段の会話の楽しさ、むずかしさ

ロシア人女性 2 人と私、森さんと 4 人で歩き、バスに乗り、写真を撮り合った。普段の日本語会話において、発する前にやさしい日本語を良く考えることは今までないことであった。日常からやさしい日本語を話す大切さを学んだ。



プロジェクトワーク：クラスノヤルスクの2つのシンボル

森 早貴子

1. プロジェクトワークの概要

私は「クラスノヤルスクの自然」をテーマにロシア人学生とプロジェクトワークに取り組んだ。私自身、ロシアに行くのは初めての経験であり、実習中に森の中を歩いてキャンパスに行くなど日本とは違ったロシアの自然に非常に感動し魅力を感じたため、このトピックを選んだ。

一緒にこのワークに取り組んだ学生は、英語・日本語学科2年女子学生2人、ほかに日本人実習生1人であり、私を含めた4人で活動した。

2人ともワーク中に新たに知った日本語をノートにメモするなど、非常に勉強熱心だった。1人は何にでも積極的に参加する学生で、2年生のクラスの中でも中心的な存在であった。もう1人の学生は静かでおとなしいという印象を持ったが、日本語でよく話してくれた。

2. プロジェクトワークの実施

4人で2つのテーマについて記事を作成することになり、「自然」と「10ルーブルの教会」の2つのテーマに取り組むことにした。取材ではまず、ロシアの10ルーブル紙幣に印刷されており、クラスノヤルスクのシンボルでもある小さな教会に行った。教会の中ではろうそくを供えてお祈りした。すぐそばにある大砲は時報の役割もあり、子どもたちに人気があるということを学生が教えてくれた。

その後、クラスノヤルスクを代表する自然・エニセイ川のほとりを歩き、近くにいた2人の男性にインタビューをした。あらかじめ質問する内容と一緒に日本語で考えてから、彼女たちにロシア語で聞いてもらうという流れでのインタビューとなった。

一日がかりでの取材となつたが、移動中のバスやエニセイ川散策中にも学生と楽しく会話することができた。できる限り分かりやすい日本語で話しているつもりだが、時にはなかなか伝わらないこともあった。また、記事作成時には日本語の一文を短くすることに気を付け、絵を描いて見せるなどの工夫をした。ほかのロシア人学生が忙しくてプロジェクトワークの授業に来ることができない中、2人ともすべての授業や作業に参加してくれて、4人で協力しながら記事を完成させることができた。



写真1 寮からキャンパスへ向かう道のり

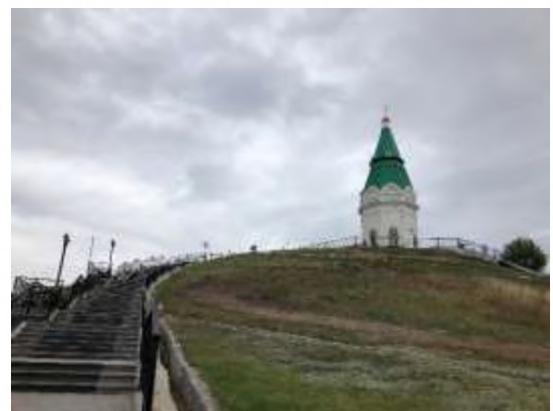


写真2 丘の上にある教会

3. ロシア人学生との交流を通しての学び

プロジェクトワークに参加していたロシア人学生は 3 年生、4 年生もあり、彼らに比べると日本語での意思疎通は難しいこともあった。しかし、できるだけ日本語を使って話をしようと努力し、伝えたいことを一生懸命伝えようとしてくれる彼女たちの様子にはこちらも助けられる場面が多かった。また、私たち実習生もなるべくやさしい日本語で話すこと、一文を短くすること、相手が話し終わるのを待ってから話すことなどに気を付けながら交流した。

現地学生と共に出かけ、記事を作成するというプロジェクトワークは初めての経験であり、不安に思うこともあった。私たちもロシア語が分からない、ロシア人学生も日本語が完璧にできるわけではない状況で、互いのことを気遣いながら会話することがいかに大切か実感することができた。



写真 3 エニセイ川に架かる橋とカモ

「インスタ映え」を探して

渡部 汐里

1. はじめに

プロジェクトワークでは、「ロシア留学を考えている日本人学生が、クラスノヤルスクを訪れたくなるような魅力を伝える」ことを目的として、名所や飲食店などを訪れ、取材をして、その場所について記事を書いた。

まず、私たちは日本人の立場から、どのような場所に興味があるかを考えて、テーマを出した。私はおしゃれ好きな若者がよく行くカフェや流行りのカフェを知りたかったことと、ロシア人がよくインスタグラムに見た目の綺麗な食べ物の写真を載せていることを知っていたので、「インスタ映えするカフェ」をテーマに選定した。

今回一緒にワークを行ったのは、写真とコーヒーが好きな男子学生と日本語が好きな男子学生だった。二人とも、英語・日本語学科の3年生である。彼らは、インスタグラムをやっていて、「インスタ映え」という言葉も知っていた。そのため、彼らの方から積極的に多くのカフェを紹介してくれた。

2. 話題のドーナツショップでインスタ映え

最終的に「Delorian Donuts & Coffee」というドーナツとコーヒーのショップが取材場所として選ばれた。訪問当日は、私と二人の男子学生に加え、ロシア人の女友達の4人で店を訪れた。レンガ調の建物に挟まれて、水色とピンクを基調とした店は、とても目立っていた。店内は若くておしゃれな女性で賑わっており、カラフルなドーナツがショーケースに並んでいた。いくつかドーナツと飲み物を頼んだあと、店員を対象としたインタビューの質問内容を全員で考えてから、この店の創設者一人であるMartyさんにインタビューをお願いした。質問はロシア人学生がロシア語で聞き、それを後で聞き直せるよう録音をした。また、テーマが「インスタ映え」なので、アングルや色合いを工夫して、全員で写真をたくさん撮った。



図1. 店内の写真スポット



図2. Martyさんとドーナツ

3. 記事作成を振り返って

記事作成時、載せる3枚の写真選びから始めた。1番見映えのいい写真はどれか、他のグループにも聞きながら進めた。その後、写真に添える文章を考えた。インタビュー紹介では、どの情報を読み手に1番伝えたいかを決めて、日本語の文章を学生とともに考えた。相手の発言を聞いて、言いたいことはほぼわかるが、それを適切かつ明快な日本語にするのがとても難しかった。また、記事の分量に制限があるため、たくさんある情報から最も伝えたい情報だけを絞り出すことも、なかなかうまくいかなかった。

このような活動は、日本人同士でしかしたことがなかったので、ロシア人の考え方や見方を知る貴重な体験ができた。

プロジェクトワーク：クラスノヤルスクの雑貨店巡り

北川 華

1. プロジェクトワークの概要

私は、プロジェクトワークにおいて「お土産屋」のトピックを担当した。旅行や留学などで海外に行った際には、お土産を買って帰国することが多いのではないかと考え、このトピックを選定した。私自身、ロシア・クラスノヤルスクを訪れるのは初めてのことだったので、どのようなお土産が売られているのか気になり、知りたいと思った。今回は、お土産の中でもとりわけ私が関心のある「雑貨」に焦点を当てた。

一緒にプロジェクトワークを行ったのは、英語・日本語学科4年の男子学生である。彼は昨年度の国外実習で実施したプロジェクトワークに参加した経験があり、この活動についてはよく理解をしていた。図書館でアルバイトをしており、日本語教室などのイベントを実施しているとのことであった。日本語での会話能力は非常に高く、日常会話だけでなくプロジェクトワークの際の話し合いであっても意思の疎通に困ることはなかった。SNSでのやりとりも日本語で可能であり、ひらがな・カタカナ・漢字を使いこなしていた。

2. プロジェクトワークの実施

今回は、「伝統的な工芸品が揃う雑貨屋」と「ショッピングモール」を訪問した。これらは、男子学生が提案してくれたものである。どちらも中心街にあり、当日は男子学生が運転する車に同乗して向かった。ショッピングモールでは、目新しい雑貨が並ぶ店やヴィレッジヴァンガードのような本屋、男子学生の希望でゲームショップに入った。店員へのинтервьюは、伝統的な工芸品が揃う雑貨屋のみ行った。上記2つを訪問した後、男子学生が行きつけのシャウルマ屋へ向かった。彼が店員と仲が良かったためか、サービスでチョコレートをいただいた。

男子学生のスケジュールの都合上、記事の作成作業はSNS(Messenger)を通して行った。まずは私が記事の内容を日本語で書いた後、彼がロシア語に翻訳をするという手順で作成を進めた。

3. クラスノヤルスクの街で「日本」を発見

今回のプロジェクトワークを実施する中で印象的だったのが、日本に関連するものが多く見つかったことである。伝統的な工芸品が揃う雑貨屋では、モンスターボールの形をした編み物の球を発見し、非常に驚いた。ショッピングモールの



写真1 伝統的な工芸品が揃う雑貨屋



写真2 ショッピングモール



写真3 日本語学習の教科書

本屋では、日本語学習の教科書や駄菓子が売られていた。また、ゲームショップでは日本が海外から輸入したレコードがなぜかあり、「任天堂」や「プレイステーション」などの日本製のゲームが売り場のほとんどを占めていた。思いがけないところに様々な日本のものを発見し、驚きとともに嬉しさもあった。

そして、インタビューや会話を通してクラスメートの人々と交流をすることができたことは、プロジェクトワークの醍醐味だと思った。私はロシア語が全く分からぬが、男子学生が通訳をしてくれたおかげでやりとりをすることができた。今回のプロジェクトワークを通して、様々な貴重な経験をすることができたと思う。



写真4 日本語が書かれたレコード

クラスノヤルスク住民のおすすめ飲食店

牧 茜里

1. プロジェクトワークの概要

私は、「クラスノヤルスク住民のおすすめ飲食店」について取材した。このテーマを選んだ動機は、私自身がクラスノヤルスクでの生活で現地のレストランについての情報が欲しかったということと、同じように外国で過ごす際に「食事」で悩む人は多いと思ったことだ。そして、日本人がクラスノヤルスクでレストランを選ぶ際に「ロシア料理のレストラン」にこだわるばかりでなく、「現地の住民が通う美味しいレストラン」という選択肢が増えれば、より豊かな現地生活がおくれるのではないかと考え、今回の内容に取り組んだ。今回一緒にプロジェクトに取り組んでくれたのは、生物学科2年生の女子学生だ。彼女は、日本語の勉強がしたいという動機でプロジェクトに参加してくれた。普段からプライベートで日本アニメのロシア語翻訳を行っているという彼女とは、日本語で不自由なく会話のやり取りができた。

2. プロジェクトワークの実施

今回は、前述した女子学生が実際に行きつけの飲食店を取材した。まず1件目は、イタリアンレストランを取材した。最初はロシアにいるのにイタリアンレストランを取材するということに抵抗があったが、クラスノヤルスク住民にはイタリアンがとても人気で、美味しいレストランがたくさんあるそうだ。この情報があつてもやはり「ロシアにいるのにイタリアンか」という抵抗感が残ることを予測し、どのようなシーンでクラスノヤルスク住民がこのイタリアンレストランを利用するのかという点も取り入れて女子学生と取材した。またこのレストランではクラスノヤルスクのチップ事情についても併せて女子学生に尋ね、記事に取り入れた。



2件目は、地元の大学生に人気のカフェを取材した。一緒に取材したのも現役の大学生であったため、人気のケーキや平日が空いているといった生の情報を取り入れて記事にすることができた。

3. プロジェクトワークを通して

今回のプロジェクトでは「現地のレストランの情報を得る」というメインの目的に加えて、少しではあるが現地生活の体験と友達作りをすることができた。もしも観光としてクラスノヤルスクに来ていたならば、絶対に行かなかったレストランに行き、クローケでコートを預け、店のおすすめメニューを注文し、チップを払う。全てペアの女子学生がエスコートとロシア語通訳をしてくれたおかげである。また日本語での日常会話に不自由のない彼女と、プロジェクトワーク内外で楽しく交流できたことも思い出になった。私は彼女を通して「ただ街中の人々にインタビューするだけでは聞き出せないロシア・クラスノヤルスク住民の生活」を知ることができた。そして他の人々にも、「外食」におけるクラスノヤルスク住民のあれこれを私達の取材記事を通して伝えられればと思っている。

プロジェクトワークの成果物



クラス / ヤルスク住民のフクース / (美味しい！)

クラス / ヤルスクに来たら、何時食べたいですか？ ロシ料理のお店でうつら、ボルシチ、シャボリヤ、パニー、魅力的なロシ料理を楽しんで。他の多くのロシ料理が豊富な店で食事してみませんか？ ウラジオストクは、ロシ料理店にて美味しい食事をする店たくさんあります！

Что бы вам хотелось попробовать в Краснодаре? Радиометалл, русская кухня: Боры, шашлыки, пельмени... Каждый день вы перенесете себя на новый уровень, который может привести к... Ровно. Почему бы не посетить местечко, куда регулярно приходят школьные студенты? В Краснодаре есть много замечательных ресторанов с кухней других стран!

МАМА РОМА ママロマ MAMA ROMA

クラス / ヤルスクでは必ずお越しいただいた、「ボルシチ」! 本当にうまい! でも、私達の好みは「ボルシチ」と「ユダヤ・ロシ」! 本格的ナショナル・カuisineを手軽に楽しめるお店です。ドリンクは人気の「ロシ・カクテル」! 飲食料金のおよそ半分は石鹼陶器、セラミックの「ロシ・プレート」になります。ハラウももちろん美味しい! お土産屋さんでは、ロシ陶器、セラミックの「ロシ・プレート」が販売されています。

Top Advisor 認証

Жители Краснодара любят Ильинец, начавший от пекарни Веден и заславший кухней одно! По всему городу есть его пекарни и кафе, где можно попробовать различные виды перекусов и закусок. Цена - от 500-1000 рублей. Сотрудники ресторана рекомендуют покорять заведение «Наполеон» (680 руб.), приятную оконную в дрожжевой печи, но сей там атмосфера кухни пасты. Жители города зачастую прекращают здесь же роженицы и супружеские. Официанты владеют языком, предложенное также диалектное меню, поэтому даже иностранцы могут без труда кухню понять или подумать.

Top Advisor 認証

МИГУША / ミシタ MIGUASHA

お洒落でカートが満喫できるところが特徴があります。ミシタは、東元のオーナー直々ととても柔軟な動きがあります。通常いつまでもいるので、平日に行けます。おすすめメニューは「チーズケーキ」(2000円)。あわせてして美味しいです。夏から冬まで、様々な季節のメニューを楽しめます。また、店内は暖かく、人気のポイントです。

Top Advisor 認証

Когда вы хотели попробовать японские десерты в японском стиле, тогда же рекомендуем «Мигуша». Это место пользуется популярностью среди отечественных граждан, здесь достаточно места, потому что оно расположено в бывшем доме. Очень вкусны пирожные, чайники (300 руб), но и мороженое сладкое и очень вкусное. Вместо с помощью чайника или ложечки или кофейной ложкой или стаканом выпечка.

クラスノヤルスクのチップス屋

クラスノヤルスクのチップス屋は、ロシ料理のお店でうつら、ボルシチ、シャボリヤ、パニー、魅力的なロシ料理を楽しんで。他の多くのロシ料理が豊富な店で食事してみませんか？ ウラジオストクは、ロシ料理店にて美味しい食事をする店たくさんあります！

Что бы вам хотелось попробовать в Краснодаре? Радиометалл, русская кухня: Боры, шашлыки, пельмени... Каждый день вы перенесете себя на новый уровень, который может привести к... Ровно. Почему бы не посетить местечко, куда регулярно приходят школьные студенты? В Краснодаре есть много замечательных ресторанов с кухней других стран!

МАМА РОМА ママロマ MAMA ROMA

クラス / ヤルスクでは必ずお越しいただいた、「ボルシチ」! 本当にうまい! でも、私達の好みは「ボルシチ」と「ユダヤ・ロシ」! 本格的ナショナル・カuisineを手軽に楽しめるお店です。ドリンクは人気の「ロシ・カクテル」! 飲食料金のおよそ半分は石鹼陶器、セラミックの「ロシ・プレート」になります。ハラウももちろん美味しい! お土産屋さんでは、ロシ陶器、セラミックの「ロシ・プレート」が販売されています。

Top Advisor 認証

Жители Краснодара любят Ильинец, начавший от пекарни Веден и заславший кухней одно! По всему городу есть его пекарни и кафе, где можно попробовать различные виды перекусов и закусок. Цена - от 500-1000 рублей. Сотрудники ресторана рекомендуют покорять заведение «Наполеон» (680 руб.), приятную оконную в дрожжевой печи, но сей там атмосфера кухни пасты. Жители города зачастую прекращают здесь же роженицы и супружеские. Официанты владеют языком, предложенное также диалектное меню, поэтому даже иностранцы могут без труда кухню понять или подумать.

Top Advisor 認証

МИГУША / ミシタ MIGUASHA

お洒落でカートが満喫できるところが特徴があります。ミシタは、東元のオーナー直々ととても柔軟な動きがあります。通常いつまでもいるので、平日に行けます。おすすめメニューは「チーズケーキ」(2000円)。あわせてして美味しいです。夏から冬まで、様々な季節のメニューを楽しめます。また、店内は暖かく、人気のポイントです。

Top Advisor 認証

Когда вы хотели попробовать японские десерты в японском стиле, тогда же рекомендуем «Мигуша». Это место пользуется популярностью среди отечественных граждан, здесь достаточно места, потому что оно расположено в бывшем доме. Очень вкусны пирожные, чайники (300 руб), но и мороженое сладкое и очень вкусное. Вместо с помощью чайника или ложечки или кофейной ложкой или стаканом выпечка.

クラスノヤルスクのチップス屋

クラスノヤルスクのチップス屋は、ロシ料理のお店でうつら、ボルシチ、シャボリヤ、パニー、魅力的なロシ料理を楽しんで。他の多くのロシ料理が豊富な店で食事してみませんか？ ウラジオストクは、ロシ料理店にて美味しい食事をする店たくさんあります！

Что бы вам хотелось попробовать в Краснодаре? Радиометалл, русская кухня: Боры, шашлыки, пельмени... Каждый день вы перенесете себя на новый уровень, который может привести к... Ровно. Почему бы не посетить местечко, куда регулярно приходят школьные студенты? В Краснодаре есть много замечательных ресторанов с кухней других стран!



5. それぞれの学び



何もかもが初めてだった国外実習を終えて

北川 華

1. 教室活動を実施することの大変さ

教室活動を実施するにあたって最も大変だったことは、教室活動案の作成である。5月から準備を開始したが、出発当日の9月9日になんでも必死に準備を行っていた。何とか最後まで作り終えた活動案であったが、実施前のシミュレーションで至らない点を次々と指摘されてしまい再考する必要があった。

もちろん、準備段階だけでなく実施中も大変であった。学習者の人数によって席の位置を決めなければならないし、ペアを作るとなれば学習者同士の関係性も考慮しなければならなかつた。また、立ち位置や話し方など、意識しなければならないことも多くあった。教室活動を重ねていくうちに強く感じるようになったことは、進行役1人だけが活動を作っていくのではなく、サポートーや学習者を含め皆で作り上げていくということの大切さである。そのため、自身がサポートーとして活動に参加する際も意識しなければならないことは多くあった。

国外実習の2週間は学習者と会話をする機会が多くあり、実習生として話す力を鍛えることができたと思う。また、ふりかえりの時間では学習者と接する際に意識すべき点を多く学ぶことができた。



写真1 教室活動の様子

2. 数々の困難を経験した2週間

私にとって最初で最大の困難だったのは、体調を崩したことである。教室活動に対する不安や環境の変化によるストレスから胃腸かぜのようなものを起こしてしまった。大事には至らなかつたが、最初の1週間は不調の状態が続いた。食欲がなく、皆でレストランに行った際も料理をおいしく食べられなかつたことが残念だった。2週目に入ってからは、体調が大分良くなり食欲も回復した。教室活動を終え、大学近くの肉料理屋で食べた炭焼きの肉は格別なものであった。

また、毎日寮から大学までを40分かけ歩いて通ったことはとても印象に残っている。自然に囲まれた道を歩くのは気持ちが良かったし良い運動の機会にもなつたが、その分朝早くに寮を出発しなければならず大変であった。寮に関しての最大のトラブルは、2日間の停電である。

エレベーターが使えなくなってしまったため、13階の部屋までは階段を使って上らなければならなかつた。大学からの帰り道を40分間歩いてからの階段上りは体にこたえるものだった。

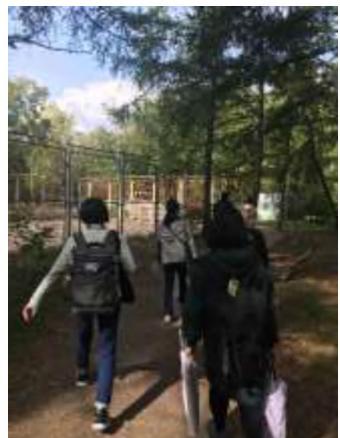


写真2 大学までの道のり

3. クラスノヤルスクでの楽しいひと時

過密スケジュールの中ではあったが、クラスノヤルスクの観光を十分に楽しむことができた。自然豊かな景色を眺めることができ、リラックスした時間を過ごした。人形劇の舞台裏を見たり、オペラを

鑑賞したりし、現地の文化にも触れることができた。

クラスノヤルスクの街を移動するにあたっては、バスを利用する機会が多くかった。バスの運賃はどこへ行っても一律料金であったが、運賃を支払う方法が独特だったのが印象的である。他にも、タクシーに乗ったり、シベリア連邦大学日本センターのスタッフの家でホームステイをしたりとクラスノヤルスクの日常生活を体験することができ、多くの思い出を作ることができた。



写真 3 ホームステイ先で

4. 初めてづくしの国外実習

私は海外渡航の経験が 2 泊 3 日の韓国旅行のみだったので、初めてのロシア、初めての短期滞在であった。ましてや目的が旅行でも留学でもない実習という形での渡航であるため、何から何まで初めての経験ばかりとなつた。1 日 1 日がとても濃い 2 週間を過ごし、今後経験することが難しいようなことも経験することができた。この 2 週間の国外実習で経験したことや学んだことは、これから実習の中で活かしていきたいと思う。

国外実習を終えて思うこと

渡部 汐里

1. 教室活動案を考える

国外実習では会話活動の授業を行う。そこで、まず何を中心に話すか「トピック」を考えたのだが、トピックの選定にも意外と時間がかかった。数個のトピック案を考えてから、より詳細なサブトピックを3つ出した。この作業を経て、以下の二つがトピックを選ぶ上で大切だと学んだ。

- ・自分や相手が話せる内容がたくさんあるか
- ・サブトピック同士のつながりはいいか(全体の流れ)

トピック選定後は、そのトピックで実習生とやりとりして、具体的に何が話せるか、どんな会話が生じるかを想定し、コミュニケーション目標へとつなげていった。また、実際に文章を考え、その文章に文型を当てはめていくと、学習目標が明らかになっていった。もちろん、これほど順調には進まなかつた。

教室活動案では、細かいシミュレーションが大切であることも学びの一つである。人数はもちろん、進行役、サポーター、学習者のセリフも想定して考えて、授業に備えた。ただ、具体的なシミュレーションが不十分で、曖昧なままにしてしまい、授業前日や当日に悩むことも多かつた。

2. サポーターの役割

国内実習でも、1度教案を考え、それを使って模擬授業を行うことがあった。私はそれまで、サポーターの役割は学習者の会話相手や板書を手伝うなど進行役の補助をすることだと考えていた。それもそうなのだが、ただの補助だけではないことをその授業で学んだ。

そして、このサポーターの重要性は国外実習で身をもって体感した。以下の3つは、授業や振り返りを通して得たサポーターにとって大切なポイントである。

- ・学習者の言いたいことをくみ取り、日本語にする
- ・全体シェアで発言を促す
- ・質問したり、話を広げたりと学習者の言ったことに反応する
- ・自分のいるグループだけでなく、クラス全体を見て行動する

学習者の相手は進行役よりもサポーターであることが多く、授業でとても重大な役割を担っている。

これらのことと意識して、会話活動に臨みたい。



写真 4 2年生の授業でサポーター

3. 2年ぶりのロシア

実は2年前に、国外実習の地であるクラスノヤルスクで、私はロシア語を学んでいた。懐かしの留学先をまた訪れたいという気持ちが強く、国外実習に参加した。

実習では、特にロシアに行く前の準備期間が大変だった。実際に授業を始めると、思った通りに進まないこともあったが、授業を進行していくという体験が新鮮で、終わるとすごい達成感を味わえた。全部の授業を終えて、たくさん考えて、本当に多くのことを身につけた実感がある。

授業以外の活動も充実していた。日本文化紹介では、日本に興味を持つロシア人があんなにたくさんいることに驚いたし、うちわづくりと一緒に楽しむことができた。プロジェクトワークでは、まだまだ知らないクラスノヤルスクについて知ることができた。人形博物館の見学、夜のコンサート観賞、市場散策やホームステイと盛りだくさんな2週間だった。

それ以外にも、実習をともにしたメンバーとの時間はとても有意義であった。実習中、困難なこともあったが、みんなで協力し乗り越えることができた。

国外実習に参加できて本当によかったです。また機会があれば、参加したい。



写真 2 停電して真っ暗な寮

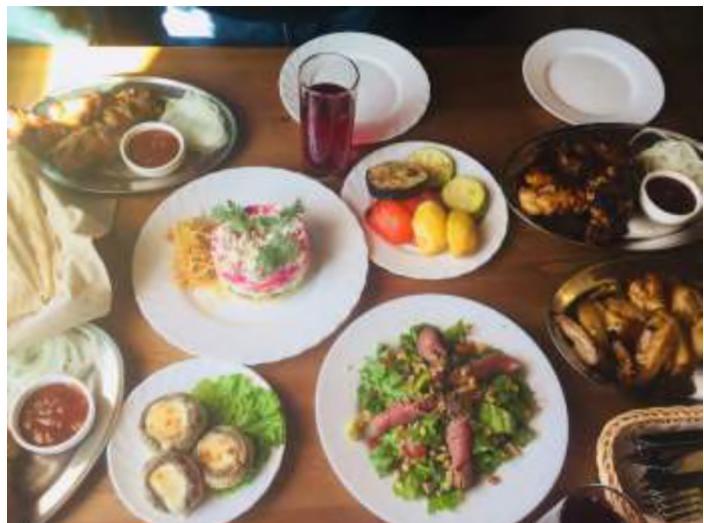


写真 3 全授業が終わった後にみんなで行ったレストラン

参加してよかったですと思えた国外実習

森 早貴子

1. 実習での学び

教室活動案の作成や教室活動の実施の中で感じたのは、意識しなければならないことや考えることの多さである。教室活動案の作成では、どうしてそのグループワークをおこなうのか、その活動の目的は何か、そして教室活動では学習者とサポーターの席の配置、やりとりを意識することなど、進行役として考えることがたくさんあった。またサポーターを務めるときも、ただ授業に参加するだけでなく、学習者の様子を見ながらグループワークをすること、積極的に授業に参加し全員で教室活動を作り上げることが必要なのだと学んだ。

プロジェクトワークやその他の活動では、日本語非母語話者と会話するときに気を付けなければならない点を、身をもって学ぶことができた。簡単な日本語を使っているつもりでもなかなか理解してもらえないこともあったが、絵を描いたり行動で示したりと少しの工夫をすることで意思疎通ができた時には非常にうれしかった。

2. 実習中の楽しみ

2週間という短い期間に教室活動の実施やプロジェクトワークなどやることが凝縮されていたが、忙しくもクラスノヤルスクを満喫することができた。初めの1週間は天気も悪く、初めての教室活動の実施で気分も落ち込む中、ロシアの「食」にはずいぶん助けられた。ボルシチをはじめとした具だくさんなスープのほか、野菜や肉がたくさん入ったラップサンド「シャウルマ」などロシア料理は日本人の舌に合うものが多く、そのうえ安く食べることができるので、エネルギー補充は十分にできた。なかでも、すべての教室活動を終え、キャンパス近くのレストランで食べた串焼肉「シャシリク」の味は忘れられない。

また、クラスノヤルスクの自然には心を癒された。寮からキャンパスへは、森の中の道を歩いて40分もかかり、1限から授業がある日は朝早くに起きなければならず大変ではあったが、気分をリフレッシュすることができた。さらにクラスノヤルスクのシンボル・エニセイ川のほとりを現地の学生と散歩したのは良い思い出である。日本とはひと味



写真5 2年生最後の教室活動



写真2 シャウルマとボルシチ



写真3 自然豊かなクラスノヤルスク

違ったロシアの雄大な自然やおいしい食べ物に、心もおなかも満たされた。

3. クラスノヤルスク市民との交流

実習の中で印象に残っているのは人との交流であり、シベリア連邦大学の学生やクラスノヤルスク市民との交流は楽しくも学ぶことが多かった。なかでも、森の中を散策中に出会ったおばあさん2人との、ジェスチャーや簡単なロシア語を使っての交流は一生忘れられないだろう。英語があまり通じず、私もロシア語が全く理解できない環境ではあったが、「スパシーバ(ありがとう)」「ハラショー(いいね)」など基本的なロシア語を使っての街の人びとの交流はとても楽しかったし、言葉が分からなくても伝えようとする気持ちや姿勢が大切な学んだ。

言葉が分からぬという状況は、日本で生活する外国人のおかれている状況と同じであり、彼らの日々の大変さを、入寮時のロシア語のみの書類記入やレストランでの注文などから身をもって体験した。短い期間ではあるが現地で生活して、コミュニケーションの難しさと楽しさ、そしてロシアの人々の温かさを感じることができた。



写真4 森の中で出会ったおばあさん

4. 長くて短かった2週間を終えて

はじめは「ロシアに行ける！」と軽い気持ちで参加を決めた国外実習だったが、5月からの教室活動の準備はとても大変で途中で心が折れそうになった。出発ギリギリまで教案作成や教材の印刷作業をしており、心の準備も十分ではなかった。日本を発つときは不安でいっぱいだったが、実習で多くのことを学び、クラスノヤルスクを離れるときは達成感と満足感でいっぱいだった。

最後まで実習を乗り切れたのは、温かく迎えてくれたシベリア連邦大学の学生や職員の方々、指導してくださった先生方、そして何より一緒に頑張った実習生のおかげである。2週間という短い期間ではあったが、たくさんのことを感じて、学んで、成長できたと思う。国外実習をとおして得たものを今後に活かしていきたい。



写真5 実習生と共に

自己覚知

加藤 知宏

この実習を通じて、本当に多くのことを学ばせていただいた。どれも、これから私の人生に役立つことであり、今更ながら参加して良かったと感謝している。

1. 丁寧な日本語は、理解が難しい

社会人時代、何回もプレゼンテーションをさせていただいたし、他人のプレゼンテーションを聞き選定する立場もさせていただいた。これらのプレゼンテーションでは、言葉使いは大変丁寧であり、自然と丁寧な、いや難解な日本語が身に付いてしまっている自分に気づかされた。

「ご清聴ありがとうございました。」「お聞き苦しいことが多々あったと思われますが、皆さまの温かいお言葉で最後まで務めさせていただけました」などは、日本語学習者には何を言っているのかわからないと教えていただいた。これらの言葉使いが染みつき、自然にでのる状態で実習に参加させていただいた訳である。

最初のサポーター役では、「焦げる」の説明に四苦八苦した。「その説明では、N1クラスの学生でも理解できない」と評された。教案シミュレーションでは、「ご覧ください」は「みてください」、「挙手願います」は「手を挙げてください」など徹底的に修正された。丁寧すぎるとわかっているなら徹底的に意識して修正しなさいと指導いただいた。

初めての進行役では、学習者の回答を待ち切れず、「～なんですよね」と回答してしまうこともあった。学習者が日本語能力が低く、言葉を返せないと思われると、学習者の言葉を遮ってしまうこともあった。どれも今では恥ずかしいことであるが、これが私の悲しい現実であった。先生が撮影されたビデオを視聴すると、恥ずかしさを通り越して悲しくなった。

「丁寧な日本語は、理解が難しい」肝に銘じる言葉を教わった。

2. やさしい日本語、わかりやすい日本語とは

「親戚」という言葉の説明に困っている県大生がいた。私に助け舟をもとめられたので、「あなたの兄弟、姉妹、お父さんの兄弟、姉妹…」と答えていたところ、先生が回答を始められた。

「○○さんは兄弟いますか？お兄さんはどこに住んでるの？そう別に住んでるんだ。お父さん兄弟は？」と、日本人の私が聞いていてもわかりやすい質問であり回答であった。やさしい日本語、わかりやすい日本語とは、身近にあることを題材に、具体的に話すことであることを学んだ。

これまで、あまりに一般的に、抽象的な日本語を話し過ぎていた。学習者にとり具体的であればあるほどやさしい日本語、わかりやすい日本語となることを学ばせていただいた。

3. これから日本語教員実習に行く皆さんへ

「日本語教員養成課程は、毎週出される課題が多く、恐い先生がいるからいやだ」「言語学は、なかなか単位をくれないから無理」という理由で受講を敬遠する学生が多いです。事実、海外実習に行く学生は増えず減っています。でも、私が参加させていただいて思うことは、留学以上に自分のこ

とがわかるということです。お客様ではなく、教えてもらう仲間として扱ってくれるのですからね。

来年、海外実習に行かれる皆さんには、決して教室活動を怖がらず、今の自分をさらけ出して全力で取り組んでください。帰国後、大きくなった自分を自己覚知できると思います。

少し成長しました。～考える力と生活力 UP～

牧 茜里

1. 教室活動での学び

今回の国外実習では、教室活動案の作成からふりかえりまで新しい気づきと学びだらけであった。教室活動全体を通して最も実感したのは、教室活動準備の大変さと大切さである。今回 2 つの教室活動案を作成するのに 2 か月かかり、また何度も訂正して前日まで準備に取り組んでいた。今回最も苦労したのもこの準備段階であったと感じる。私は、これまで今回のようなコミュニケーション目標をベースにした教室活動に参加したことがなかった。そのため具体的に教室活動を考えるのがとても難しく、何度も書き直してもいわゆる「教師」が前で話してばかりの教室活動になってしまったのだ。



写真1 事前シミュレーションの様子

結局、先生にご指導いただいた案をもとになんとか教室活動案を完成させたが、教室活動は教室活動案どおりにはいかないものである。予想外の学習者の言動や予想外のグループワークでの盛り上がり、沈黙は何度も起こる。それでも準備過程からふりかえりを通して感じたのは、そういった予想外の事態が起きたときに、焦りを最小限にしてふりかえりができるのは事前にシミュレーションをたくさんし、準備して教室活動に挑んだからである。また、教室活動の経験をしていく中で必要な準備も少しずつ自分で見えてくるようになった。私はこの経験をとおして、教室活動を有意義なものにし進行役として成長していくためには毎回のふりかえりが必須で、そのためには事前によく考えシミュレーションすることが大切なのだと学んだ。

2. 初めてのロシア

私がこの国外実習に興味を持った最初の動機は、「シベリアに行ってみたい！」という気持ちだった。今回の国外実習で初めて訪れるロシア・シベリアであったが、豊かな自然と日本とは違う文化を味わうことができとても楽しかった。私たちの寮は、大学から 30 分ほど森を歩いたところにあったのだが、教室活動前後の通学路では自然や野生のリスに癒される毎日であった。

また、共通言語のない環境におかれるとの経験はとても貴重なことだった。2 週間の滞在中、初めはスーパーマーケットでの買い物ですら難しく、バスに乗ってもアナウンスが聞きとれないと 1 人では降り場が分からなかった。また寮が停電になった際に張り紙が英語なしのキリル文字づくしだったときはとても困った。これまででは、学習者が日本の生活でどのようなことに困るかをただ想像



写真2 森で出会ったリス

していたが、今回は自分が外国人として「困る」を実際に経験することができた。今後の日本語教室活動でもぜひこの経験を活かしていきたい。

3. おまけ～初めての寮生活～

国外実習での寮生活は、私にとって初めての寮生活であった。私は現在1人暮らしをしていて、この国外実習に参加するまでは「基本的なことは何でも1人で出来るようになった」と勘違いしていた。今回の寮生活では、ロシア語に囲まれていたこともあるが洗濯機の回し方からスーパーや飲食店での注文まで先生方や他の実習生がいなければ出来ないことだらけであった。2週間の間に、先生方や他の実習生から料理の技やライフハックをたくさん教わったのも私の国外実習での収穫であった。限られた物品の中で料理したり、停電に対応したり、その生活力には毎回感動した。

そして何より、私の楽しい思い出の1つが大人数で食べたごはんや寮でのプチパーティである。みんなの話を聞きながら食べるごはんはとても美味しかった。この2週間の寮生活がこんなにも充実したものになったのは、先生方と他の実習生のおかげである。



写真3 おしゃれなレストランへ

6. 彌國報告会



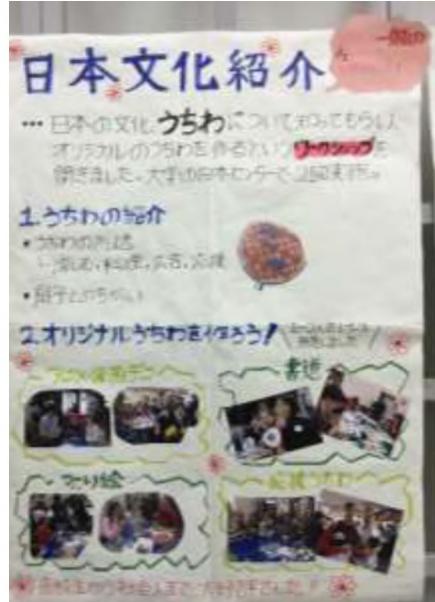
帰国報告会アンケート結果

日時： 2018年11月3日 11:00～16:00

場所： H棟003教室

来場者： 約50名（名簿記入あり：28名）

アンケート回答者： 18名



1. 来場のきっかけ

たまたま通りかかった 12人

実習参加者から聞いた 2人

知り合いから聞いた 4人

2. 説明はわかりやすかったです

とてもよく分かった	だいたいわかった	どちらとも言えない	ちょっとわかりにくかった	わかりにくかった
15	3	0	0	0

3. 全体の感想(抜粋)

- ✓ 全体的に楽しかった。実習の活動を知れたのが良かった。授業の内容が工夫されていて、展示を見ても面白かった。
- ✓ ムービーの写真
- ✓ ロシアの風景
- ✓ プロジェクトワーク成果物
- ✓ 食べ物
- ✓ 展示の説明文と写真でわかりやすかったです。
- ✓ プロジェクトワーク成果物・実習の記録・パンフレット
- ✓ 先生の説明がとてもわかりやすかったです。質の高い教育が行われていることがわかりました。
- ✓ 参加者とロシアの学生とで作った冊子がわかりやすくて素敵だと思った。
- ✓ 参加者の感想まとめとロシアの冊子についての展示が印象に残りました。外の狸がかわいいかったです。
- ✓ 写真があったので、説明わかりやすいです。
- ✓ 2, 3年生への授業の詳細。日本語とロシア語で書かれたパンフレットも読んでて楽しかった。

4. 展示の感想(抜粋)

- ✓ 実際のワークの製作物や授業で使ったものを診られてよかったです。場所がわかりにくくない。写真がたくさんで見やすい！・楽しい展示で感心しました
- ✓ アンケートの後のロシアのアメはめずらしくて美味しかった！
- ✓ 説明してくれた子がわかりやすくて楽しかった
- ✓ お話を面白かったです。スマシーバ！
- ✓ ロシアについてはあまりよく知らなかったが、意外な発見があつておもしろかった。実習で何をしたのか良く分かったし、丁寧に教えてもらえてよかったです。
- ✓ 生活から文化、風土までわかりやすくて良かった
- ✓ 身近なこと(生活など)もあったので、わかりやすかったです。
- ✓ 行くまでの準備や現地の人との交流の様子が印象に残りました
- ✓ 写真も交えてわかりやすく紹介されていました
- ✓ 一つ一つ丁寧に書かれていて、実際どのように実習が行われているかイメージできました。来場者が多く、説明を受ける時間が短かったのが、少し残念だった。もっと詳しくききたい。



2018 年度日本語教育実習（国外）報告書

2019 年 3 月 20 日発行

発行：愛知県立大学日本語教員課程

編集：宮谷敦美・東弘子

〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間 1522-3

愛知県立大学

Tel. +81-561-64-1111

E-mail: nihongo@for.aichi-pu.ac.jp

本報告書は、平成 30 年度愛知県立大学諸実習経費により刊行された。